

センター研究年報2010



京都大学人文科学研究所附属
東アジア人文情報学研究センター

特集 中国旅行雑誌（井波陵一編）

- 旅への誘い——『旅行雑誌』について
- 旅行雑誌 掲載記事・分類一覧
- 人文研アーカイブ(19)『研究視察旅行報告書』稿本

旅への^{いざな}誘い

——『旅行雑誌』について

井 波 陵 一



かつて「漢字と情報」第9号に「思いがけぬ再会」と題して一文を寄せ、人文科学研究所が所蔵する民国期の雑誌について、東方学の範囲を越えた総合的なデータベースを作りたいと述べたことがある。その後、本気になって科学研究費を申請したが、「ニーズが低い」という理由であえなく不採択となった。ただまあ、皆さんのお役には立たないとしても、個人的に興味は尽きなかったので、個別の雑誌に焦点を絞り、気を取り直してボチボチやってみることにした。そこでまず取り上げたのが『旅行雑誌』である。

■ 受入の経緯

この雑誌を取り上げた理由はきわめて簡単である。それが旅行会社の発行するエンターテインメント系の雑誌であり、東方文化学院京都研究所が書架に並べるような「学術雑誌」とは性格的に大きく異なっていたからにほかならない。なぜこのような雑誌が受け入れられたのだろうか。ちなみに NACSIS Webcat で検索してみると、この雑誌の現物を所蔵している機関として、ほかに一橋大学経済研究所と社団法人・中国研究所の名前があった。ただ、中国研究所は1953年の一冊を所蔵しているだけであり、一橋大学経済研究所も本所より欠号が多い。本所には1927年の創刊号から1937年9月号まで、一部重複も含んで揃っている。それ以降は日中全面戦争の影響で手に入れることが不可能になったようだ。なお、国際日本文化研究センターはライデン大学のマイクロフィッシュを所蔵しており、創刊号から1952年までを揃えているとのことである（後に取り上げる「開普好恩航船記」の欠葉を補わせていただいた）。いずれにせよ国内の所蔵機関はごく少数に限られている。

創刊号から丹念にめくっていくうちに、受入に関する疑問は氷解した。一部の号に「親和会」という印が捺してあったからである。1979年に発行された『人文科学研究所50年』「研究所の生活」の一節に次のように言う（「研究所」とは東方文化学院京都研究所のことである）。

所員相互の親睦をはかるために「親和会」が設けられていた。会費として毎月の俸給の1パーセントを徴収し、結婚祝、香典（父母妻の死亡）、病氣見舞、退職記念品、雑誌代、小使と給仕の心付（年2回）といった用途に充てられた。親和会で購入された雑誌はホールに備付けられ、閲覧もホールで行なって、外に帯出してはいけないことになっていた。

『旅行雑誌』はもともと親和会によって購入されたのであり、「学術雑誌」とはまったく

関係がなかった。おそらく読み物、あるいは中国旅行へ出かけるに際しての情報源として利用されたのだろう。それが証拠に所々切り抜かれた箇所がある。禁帯出の雑誌だから勝手に切り取ることは許されなかったと思われるが、いつの時代にも不心得者はいるものだ。受入の所蔵印は「東方文化研究所」になっているから、1938年の改組後、ようやく正式の所蔵雑誌に「昇格」したと思われる。『東洋史研究文献類目』の採録対象でなかったことは言うまでもない。

以下、気づいたことについて少し述べてみたい。

■ 中国旅行社

まずこの雑誌の発行元だが、創刊号（1927年春季号）こそ上海銀行旅行部になっているものの、第2号から中国旅行社になっている。創刊号には無署名の「旅行部略史」と朱成章の「旅行部縁起」が載せられている。ここでは「旅行部略史」を引いておく。

本部於民国十二年秋間開弁、由朱成章・莊鑄九二君慘憺經營、初仮総行餘屋弁公、嗣因業務日漸發展、乃遷至四川路一百十四号今址。所有弁事人員、在開弁時為数甚微、今已分組各科、人員亦遂漸增多、目下計分車務・航務・會計・電信・出納・行李・編輯七科、每科各設主任一人。各科之上、有經理・襄理総其成。外埠分行之已成立者、為蘇・杭・寧・鎮・濟・津・京・奉・漢・蚌埠・臨淮関等処、夏間更於莫干山添設分部焉。





また第2号に「中国旅行社之新氣象——易名之經過」という一文が載せられており、中国における本格的な旅行ビジネスを發展させるべく社名を変更したことが述べられている。

欧米各国之銀行、亦多設有旅行部、惟範圍泰半狹小、其能獨立成為一部者、蓋不多觀。其規模較大之旅行機關、銀行多不加以限制、一任其自由發展。蓋旅行之事業、無遠弗届、与銀行之情形、微有不同者也。上海銀行董事諸君有鑒於是、以本社事業、日即發皇、為本社前途計、為促進外界注意旅行事業計、務使本社之名義与事實、格外明顯、将来或更有無量之進步、故一致議決、使本社名義上与銀行分立、而實際則仍為一家。自此案通過後、本社乃易上海銀行旅行部之原名而為中国旅行社矣。又以英文原名 Shanghai Commercial & Savings Bank' Travel Dept. 不甚適當、同時改為 China Travel Service 良以本社之宗旨在乎服務、故列入 Service 一字、尤覺名實相符也。

■ 留学ビジネス

外国の旅行社を頼るしかなく、何かと不便を強いられていた欧米への留学生に対する便宜を図ることも当初は大きな目的（＝ビジネスチャンス）であったようだ。実際、留学に関する記事が少なからず見えている。長短合わせて30件に達する記事は留学の手引き、各国領事館の住所録、留学生の記念撮影など様々である。中でも多くの記事が集中して載せられた1929年8月号（「留学生号」と題され、表紙も「美国渡輪上之留美学生」である）の関連タイトルを挙げてみよう。

美国大学生生活
本屆清華同學選択学科旨趣
清華本屆赴美學生之攝影
本年清華學生選択学科与所入學校之調查
美国斯丹福大學之入學願書
各國駐華使領事署表・駐滬各國領事署地址錄
西札摘要
歐洲讀書一得
赴德遊學之手續
德國大學情形
全德大學調查票
德國單科大學調查票
德國著名專門學校調查票
本社弁理留學生放洋手續之回憶
去年本社經弁留學生放洋手續備極完美左圖為男女學生安抵美国上岸後之攝影

「本年清華學生選択学科与所入學校之調查」によれば、AGRICULTURE（1名）、BIOLOGY（1名）、BUSINESS & ECONOMICS（5名）、CHEMISTRY（5名）、EDUCATION（1名）、ENGINEERING（1名）、ENGINEERING, ARCHITECTURAL（1名）、ENGINEERING, CIVIL（1名）、JOURNALISM（1名）、LIBERAL ARTS（2名）、LIBRARY SCIENCE（1名）、LITERATURE（3名）、MEDICINE（1名）、MILITARY

SCIENCE（3名）、PHILOSOPHY（1名）、PHYSIOLOGY（2名）、POLITICAL SCIENCE（7名）、PSYCHOLOGY（1名）という内訳になっている。志望者数も含め、当時の傾向をそれなりに表しているのだろう。ドイツの大学、単科大学、専門学校に関する詳しい一覧表が載せられているのも、第一次世界大戦後のドイツが金銭面で留学に有利であったことを反映している。ただし「赴徳遊学之手續」の冒頭には、「徳幣固定之後、德國生活程度、合諸華洋、實不亞於留英留美、故近年來來徳者較少、而去徳者較多」とあり、状況は変化しつつあった。「美国斯丹福大学之入学願書」は、「惟吾国学生則苦以未能先睹該項願書格式、無從預備、故往往以填写手續不完備、致稽延時日」という現状に鑑みて、元のサイズのまま折り込んで綴じたものである。たまたま手元にある『赴加拿大留学考研指南』（世界図書出版公司、1999年）や『最新自助出国全程指南 德国』（機械工業出版社、2004年）などを見ると、大学の状況、および各種書類のサンプルや記入例が載っており、連続性が感じられて面白い。

■ 赴日觀桜団

創刊号に「發刊詞」を寄せているのは陳光甫（1881-1976）である。ペンシルヴァニア大学を卒業した彼は、1915年、上海商業儲蓄銀行を創設し、1923年に旅行部を附設した。金融界で大きな役割を果たした彼については、すでに『陳光甫日記』（上海書店出版社、2002



用時性質	衣服	外套	帽	鞋	襪	衣
家庭客	常服冬季深顏色夏季淡色	最好顏色與衣服相仿	便帽、草帽、常禮帽	冬季黑色夏季黃色	不定顏色以白為尚。	
訪客	大禮服或常禮服	大衣黑色。	大禮帽、可帶入室。	黑色長靴或漆皮鞋	白色襯衫、黑襪	
宴會	燕尾服(着白背心)	不定。	不定、只需配外套	黑漆長靴或有花紋短靴	白色大禮服襯衫、黑襪。	
跳舞會	同右	同右	同右	黑漆半統鞋、禁長靴	同右	
送殯及追悼會	燕尾服	黑色(若非黑而深色者須臂巾)	大禮帽	黑色最好漆皮鞋。	襯衫白色、襪黑色	
喜事	燕尾服(着白背心)	黑色	同右	黑漆長靴	同右	
茶叙	常禮服(或大禮服)	黑色	不定、或配外套者。	黑色長靴或漆皮鞋	白襯衫黑襪	
常談	晚用常禮服	不定	不定、但不用大禮帽	黑漆皮鞋	同右	
遠足	淺色常服	不定	草帽、便帽、忌禮帽	顏色不定、長靴或短靴	各色皆可	
運動	白色、式樣按類而異(間用黑色)	淺色	草帽、便帽僅街行用	底白色布或皮鞋橡皮	白色連領襯衫	



年）が出版され、その活動に関する研究も進んでいるようである。銀行が創設した旅行部（旅行社）ということで注目されるのは、創刊号に載った「本年之赴日観桜団」かも知れない。要するに日本へのお花見ツアーに関する記事で、1927年は次のような日程が組まれている。

4月1日（金）	8：30	「特別快船」にて日本へ
4月2日（土）	11：30 13：00—16：00 17：00	長崎着 人力車による長崎観光 出航
4月3日（日）	15：00 17：32 19：45	神戸着 三宮発 京都着（泊）
4月4日（月）	9：00—12：00 14：00—17：00 23：35	自動車による京都観光 自動車による京都観光 「特別快車（臥車）」乗車
4月5日（火）	11：30 14：05 18：22	東京着 上野発 日光着（泊）
4月6日（水）	午前中 15：40 19：43	日光観光 日光発 上野着（泊）
4月7日（木）	9：00—12：00 14：00—17：00	自動車による東京観光 自動車による東京観光
4月8日（金）	9：00—12：00 14：00—17：00	東京観光 自動車による東京観光
4月9日（土）	終日	自由時間、ショッピング
4月10日（日）	9：30 20：30	東京発「特別快車」 大阪着（泊）
4月11日（月）	9：00—12：00 14：00—17：00 21：10	人力車による大阪城観光 自動車による大阪市内観光 大阪発「臥車」
4月12日（火）	6：33 11：27 17：40 19：20 19：35 19：50 23：27	宮島着 宮島発 下関着 関門海峡を渡る 門司着 門司発 別府着（泊）
4月13日（水）	9：00—12：00 14：00—17：00 18：35 22：02 23：40	別府観光 別府観光 別府発 小倉着 小倉発「臥車」
4月14日（木）	7：30 13：00	長崎着 出航
4月15日（金）	14：00	上海着

このツアーは12名一組で、費用は500元となっている。長崎・京都・日光・東京・大



阪・宮島・別府というコースは日本観光の定番であつたらしく、雑誌の記事もこれらの景勝地に関するものが主流である。たとえば、長崎については「長崎与温泉岳」（1930年9月号）、日光については「日本日光中禅寺湖畔」（1928年夏季号）、京都については、北尾録之助原著・陳心純訳の「京都散歩」（1935年2月号）、「京都風景録」（1935年3月、10月号）などが掲載されている。

この「観桜団」がいつから始まったのか定かではないが、創刊号には「去年之赴日観桜団」の写真が2枚載せられている。そのうちの1枚は「渋沢栄一子爵」の屋敷で撮影されたもので、前列中央に渋沢本人の姿が見える。いわゆる「物見遊山」の「観桜団」がなぜ渋沢の屋敷を訪れたのか、しかも渋沢本人まで中央に陣取って記念撮影をしているのはどういうことなのか——中国の銀行の旅行部が組んだツアーが日本の財界の大御所たる渋沢の屋敷を訪れ、本人まで姿を見せるということには、決してたんなる観光ではすまされない背景があるのだろう。中国の財界に対する渋沢の影響力と関係しているのだろうか。ちなみに『陳光甫日記』は1928年以降のものなので、そのあたりに関する手がかりは見出せない。もしもこの1枚の写真が日中金融界の結びつきを象徴するものであるとすればなかなか面白いと思うのだが、その方面について筆者は門外漢であるため詳しいことは分からない。

■ 世界各国

『旅行雑誌』は1929年から月刊に衣替えしている。記事の種類はじつに多彩であり、分類するのは容易でないが、コラムのタイトルなどを利用しながら、おおよそ次のように分けて詳細な目録を作ってみた。

表紙、旅行部・旅行社、時事その他、旅行一般、交通手段、国内（省別）、外国（国別）、鉄路時刻表、鉄路（国内）、鉄路（外国）、公路、航空路、航路、交通碎錦、旅行備攷、留学、小説、小品、劇・電影、詩、漫画、書画・写真、彫刻、広告、その他

すべての内容を紹介するわけにはいかないので、とくに外国との関連で興味を惹いたものについて具体的に見てみよう。対象となった国や地域として、アフリカ、アメリカ、インドラ、イギリス、イタリア、イラン、インド、インドネシア、ヴェトナム、オーストラリア、オランダ、カナダ、キューバ、シンガポール、スイス、スペイン、タイ、太平洋諸島、チリ、朝鮮、ドイツ、南極、日本、ニュージーランド、ハンガリー、フィリピン、フランス、ベルギー、北欧、マレーシア、南アメリカ、モンゴル、ロシアがあるほか、複数の国にまたがる横断旅行記のようなものもある。内容的には実際の見聞もあれば、翻訳もあり、また写真を主体とするものもある。

アフリカについては翻訳がほとんどで、「獅人」〔W. S. Chadwick 原著、周愛華訳〕（1932年12月号）は中央アフリカにおける black magic を扱ったものである。また「阿比西尼亞巡礼」〔L. B. Roberts 原著、程志政訳〕（1935年11月号）は、アビシニアすなわちエチオピア（原文は愛瑟阿比亜）についての紹介文である。イタリアによる侵略が世界的に報道されて注目を集めたことから翻訳されたのだろう。

アメリカに関する記事はきわめて多い。最初に紹介されたのは黄石公園だが（1927年夏季号）、ニューヨーク、ワシントン、シカゴ、ロサンゼルスなどの主要都市はもちろんのこと、ナイアガラ、ハリウッドなども繰り返し紹介されている。変わったところでは「美国宴会及習尚談（American Dinners and American Manners）」〔伍廷芳原著、許憲基訳〕（1931年8月号）がある。もとは1914年の Harper's Magazine に載せられたものだそうである。面白いからということで選ばれたのだろうか、「怪島歴險記」〔医学博士艾佩蘭女士著、樹勛・征鴻合訳〕（1934年6月号）は「赫德拉斯（Cape Hatteras、哈特勒斯角、ハタラス岬）」に関する記事である。これに類するものとして、南アメリカ最南端のホーン岬に関する「開普好恩航船記」〔A. J. Villiers 原著、沛甘訳〕（1931年6月、7月号）があるが、ハタラス岬にせよホーン岬にせよ、実際にそこへ行ってみたいと思った読者はいたのだろうか。なおアメリカについては、「美洲大陸横断記」〔本多市郎原著・亭亭訳〕（1937年1月、2月号）も載せられている。

イギリスについてはロンドン中心だが、「安文河畔」〔Washington Irving 原著・陳心純訳〕（1929年9月号）、「莎士比亞之故郷」〔華盛頓欧文原著、蔣学楨訳〕（1937年4月号）というように、シェークスピアに関する同じ著者の文章が翻訳されている。「安文」は Avon の音訳。また、「倫敦的輪廓画」〔本多市郎原著、亭亭訳〕（1935年1月号）もある。

日本人の文章は他の国に関してもけっこう利用されており、イタリアでは「意大利紀行」〔鶴見祐輔原著、陳心純訳〕（1933年11月、12月号）、イランでは「波斯行脚記」〔織田寅之助著、陳心純訳〕（1934年2月、3月号）、スイスでは「瑞士一瞥」〔鶴見祐輔原著、陳心純訳〕（1935年1月号）、スペインでは「西班牙一瞥」〔和田三造著、陳心純訳〕（1934年12月号）、太平洋諸島では「南洋速写」〔川端龍子原著、陳心純訳〕（1935年5月号）、フランスでは「巴黎半



月記」〔鶴見祐輔著、陳心純訳〕（1934年6月号）、「巴黎的横剖面」〔堀口大学原著、陳心純訳〕（1934年7月号）、北欧では「北欧四国及漢堡荷比之旅」〔本多市郎原著、亭亭訳〕（1937年3月号）がある。

話を国別に戻すと、インドでは「大戈爾安樂居拜訪記」〔Alan Campbell 作、霽華訳〕（1933年12月号）とタゴール関連のもの、スペインでは「動乱中之西班牙」（1936年12月号）とスペイン内戦中の遊記、ロシアでは「梅蘭芳游俄記」（1935年6月号）と梅蘭芳の公演に関するものが載せられている。南極については「南極探險記」〔Richard Evelyn Byrd 原著、程志政訳〕の1本だけだが、1931年の1月号から4月号まで連載されている。Richard Evelyn Byrd とは、いわゆるバード少将である。バード少将と言えば、筆者が少年時代に読んだ少年少女向け伝記全集に偉人として選ばれていた。現在の同種の全集に彼が選ばれているかどうか知らないが、こんな所で彼の名にお目にかかるとは思ってもよらなかったので懐かしい気分になった。原著者がどんな人物かさっぱり分からないものも少なくない。とりわけ漢字の表記しかない場合には正確な発音すら確定しがたい。キューバに関する「光怪陸離之古巴」〔伊立克加腦凡著、樹勛・征鴻合訳〕（1934年2月号）、ドイツに関する「仏雷堡探勝記」〔烏仏別克女士原著、征鴻・曾衍同訳〕（1933年11月号）などがその例である。

漫遊記の類では、1936年に7回にわたって連載されたチャップリンの「卓別麟世界漫遊記」〔却利卓別麟著、汪倜然譯〕が目を引く。また原著者は明記していないが、飛行船ツェッペリン号（齊伯林飛艇）に関して「環球飛行記」（1929年11月号）も翻訳されている。

■ 王沿津「宝塚紀遊」

日本については、京都の下鴨北園町在住の王沿津なる人物が「宝塚紀遊」（1935年3月号）、「天橋立遊記」（1937年2月号）といった文章を寄せている。「宝塚紀遊」をやや詳しく取り上げてみよう。この一文には植物園の池でボートをこぐ二人の女学生の写真が1枚、少女歌劇の舞台の写真が2枚添えられている。筆者はかつて東亜同文書院の日本内地見学団の一人として初めて訪れたのを皮切りに、やがて京都帝国大学で学ぶようになったこともあって、何度も宝塚を訪れている。駅前の商店街について、次のように言う。

其時有許多年輕美貌的女店員、都用着很和霽親切的態度、說着很婉轉嬌艷的言語、勸行人購買貨物；可是大家正想遊玩的時候、無暇去光顧她們的東西、接受她們的好意。這樣嬌柔引人悅意的女子、好像和一二八戰爭的日本兵、並不是同一民族的！

遊技場においても人々に「国防」の感覺を刷り込む意識が徹底していることに対して、むしろ驚嘆の念を禁じ得ないようだ。

在打彈子看電影的場裏、都極有秩序、裏面有国防展覽會、用了種種的模型、引起一般人民對於軍事常識的注意。在兩間很大的房子裏、陳列得滿滿的、無一不足使我們弱國國民的驚駭！日本海陸空軍現勢和歐美列強比較的統計圖、最大軍艦的構造圖、都很注目的掛在壁間。好像我國的漢口一帶、也都在日本防空線內。世界大戰一旦爆發的話、



我們那裏能倖免、希望国民從此覺悟、耐勞耐苦、培養起實力來、自衛有五千年歷史四万万民衆的大好民族。

遊技場に続いて動物園、植物園、兒童遊芸部、図書館、食堂に関する記述が続く。図書館については次のように言う。温泉に入れる特典がついているというのも面白い。

図書館的閲覧者並不多、因此組織了一個宝塚読書会、以資招徠、事務所就設在図書館裏、會員每月出會費日金一円、除可每日在図書館裏讀書、向図書館借書外、還可以參加宝塚文芸講演会和其他展覽会等、再有得到在宝塚新温泉裏洗澡十二次的權利。在經營者当然以營利為目的、可以對於喜歡讀書的人、也很有利的。

最後はもちろん少女歌劇である。歌劇そのものへの感想と、チケット購入に関する読者へのアドバイスの部分を引いてみよう。

劇情都以戀愛離別為主、粗看好像完全是西洋文明的表現、實際也有不少日本精神。在令人又驚又喜又慌忙的一剎那間、往往含着很豊富的刺激性。這種刺激性、完全是勸人為善。編劇の人、却用掉一番改革世俗的苦心、但因為許多少女的色和肉、太富有引誘性、意志薄弱見識不広的青年、看到了只是受到不良的影響。所以文学家有馬富次郎、在他創作「從宝塚歌舞陶酔団歸來」裏、痛罵着資本家摧殘不少少女的幸福、做這種引誘的勾當；使都市裏不少志士、鄉村裏不少青年、走入想思桃色的惡夢中、社会的道德、

日益頹敗、而資本家的錢囊、却裝得滿滿了！我對於有馬氏的批評、以為不免太苛刻；但宝塚少女歌舞团的引誘性、從此也可見一斑了。

売票除在場中出售外、還在阪急百貨店下設有売票店、不過當日的票子、很不容易在那裏買到的。同時像中山太陽堂、資生堂等出売化粧品的商店、往往利用宝塚歌舞券、酬答顧客；也有時各団体機關的預定座位。所以每天的座位、實際所剩無多、我國旅行日本而要參觀宝塚歌舞的、最好要豫先托人豫買。

おみやげの石鹼についても抜かりなくコメントしている。いつの世も変わらぬ(?)風景と言うべきか。

拋廣告的宣傳、応用這種肥皂、可以增加皮色的光沢、使体膚潔白可愛、我們当然不会相信、也是許多日本女子、都爭先恐後的去購買、這倒有些不可思議的！

末尾に、「沿津作成宝塚遊記、即囑婢女付郵；焉知未及十分鐘而接得大阪朝日新聞号外、得悉宝塚大劇場遭祝融禍、豪華殿堂、已成廢墟」という意外なニュースを添えて、この記事は終わっている。

■ 小説

この種の雑誌に最も似合うのは、やはりミステリだろう。創刊号には中国ミステリ作家の代表とも言える程小青(1893-1976)の人気シリーズ「霍桑探案」の一つ「旅邸之夜」が載せられている。彼の掲載作は以下の通りである。

霍桑探案：旅邸之夜(1927年春季号)
霍桑探案：浪漫的余韻(1927年夏季号、秋季号)
霍桑探案：我的功劳(1927年冬季号)
霍桑探案：錯誤的頭腦(1928年春季号)
賞錢(1928年夏季号)
幕後(1928年秋季号)
舞女生涯(1929年1月号-4月号)
胆力的測驗(1929年5月号)
心戰(1929年6月号)
新時代的俠客(1929年7月号)
神秘的酒(1929年12月号)
可怕的喜劇(1930年5月号)

程小青に代わって登場したのは張恨水(1895-1967)である。彼の作品も挙げておこう。長篇小説が多い。

似水流年(1931年全号、1932年1月号)
賽金花参与的一个茶会(1932年6月号)

秘密谷（1933年全号、1934年全号）

平瀨通車（1935年全号）

如此江山（1936年全号、1937年1月号-8月号）

外国ミステリも翻訳されている。イギリスの Edgar Wallace 著・秦瘦鷗訳のものが目立つのでそれを挙げておく（*は筆者が文中より補ったもの）。

残燭遺痕（1933年4月号-12月号、1934年1月号） * 原題は The Clue of the Twist Candles

万事通（1936年全号） * 原題は未掲載

万事通補遺（1937年3月号）

幽屋血案（1937年1月号-6月号） * 原題は The Lone House Mystery

不義之財（1937年7月号） * 原題は The Sooper Speaking

天網恢恢（1937年8月号） * 原題は The Man At The Carlton

その他の作品については周瘦鷗（1894-1968）によって翻訳されたものが多いので、それらを雑誌の表記法に従いながら挙げておく。じつにヴァリエティに富んでいる。

冬夜訴心〔德国名家・蘇德曼氏原著〕（1927年秋季号）

旅行者言〔法国名家・莫泊桑氏原著〕（1927年秋季号）

碎心〔意大利名家・薛維尼氏著〕（1928年春季号）

馬葛兒〔美国名家・哈德氏原著〕（1928年冬季号）

情海潮音録〔法国名家・勒白朗氏原著（即亞森羅蘋作者）〕（1929年全号） * 原書名：The Tremendous Event, By M. Leblanc

可歌可泣（THE SINGING FOOL）〔美国・鐸爾氏作〕（1930年2月号-4月号、6月号-12月号） * Hubert Dail

八千里路馬背上〔英国費爾登氏 A. M. Felton 作〕（1933年12月号）

同舟〔德国欧士克福 G. Hirschfeld 原著〕（1934年1月号）

死樹〔英国名家巴萊潘恩 Barry Pain 著〕（1934年3月号）

南飛情鳥〔美国威爾遜氏 J. F. Wilson 原著〕（1934年5月号）

遲暮〔Lion Feuchtwanger 著〕（1934年8月号）

海〔土耳其名家賈自格維薩原著〕（1934年9月号） * A. Karkavitsas

威尼斯的一夜〔F. Britten Austin 著〕（1934年10月号） * One Night in Venice

情盲〔英国 J. D. Beresford 著〕（1935年4月号） * Love's Blindness

馬來情蠱〔英国 Somerset Maugham 著〕（1935年9月号）

遠征〔德国 J. Wassermann 原著〕（1936年12月号）

「時事その他」として分類した中にも気になる読み物がある。たとえば、1933年1月号から3月号に連載された「墨索里尼新傳記」〔Alexander Robertson 原著、程志政譯〕がそうである。当時、ムッソリーニは中国でどのような評価を受けていたのだろうか。彼の伝記が『旅行雑誌』に連載されることには一定の社会的背景があったと思われるが、そのあたりの事情については知識がない。この項に分類したものとして、1935年3月号から連載された「趣味」欄があり、程志政が翻訳を担当している。世界各地の面白い話題を紹介するコラムである。タイトルだけで内容が想像できる記事が多い1936年3月号の例を挙げておく。



南非之神童、人血輸入犬体、逾期十一年未釈之囚徒、德国時尚琥珀、訟之謎、魚之維他命、英国房東優待小孩、瑞士游客大減、傘之保險券、機車自駛之慘劇、結婚被退、英京流行之小兒奇症、酣臥于軌道上之怪客、英王子之慈祥、失而復得之掛錶、蜂禍、玻璃舞場、腳踏車之發明人、海浜發現魚雷、歐洲最巨之望遠鏡

■ 広告

広告についてもかなり詳細にチェックした。こうした広告は当時の新聞や雑誌にごく当たり前に掲載されていたのであり、決して『旅行雑誌』特有のものではないが、雑誌の性格に合わせて広告に一定の傾向が見られるという点では面白いかも知れない。ほぼ定位置に登場するものとしては、やはり銀行や交通・運輸関係の企業が目立つ。後者の例として、北太平洋鉄路公司（Northern Pacific Railway）、大北鉄路公司（Great Northern）、密而瓦基鉄路公司（Milwaukee Road）、友寧太平洋鉄路（Union Pacific System）、怡和洋行輪船部（Jardine, Matheson & Co., Jardine, Matheson & Co., Ltd.）、渣華郵船公司（JAVA-CHINA-JAPAN LINE）、昌興輪船公司（CANADIAN PACIFIC）、大來輪船公司（Dollar Co., The Robert）、日本郵船公司、法國郵船公司等々が挙げられよう。薬局にも毎号のように広告を出すところがあり、韋廉士醫生藥局（Fulford & Co., Ltd., G. T. of Canada; Dr. Williams' Medicine Co.）、五洲大藥房（五洲藥房）などがそれである。タバコ業界も積極的に広告を出しており、絞盤牌香烟、華成煙公司等々が常連である。それ以外では柯達公司（Kodak）、都錦生絲織廠の名が頻繁に登場する。薬もカメラも洋服も、旅行には縁が深いからだろうか。阿司匹靈藥餅（Aspirin）の拜耳（BAYER）の名もあった。力士香皂（LUX TOILET SOAP）は利華肥皂有限公司の商品だが、Luxを「力士」と言われては、宝塚の石鯨を「都争先恐後的去購買」した例の日本の女性たちのみならず、今の女性たちもおそらくそっぽを向くことだろう。

■ 時代の影

広告をチェックしていて一つ気づいたことがある。最後にこの点を取り上げておきたい。常連の日本企業に日本郵船公司があったことはすでに触れた通りである。その掲載号の内訳は以下の通りである。

1929年 1月、2月、4月、6月、8月、10月号
1930年 2月、4月、6月、8月、10月、12月号
1931年 2月、4月、6月、8月、10月号
1935年 8月、10月、12月号
1936年 2月、4月、6月、8月、10月、12月号

一目で分かることだが、ほぼ隔月で1ページ分の広告を載せていたのに、1931年12月号から1935年6月号まで、掲載がパタリと途絶えている。日本関連の記事のうち、1931年から1934年までのものは次の通りである。

日光山遊記（1931年1月号）
扶桑一月記（1931年2月号）
扶桑暑話（1931年7月号）
日本内海、日本木曾川、日本山中湖、日本木曾川上之犬山城（1931年8月号）
東遊鱗爪（1931年8月、11月、12月号）
東遊感言（1931年8月号）
遊日雜碎（1931年10月号）
日光遊記（1932年7月号）
日光遊記（1934年3月号）
日光紀遊（1934年11月号）
東鄰的路政与交通（1934年12月号）

これもすぐに分かることだが、1932年はわずかに1本だけ、33年に至ってはゼロである。日本郵船会社の広告が途絶えたことと明らかに関連している。原因は言うまでもなく「宝塚紀遊」にも出て来た「一・二八」、いわゆる上海事変にほかならない。1932年3月号の趙君豪「編者之言」は次のように記す。日付は2月10日となっている。

值茲外侮憑凌、拳国悲憤之際、凡我讀者、都無好懷、遊觀之樂、似非所語於此時。然本誌之出版、殊未敢以此自廢也。同人認為凡事不宜自餒、一切應以鎮靜出之。本誌月出一卷、雖僅百余葉、但為同人精神之所寄、亦為万余讀者每月期望之一事。滬市自戰機爆發、百事入於滯鈍狀態、而出版品物、以印刷阻撓、尤多停頓。本誌印刷工廠、雖逼近戰區、但以工友之合作、仍得照常排印。編輯室中、砲声震撼窓櫺、敵軍飛機、翱翔天空、同人振筆疾書、悲憤欲絕、於極端鎮靜之中、寓格外勤勉之意、書成之日、貢諸讀者之前。不知各人之感想為何如也。

この一文は次に引く1937年9月号の「敬告讀者」と併せ読むべきだろう。

在九月份稿件將次整理終了時、上海的戰事、便已爆發。戰事發動之日——八月十四日、黃浦江上空、有過很激烈的空軍戰、砲声和槍声、震動了本誌編輯室的窓櫺、編者在這一剎那間、很能鎮定、自付此時宛然如在火線上工作。……出了本社大門時、目擊中流彈者染着殷紅的血、而行人緊張的神態、把這一條繁盛的街衢、頓時造成一個恐怖的局面。這樣、我們的工作、便停頓了兩個星期。在此種非常時期之下、社会百種事業、因人事和環境的牽制、很難順利進行、多入於停頓狀態、而刊物寄遞、又因交通困難、不能如期到達。我知道、有許多刊物、已不能照常出版；其竭力維持者、大半緊縮篇幅、或數種合併發行、勉強支撐、希望從速渡過這個困難的時期、我們也不能例外。

記事の内容もさることながら、表紙のカラー図版をはじめ多くの写真を使用して、旅することへの読者の夢を育んできた『旅行雑誌』も、ページ数を減らし、彩りを失った雑誌として、とにかく生き延びていくほかなかったのである。

直前の1937年5月号から8月号まで、余大雄の「東茗小品」という記事が連載されていた。1937年1月、日本の製茶業を見学に訪れた彼もまた宝塚歌劇に足を運び、掲載された



プログラムの写真から、春山かすみ等の歌劇「雲雀山」、難波章子等の舞踊劇「桜吹雪」、およびグランドレビュー「世界の唄」を観たことが分かる（実際には「日本旧戯改造」の演し物はお気に召さなかったらしく、また「世界の唄」の中国のパートについても、このレビューを手がけた須藤五郎に強い不満を示しているのだが）。しかし、同時にまた東京では靖国神社の遊就館、国防館も訪れ、「我們從遊就館・国防館出来、大家都發生一種異感、雖還沒有黃昏、不願更遊、一齊回到山王旅館」とコメントしている。結局のところ、王沿津の文章にあった「這樣嬌柔引人悅意的女子、好像和一二八戰爭的日本兵、並不是同一民族的！」という信じられない事態が、より深刻な形で甦ることになってしまった。観光や実業はもちろんのこと、すべてを台無しにする戦争の勃発により、東方文化学院京都研究所もまた、『旅行雑誌』をホールで眺めるというくつろぎの時間を失ってしまったのである。

旅行雜誌 掲載記事・分類一覧（＊以下は筆者のメモ）

【表紙】

北京頤和園（27春）

牯嶺黃龍潭（27夏）

曲阜孔廟大成殿（27秋）

杭州西湖斷橋（27冬）

六和古塔（28春）

無題（28特）

姑蘇雙塔（28夏）

嘉興三塔（28秋）

北平碧雲寺（28冬）

萬里長城（29-1） ＊封面識小〔趙君豪〕

梅蘭芳演俊襲人（29-2） ＊封面識小〔趙君豪〕

北平頤和園玉帶橋（29-3） ＊封面識小〔趙君豪〕

巴黎大理石跳舞廳（29-4） ＊封面識小〔趙君豪〕

愁湘雲醉臥芍藥裯（29-5） ＊封面識小〔趙君豪〕

孫中山先生遺像（29-6） ＊封面識小〔記者〕 ＊中に「宣傳列車」の寫眞あり

西湖博覽會大門之壯觀（29-7） ＊封面識小〔趙君豪〕

美國渡輪上之留美學生（29-8） ＊封面識小〔趙君豪〕

電影明星黃柳霜（29-9） ＊封面識小〔趙君豪〕

赫貞河上（29-10） ＊封面識小〔趙君豪〕、Hudson River

錦瑟無端五十絃（29-11） ＊封面識小〔趙君豪〕

雪夜征人（29-12）〔闕〕 ＊封面識小〔趙君豪〕、德人盧巴陀維趣 Lubatovich の畫

上海黃浦灘（30-1） ＊The Bund, Shanghai

北平北海九龍壁（30-2） ＊目次欄に解説、The Dragon Wall, Pei Hai, Peiping

汪介曾女士（30-3） ＊Miss Waung Kya-tsung

西湖（30-4）

美洲之黃石公園（30-5） ＊Yellow Stone Park, U. S. A.

美國羅斯福公路（30-6） ＊The Roosevelt Highway on the shores of the Pacific, Curry Country, U. S. A.

虞岫雲女士（30-7）

日本内海（30-8）

秋江泛棹圖（錢塘江風景）（30-9）

威海衛風景（30-10）

荇橋北平頤和園（30-11）

駿馬嘶風圖〔胡伯翔〕（30-12）

阿爾匹山脈中瓦克森斯泰恩峯雪景（31-1）

河北省西陵（31-2）

美國費府市政廳（31-3）

杭州西湖湖濱（31-4）

四川岷江風景（31-5）

牯嶺風景（31-6）

劍池飛瀑（莫干山風景）（31-7）

奉化溪口風景（31-8）

莫干山碧塢風景（31-9）

遼甯北陵（31-10）



嘉善風景（31-11）

上海外灘公園中遠望（31-12）

蒙古沙漠風景〔褚民誼〕（32-1）

四川嘉陵江風景〔王小亭〕（32-2）

春江泛棹〔張珍侯〕（32-3）

渡頭〔郎靜山〕（32-4）

青灘〔王小亭〕（32-5）

浙江東天目瀑布（32-6）

湯渡風景〔趙君豪〕（32-7） *京杭國道上名勝之一

北平頤和園風景（32-8）

華嶽西峯仙人掌跡〔凌鴻勛〕（32-9）

廣西遷江紅水河江岸（32-10）

浙江紹興柯岸之「雲骨」石〔吳涿之〕（32-11）

浙江雁蕩山斤竹澗之半月潭〔高事恆〕（32-12）

滬杭公路上之風景（33-1） *THE NEW SHANGHAI-HANGCHOW HIGHWAY

杭江鐵路上之勝景（諸暨縣城外五洩溪）（33-2） *FIVE FALLS A SCENIC SPOT ALONG HANGCHOW-KIANG-SHAN-RAILWAY

浙江富春江之風景（33-3） *FUCHUN RIVER, CHEKIANG

春（33-4） *SPRING

杭州錢塘江畔（33-5） *BANK OF CHIEN TANG RIVER AT HANGCHOW

江天一覽（33-6） *A GLIMPSE OF THE RIVER CHIEN TANG

浙江普陀南天門（33-7） *SOUTH HEAVEN GATE, POOTOO

桂林山水（33-8） *LANDSCAPE NEAR KWEI LIN, KWANGSI

奉化溪口文昌閣（33-9） *VEN CHONG KO (TEMPLE OF GOD OF WISDOM) FENGHUA, CHEKIANG

山西恆山懸空寺（33-10） *OVERHANGING TEMPLE IN SHANSI

四川萬縣瀑布（33-11） *WATERFALL AT WANHSIEN, SZECHUEN

冬（33-12） *WINTER

石田倒聽楓葉下〔吳秋農〕（35-1） *繪

竹橋橫小澗……〔陶錐庵〕（35-2） *繪

浮暖翠〔黃穀原〕（35-3） *繪

江邊老柳綠藏屋、山外斜陽紅到門〔沈竹賓〕（35-4） *繪

子久丹青軼宋賢……〔陸遵書〕（35-5） *繪

少陵詩意〔椒園〕（35-6） *繪

高山流水〔任立凡〕（35-7） *繪

湖平秋水碧……〔沈竹賓〕（35-8） *繪

人行山色中、葉落雨聲裏〔陳璋〕（35-9） *繪

山色霽逾潤……〔顧鶴逸〕（35-10） *繪

兀突雲霧中……〔陸廉夫〕（35-11） *繪

謁來攜杖過山村……〔程庭鸞〕（35-12） *繪

青山一望青無數……〔張研夫〕（36-1） *繪

山靜任雲去住……〔張研夫〕（36-2） *繪

三友圖〔張研夫〕（36-3） *繪

柳暗藏幽徑……〔張研夫〕（36-4） *繪

一溪流水萬重山……〔張研夫〕（36-5） *繪

渭濱千畝地、視此竟如何〔張研夫〕（36-6） *繪

南山歸隱〔張研夫〕（36-7） *繪

宿霧迷離留樹杪……〔張研夫〕（36-8） *繪

秋山明淨〔張研夫〕（36-9） *繪



青桐百尺……〔張研夫〕(36-10) *繪
十年道路老風塵……〔張研夫〕(36-11) *繪
雪霽登古寺……〔張研夫〕(36-12) *繪
廣東肇慶七星巖公園〔劉體之〕(37-1)
松風帆影〔王勞生〕(37-2)
桂林山水〔傅秉常〕(37-3)
杭州九溪十八澗〔郭錫祺〕(37-4)
天台山石梁飛瀑〔郭錫祺〕(37-5)
華嶽西峯下仙人掌跡〔凌竹銘〕(37-6)
北平北海〔趙君豪〕(37-7)
西湖仲夏〔郭錫祺〕(37-8)
平綏鐵路青龍橋長城奇觀(37-9)

【旅行部・旅行社】

交通部與旅行部之關係〔芑吉〕(27春)
發刊詞〔陳光甫〕(27春)
旅行部略史(27春)
旅行部緣起〔朱成章〕(27春)
旅行部利益問題——譯紐約銀行雜誌〔莊鑄九〕(27春)
中國旅行社之新氣象——易名之經過〔記者〕(27夏)
旅行雜誌編者綴言(27夏~冬、28春~秋)
中國旅行社要訊〔記者〕(27冬、28)
編者致詞(33)
編者絮語(29、30)
編者之言〔趙君豪〕(31、32、34)
編者報告〔趙君豪〕(35-12)
本社美譽(29-1、2、5、7、30-3、5、31-5~7、9、11、12、32-1、2、8、12、33-3、6~12、34-1、2、35-3)
旅行機關之服務(29-11)
中國旅行社津社〔記者〕(30-2)
南京分社新屋落成〔記者〕(30-3)
濟南中國旅行社〔記者〕(30-4)
本誌徵求定戶抽籤贈品揭曉後各贈品留影(30-8)
本社靜安寺支社〔記者〕(30-10)
北平分社新遷〔記者〕(30-11)
海外旅行社一頁(30-11)
哀朱成章先生〔趙君豪〕(31-2) *旅行雜誌之創刊者
青島分社遷移新址(31-5)
南京新街口之支社(32-12)
爪哇報紙中之鱗爪〔記者〕(33-9)
墟溝中國旅行社開幕誌盛〔記者〕(33-9)
大晚報之記載(33-9) *CHINA EVENING NEWS
于院長參觀潼關分社(34-1) *于右任(監察院院長)
光榮之頁(34-3~6、8、9、11、12、35-1、6、7、9、10、12、36-2、3、5~7、11、12、37-1~3、5、6)
本社新訊(34-7)
漢口江邊招待所落成〔記者〕(34-9)
青島中國旅行社喬遷盛況〔蘇竹影〕(34-10)
讀者座談會〔陳鵬萬〕(34-10、11)
星加坡分社開幕記盛(34-12)

中國旅行社創辦旅館一覽表（35-5～10）

首都飯店（35-9） *寫真

洪都飯店（35-9） *寫真

中國旅行社創設招待所之旨趣〔陳湘濤〕（35-9）

南京首都飯店（35-9） *招待所呼飯店專號

南昌洪都飯店〔程順元〕（35-9） *招待所呼飯店專號

金華招待所（35-9） *招待所呼飯店專號

黃山旅社（35-9） *招待所呼飯店專號

雪竇山招待所（35-9） *招待所呼飯店專號

青島招待所（35-9） *招待所呼飯店專號

濟南招待所（35-9） *招待所呼飯店專號

徐州招待所（35-9） *招待所呼飯店專號

開封招待所（35-9） *招待所呼飯店專號

潼關招待所（35-9） *招待所呼飯店專號

南嶽招待所（35-9） *招待所呼飯店專號

葉玉甫先生題字〔葉恭綽〕（36-1） *旅行雜誌十周紀念刊

編輯室十年記〔趙君豪〕（36-1）

中國旅行社飯店及招待所（36-4、6、8、11、12、37-2、4～6、9）

一月一譚〔編者〕（37-1～8）

本社服務紀錄（37-7、8）

旅行雜誌緊要啓事（37-9）

敬告讀者（37-9）

【時事その他】

國貨展覽會中之上海銀行（28冬）

名人行蹤（戈公振・張惠長・程艷秋・梅蘭芳・蔣介石・孔祥熙・薛敏老）（29-1）

名人行蹤（懷德爾・愛文諾・回教徒爲求新知見特結伴數十人赴耶路撒冷・施肇基・伍朝樞・高魯）（29-2）

名人行蹤（劉湛恩・陳文麟・美國前總統柯立芝夫婦・汽車大王福特夫婦・太戈爾・愛迭生・劉書藩）（29-5）

別言〔孫福熙〕（29-4） *劉既漂

建築導言〔劉既漂〕（29-4）

南北歐之建築作風〔劉既漂〕（29-4）

美術建築與工程〔劉既漂〕（29-4）

羅氏兄弟來華探險記〔陳心純〕（30-2）

客中偶感〔馬句〕（30-3）

外交部訂定頒發出國護照暫行辦法（30-4）

記世界最高建築物〔程志政〕（30-6）

北甯路招待歐美游歷團談〔金士宣〕（31-5）

中國發展游客事業之機會〔安立德原著・秦理齋譯述〕（31-7）

中國亟應提倡旅行事業〔王煥文〕（31-11）

春申烽火記〔孫頌虞〕（32-4）

墨索里尼新傳記〔Alexander Robertson 原著・程志政譯〕（33-1～3）

時人行蹤〔張學良〕（34-1）

華南旅行團紀略〔記者〕（34-2）

記十屆遠運會（本社爲體協會服務之經過）〔鄧炳銓〕（34-8） *5.12～19日、マニラにて

蕭伯納反新做壽、脂粉香水消耗於婦女腿部者頗鉅、書法心理家任道教授夫婦抵滬、上海婦女口脂香銷耗鉅款（34-9）

追悼蔣叔南先生〔趙叔雍〕（34-10）

美國總統之女離婚、穿破靴鞋五十雙、柏林博物館中中國文物展覽、南宮縣古寺發現藏經、放大浪指揮游艇、人造



- 雨試驗成功、太平洋中之金銀島（戈斯哥島）、美國之豪飲、試植英倫居然萌芽、世人毋須怕老婆、圓桶形之大酒肆（34-10）
- 佛化宣揚歐陸（倫敦開佛教徒會議）、南京古墓發現古物、國貨書面布、國府路發現古物、撫甯縣境掘獲古物、鐵山峯發現錳礦、兩路自製消耗品、德人注意我國新聞事業、趙縣發現怪獸、胡佛新著出版、上海天空之白光、日本極北發現新島、捲烟消費四萬萬（34-11）
- 意國優待蜜月旅行、供給遊客免費佳釀、驅鴉妙法（34-12）
- 北海春巡〔孟洸〕（35-2） *一年一度的海軍會操
- 趣味〔程志政譯〕（35-3） *能容二萬五千加侖之大酒桶、無票乘輪之幽默闊客、無獨有偶之——美俄兩國之鼠患、美總統羅斯福之起居注、無線電能治耳聾、奮勇拒盜之女子、孿生子生不同年、酣睡三載之奇人
- 趣味〔程志政譯〕（35-4） *妙趣橫生之電車軌道殞儀〔志政〕、四等車之今昔觀〔月〕
- 趣味〔程志政譯〕（35-5） *居住樹頂卅六載之隱士、接吻之時間問題、匪之妙奏、牛虎搏鬥、與盜共餐、可歌可泣之殺人案
- 趣味〔程志政譯〕（35-6） *如何保持君之康健〔美國芝加哥日報衛生特刊主筆賁道生〕、英國之反聲聯盟、得業狂喜而死、乘車除欠車資、撞車奇景、酷嗜旅行之九十齡老婦、乳牛產乳之新紀錄、酒瀑、世界記憶之王、未來之世界第一長人、總統夫人會場編織絨衣
- 趣味〔程志政譯〕（35-7） *四齡童駕駛汽車、小愛因斯坦、魚腹藏珠珠環合浦、隻手能舉奔馬、人車競爭、效法絕食之奇人、母女同日生產、雄獅贈偉人、服毒二十五次之多情種子、守財奴之遺產僅值二鎊
- 賽金花〔記者〕（35-8） *寫真
- 趣味〔程志政譯〕（35-8） *世界第一大力士談屑、雷亟趣聞、無奇不有之離婚理由、奇緣、未來之汽車、百架鋼琴之大演奏、睡美人、焚鬚致死、頑童造成家庭慘變、俄女尼之窖藏、九十齡老婦離婚、世界最大城市、導遊人「十誡」
- 趣味〔程志政譯〕（35-9） *咬鼻奇案、產子新紀錄、黑衣宰相篤念舊誼、漂流重洋兩年之怪瓶、南國幼主之新玩具、美國大學女生之生活趣統計、幽默之顧客與經理、練習飛行傘之新方法、生番不食吸烟者之肉、德國巧匠造成奇鐘、世界最老之處女、玩具手鎗殺人、流線式之離婚訟、赤手搏豹
- 來函（32-9）
- 趣味〔程志政譯〕（35-10） *一吼之代價二十五美金、鞋匠之報復惡劇、奔牛之紛擾、肥人俱樂部年會趣屑、吞彈怪事、炸妻、多子王、電車中之整容鏡、失而復得、全世界之啤酒飲量、五千年前之謀殺案、汽車肇禍處極刑、神秘莫測之吸引力、電椅行刑難、襪展覽、大情人之小訟案、厄運
- 趣味〔程志政譯〕（35-11） *怪異之遺囑、汽車躍入醫院、母子抱吻慘遭雷亟、意外之獲罪、捷克排外舊聞、獎勵結婚減費旅行、壻之壻、預言家之實驗、納爾遜之銀菜盆、歌唱家獨身主義之趣譚、路不拾遺、八十年後遞到之函件、犬異、甜笑比賽、愛犬殉葬、電椅瑣屑、神童繪畫個展
- 趣味〔程志政譯〕（35-12） *甘地之新食譜、美國自殺者減少、奇女子、櫃檯與墓碑、嘉賓之效顰者、獅出柙、世界最賢之女房東、意幼童之愛國熱、陸空兩用之飛機、理髮師音之樂天才、幼童竊案審訊之趣事、防止汽車肇禍之新方法、八十三年攤還之罰金、骨肉團聚、學生貴族九四華誕
- 趣味〔程志政譯〕（36-1） *觀影狂笑而逝、防盜氣囊、幼童因妬縱火、異想天開之籌款術、怪異之函件、視力特異之竊賊、汽車中生產、無線電情人、倫敦塔之火警、美國之鬼祟
- 趣味〔程志政譯〕（36-2） *節育之盛行、盲人安全之城、世界第一肥人逝世、美電影女明星之奢靡、劇盜醫牙、法院遇騙、美國電影明星之奇富、三千年未腐之女尸、幼孩之急智、烟斗中之槍彈、長壽村、牛尾掛燈、電話報時、風靡全德之獨身主義、怪異之自來水筆、匪綁警士
- 趣味〔程志政譯〕（36-3） *南非之神童、人血輸入犬體、逾期十一年未釋之囚徒、德國時尚琥珀、訟之謎、魚之維他命、英國房東優待小孩、瑞士游客大減、傘之保險券、機車自駛之慘劇、結婚被退、英京流行之小兒奇症、酣臥于軌道上之怪客、英王子之慈祥、失而復得之掛錶、蜂禍、玻璃舞場、腳踏車之發明人、海濱發現魚雷、歐洲最巨之望遠鏡
- 參觀世界運動會去〔蔣槐青〕（36-3） *ベルリン・オリンピック
- 趣味〔程志政譯〕（36-4） *懲僕趣劇、星期六不工作之士兵、匈牙利氣候奇暖、親子撞死老母、古棺中之情侶、拍賣賊女子、輪船駛入燈塔餐室、歐洲婦女嗜吸雪茄、鯉夫會之諧謔、雙倍火車、車主竊自備車之訟案、蚊虐、警官拒艷、遇游全球之無法投遞函件、渡海汽車、犬食假齒與訟、黠鼠殺巨蟒、闊賊
- 趣味〔程志政譯〕（36-5） *義貓、兒童旅館、健啖者之洪量、風流罪過、悍妻、動物中食量之最巨者、巨牛、離婚九訟、杯酒代價百鎊、潑血惡劇、法電話公司之新奇服務、國會雋事、老嫗鬥狼、縫工之殊榮、吉爾勃之遺產、續竊狡黠警署受愚、厚酬、缺席議員之罰鍰、胖稅、頑童傾覆列車未果
- 趣味〔程志政譯〕（36-6） *野牛破窗入室、吃蛋競賽、獵人之幸運、鴨被凍封、盲目復明、汽車肇禍判監終身、土邱前進異聞、

皮夾禦彈、猶太人之厄運、狗之遺產稅、頑童致富、面部烙印、巴黎嚴金贈品券、山崩、富翁自戕、與馬同居、犬執紼、盜劫畫家、動物園中之沙漠、犬竊報紙

趣味〔程志政譯〕(36-7) *影星訟案、廣播國歌、畫家怪癖、婦女回到廚房去、每畝千担之蕃薯產量、冰島之不景氣、無痛生產、壽嫗之願望、一九三七年小姐、體隨彈下、青年國家、安全駕駛錦標、手提醫院、防匪新術、多子之黑人、票選政敵、潘興將軍被扣、電鐘加速、取暖致死、捷克之節約

趣味〔程志政譯〕(36-8) *井中生子、兩幼孩之奇禍、競選妙法、探獄被拘、溺死浴缸中、胃異、任俠之漁夫、人瑞、犬之友誼、波蘭馬車盛行、女子參加同溫層探險、空中跳傘之最高紀錄、流線型旅館、少女求愛遇騙、怪兄弟、兩齡童之烟酒癖、兩虎入城、躍機自殺、碩大無朋之希德勒名著、南王遇刺之汽車

趣味〔程志政譯〕(36-9) *易叙而弁、妙算失妻、鬥力慘死、求雨趣事、毒蛇伴睡、要求付稅、彩色列車、頑童惡劇、離婚季節、輸血為業、最小婦人、鑽婚興訟、美麗警服、死人互控、世界巨燭、電話結婚

趣味〔程志政譯〕(36-10) *特殊時裝、死光表演、水成佳釀、節育興訟、竊雞巨案、蘭登逸事、清潔市都、女付贍養、富女豪情、賽舞致死、當庭生子、寡人幸運、長吻終日、自殺明志、滑稽惡劇、預售子女、洛翁瑣屑、影星奇遇、沽酒論詩、意外慘禍、弄假成真、雙腦異人、預知孕兒

趣味〔程志政譯〕(36-11) *汽車送菜、攜槍借款、自願繫獄、重視行獵、世界小書、駕駛新律、犬能言語、多育獲獎、未來食物、最早空郵、兄弟同妻、如斯虐待

趣味〔程志政譯〕(36-12) *敬禮種種、握手慘劇、雙重離婚、仁慈之殺、殺夫無罪、新聞之謎、驚人口脂、巨鷹就擒、蕭翁鑒鑠、國防郵票、幽默路章、最胖警士、法官自囚、蜂螫火鷄、透明女子、智犬奇能、幼女惡劇

安全道路、新魯濱生飄流歷險記、特殊之人材、重洋中誕生雙雄之喜劇、不收小帳之出租汽車、世界最忙之女子、捕蛇者說、身後之趣訟、惡作劇之報復 (37-1)

富翁徵婚之妙啓事、二猴繫獄、小賬購機、食貓獲譴、香煙之謎、父子同婚、新娘學校、影宮之王、叛教結婚 (37-2)

饒有趣之清廷建築鐵路爭議〔程志政〕(37-2)

獨舟壯遊、失名之累、奔馬肇變、弄假成真 (37-3)

長壽秘訣、美國人民反對仁慈之殺、老人惡訟、智犬捕盜、獅搏美女、巨鷹攫猪、母令子縊、兩度入墓 (37-4)

索價者之奇異遭遇、人化為猿、一場虛驚鱸魚作祟、汽車夫之失算、瘦小顧客之宏量、林肯蓄鬚佳話、怪異之遊艇、聞所未聞之疏忽博物院 (37-7)

求婚奇技、都市之購物迷、二吋琴提、驅魔陋俗、換骨新術、匈牙利之決鬥熱、蚤戲鼻祖成功史之一頁 (37-8)

【旅行一般】

我的旅行哲學〔趙爾謙〕(29-2)

海程〔Washington Irving 原著・陳心純譯〕(29-4)

暑假中的最好工作〔孫福熙〕(29-8)

旅行瑣談〔劉燕生〕(29-9~12)

西洋人之統艙生活〔德人曾齊士博士・秦理齋譯〕(29-11) *Dr. A. M. Zenzes

旅居國外之感想〔邱祖銘〕(30-4)

世界各國之旅行事業〔李不同〕(30-5)

國外旅行常識〔戈公振〕(30-7)

周遊世界之簡程〔戈公振〕(30-8)

旅行漫話〔趙譽船〕(30-9)

少年遊〔瞿銖菴〕(31-10)

世界旅行珍聞〔孫沛甘〕(31-10)

寸心塵遠話萍蹤〔高梧軒〕(32-1)

桃源何處〔一生〕(32-4) *片段游程

東鱗西瓜〔志政〕(32-4) *天涯海角

苦旅行〔枕月〕(32-4) *行旅常識

貓犬之旅行〔蔣崇平〕(32-5) *行旅常識

京滬輪中〔張靜之〕(32-5) *片段游程

携狗旅行之趣史〔徐泰來〕(32-7) *行旅常識



- 我的旅行常識〔竹影〕(32-8) * 行旅常識
- 我的旅行常識〔蔣叔南〕(32-10) * 行旅常識
- 馬上旅行〔蘇竹影〕(32-12) * 行旅常識
- 旅行雜話〔羅孝芬〕(32-12) * 行旅常識
- 旅行攝影談〔錢唐侯〕(33-1) * 行旅常識
- 露營和野宴〔王啓熙〕(33-7)
- 全國旅行家田曙嵐之游踪〔石凝碧〕(33-9)
- 旅行之片憶與話〔葉秋原〕(33-11)
- 生平之江湖趣味(文學家劉宣閣、浙江建設廳唐玉虬、申報月刊主筆俞頌華、杭州市政府石克士、京滬滬杭甬路營業所副經理程志政、小說家張恨水、讀者周霽華、小說家秦瘦鷗、文學家徐雲石、申報主筆武廷琛、中央大學教授阮毅成、正始中學石凝碧、鐵道部業務司長俞棧、青鶴雜誌主筆陳甘蓀、讀者徐京、時事新報記者湯增【易欠】、申報主筆瞿紹伊、時事新報主筆項遠村、中央大學教授張其昀、讀者王啓熙、讀者蘇竹影、讀者周急、桂林郵局俞心敬)(34-1)
- 夜半的脚步聲(蠻荒歷險記之一)〔英國女探險家露西姐福白士著、周行譯〕(34-2) * Ro?ita Forbes
- 可怕的假面具(蠻荒歷險記之一)〔英國女探險家露西姐福白士著、周行譯〕(34-4)
- 古今游記選雋(34-6)
- 出門攜物十八字訣〔思康〕(34-10)
- 扁舟憶往〔銖庵〕(34-11)
- (新年特大號徵文特輯) 展痕回味(35-1)
- 民衆詩人洪玉亭之回憶〔新聞報記者·郭步陶〕
- 拜臺之秋〔新中華主編·錢歌川〕
- 春明夢影〔浙江建設廳·唐玉虬〕
- 令人又驚又愛的虞山〔大晚報主筆·曾虛白〕
- 雋游片段〔鐵道部業務司長·俞誠之〕
- 匡廬與北平〔國立浙江大學教授·邵祖平〕
- 青島·濟南·北平·北戴河的巡遊〔文學家·郁達夫〕
- 想一想〔宜昌怡和公司·冷善遠〕
- 洛陽之行〔外交部國際司·錢王倬〕
- 琴操墓〔揚子江水道整委會〕
- 嚴子陵釣臺〔時事新報記者·朱曼華〕
- 滕王閣渺不可尋〔小說家·張恨水〕
- 游程處處〔文學家·徐雲石〕
- 回憶前程〔文學家·蔣維喬〕
- 說首都〔國立浙江大學教授·方志超〕
- 楊八洞〔時事新報記者·湯增【數】〕
- 虎邱之秋光〔王蔭棠〕
- 三度最愉快的杭州之遊〔兩路管理局·秦瘦鷗〕
- 舊游雜憶〔浙江建設廳秘書〕
- 興凱湖〔上海市公用局〕
- 馬相伯先生訪問記〔孫恩霖〕(35-1) * 旅行講座
- 序游〔南橋〕(35-1)
- 窮途旅行日錄〔陳再森〕(35-1)
- 臥車高鋪低鋪售價不同之掌故〔月〕(35-2) * 趣味
- 旅行亦有命運〔志〕(35-2) * 趣味
- 百聞不如一見〔志〕(35-2) * 趣味
- 蔡子民先生訪問記〔趙君豪〕(35-2) * 旅行講座
- 蜜月〔徐同鄴〕(35-3)
- 葉玉甫先生訪問記〔趙君豪〕(35-3) * 旅行講座
- 許靜仁先生訪問記〔趙君豪〕(35-4) * 旅行講座、許世英

- 潘公展先生訪問記〔趙君豪〕（35-5） * 旅行講座
沈君怡先生訪問記〔趙君豪〕（35-6） * 旅行講座
顧少川先生訪問記〔趙君豪〕（35-7） * 旅行講座 * 顧維鈞
蔣竹莊先生訪問記〔趙君豪〕（35-8） * 旅行講座、蔣維喬
黃伯樵先生訪問記〔趙君豪〕（35-9） * 旅行講座
王儒堂先生訪問記〔趙君豪〕（35-10） * 旅行講座、王正廷
褚民誼先生訪問記〔趙君豪〕（35-11） * 旅行講座
沙漠紀行〔周紀怡譯〕（35-11）
黃任之先生訪問記〔趙君豪〕（35-12） * 旅行講座
導游與愛國〔黃伯樵〕（36-1）
歸國途中之一頁〔章淵若〕（36-1）
游覽建國〔黎昭寶〕（36-1）
伴侶難求〔劉宜閣〕（36-1）
十載游踪〔潘仰菴〕（36-1）
十載游驂之片段〔朱僊〕（36-1）
海上蝸居〔趙景深〕（36-1）
話遊〔小記者〕（36-1）
我的遊歷經驗談〔余楠秋〕（36-1）
酒醉雙淚〔王蔭棠〕（36-1）
我們受容旅行語〔胡愈之〕（36-1）
憶舊游〔陳柱尊〕（36-1）
片段之回憶〔孫恩霖〕（36-1）
北伐旅行回憶〔李大超〕（36-1）
所望於旅行雜誌〔張恨水〕（36-1）
林泉含愠邱壑增慚〔瞿紹伊〕（36-1）
宇宙靈竅吟〔繆錦樓〕（36-1）
現代的旅行家〔I. M. Warden 原著、曹文楠譯〕（36-1）
三英人國外游記〔約翰·麥謙特原作、金克木譯〕（36-1~6） * John Merchant、エスペラント語
十日飛繞全球記〔雷門原著、孫恩霖〕（36-1） * Lauren D. Lyman
高夢旦先生訪問記〔趙君豪〕（36-1） * 旅行講座
李景樅先生訪問記〔趙君豪〕（36-2）
丁仲祐先生訪問記〔趙君豪〕（36-3）
旅行一得談〔遜齋〕（36-4）
嶽麓晤凌竹銘先生〔趙君豪〕（36-4）
王曉籟先生訪問記〔趙君豪〕（36-6）
山中攝影談〔勞生〕（36-7）
唐蔚芝先生訪問記〔吳德明〕（36-8） * 旅行講座
美國人的旅行熱〔孫恩霖〕（36-8）
陳光甫先生訪問記〔趙君豪〕（36-9） * 旅行講座
中國第一旅行家——徐霞客〔顧震白〕（36-11）
海上旅行的今昔〔沛甘〕（36-11）
海外旅行展望〔沛甘〕（36-12）
吳開先生訪問記〔趙君豪〕（36-12）
集團旅行的讚美〔徐蔚南〕（37-1） * 我的旅行生活片段
游蹤隨錄〔逸廬生〕（37-1） * 我的旅行生活片段
一般的月色〔蔣學楨〕（37-1） * 我的旅行生活片段
老江湖者言〔劉鳳生〕（37-1） * 我的旅行生活片段
記遊趣〔周霽華〕（37-1） * 我的旅行生活片段



不平凡的旅行〔錢華〕(37-1) *我的旅行生活片段
奧色利安先生〔程志政〕(37-1) *我的旅行生活片段、葡萄牙人
Picnic 的失敗〔徐京〕(37-1) *我的旅行生活片段
兒時旅行的況味〔蕭梅性〕(37-1) *我的旅行生活片段
王雲五先生訪問記〔趙君豪〕(37-1) *旅行講座
旅行瑣記〔力行〕(37-2)
車中人語 (旅行生活之片段)〔高梧軒〕(37-5)

【交通手段】

舟車形色錄〔劉樸塵〕(30-10)
歐洲線中之日郵新輪 (30-4)
浙江公路之新車〔記者〕(32-11)
世界最大之海上飛機〔記者〕(34-1) *寫真、柏德氏 (R. E. Byrd) 二次探險所用之大號飛機
記兩路新備滬平聯運客列車〔記者〕(34-3)
聯太平洋流線化火車 (34-10) *寫真
美國「流線化」火車——聯太平洋鐵道社之一大貢獻〔沛甘〕(34-10)
北岸鐵道公司之新機關車〔記者〕(35-1) *寫真
記歐亞間之四快輪〔周心渭〕(35-1)
十載間交通之進展〔武廷琛〕(36-1)
橫斷大西洋的載客巨船〔沛甘〕(36-6)
大西洋旅行的新陣線〔孫恩霖〕(36-7)
空中旅行展望〔沛甘〕(37-1)
記首都特快〔孫恩霖〕(37-2)
環球飛航紀程〔仲長〕(37-3)
空中旅行記樂〔孟述祖〕(37-8)

【安徽】

皖山畫派觀研錄〔徐雲石〕(32-8)

【安慶 (懷寧)】

安慶巡禮記〔帥雨蒼〕(35-5)
安慶景色〔黃鴻〕(37-5) *寫真

【合肥】

廬州導遊〔伯時〕(31-2、3)

【九華山 (青陽縣)】

九華山紀遊〔蔣維喬〕(29-2)
九華山遊記〔甯有瀾〕(34-9)
九華望黃山〔吳菰陽〕(37-3)

【黃山】

黃山紀遊〔蔣維喬〕(29-1) *附「黃山平面圖」
黃山養疴雜詩〔寂紅〕(30-10)
黃山修治道路記〔蔣維喬〕(31-8)
黃山攬勝記〔孫勁甫〕(32-11)
黃山紀遊〔邵禹襄〕(34-7)
黃山鱗爪錄〔程致澤〕(34-7)
黃山〔張印泉〕(34-7) *寫真
黃山〔邵禹襄〕(34-7) *寫真
黃海之遊〔陳萬里〕(34-10)
黃山紀遊〔馬國亮〕(34-11、12)

黄山游記〔吳采蓀〕（35-6、7）

黄山天都峯回望文殊院〔邵雨湘〕（35-8） *寫真

重游黄山記〔邵雨湘〕（35-8）

黄山詩記〔陳小蜚〕（36-1）

冰崖霧谷話黄山〔邵潭秋〕（36-2）

黄山導遊（36-2）

黄山春遊團簡章・遊程時刻表（36-4）

黄山導遊〔徐家涵〕（36-4）

春遊到黄山〔閻重樓〕（37-6）

黄山夏景〔陳詠華〕（37-8） *寫真

【采石磯】

采石磯〔鄭咸亨〕（35-6）

采石磯遊記〔黎漢武〕（35-7）

采石磯〔黎漢武〕（35-7） *寫真

采石磯遊記〔李恩渥〕（36-11）

采澱紀游〔余楠秋〕（37-1）

【滁州】

滁州紀游〔趙叔雍〕（34-5、6）

滁州豐樂亭與琅玕寺（34-6） *寫真

【宣城】

皖南宣城紀遊〔吳崧陽〕（34-10）

皖南宣城〔李國源〕（34-10） *寫真

【池州】

憶池州〔石克士〕（35-2）

【桐城】

龍眠山水紀〔金天翮〕（31-9）

浮渡遊記〔金天翮〕（31-10）

【桃花壩】

桃花壩〔朱曼華〕（36-1）

【白嶽（齊雲山）】

白嶽紀遊〔蔣維喬〕（29-5）

白嶽山麓〔邵禹襄〕（37-5） *寫真

【蕪湖】

春渚歸程〔劉宣閣〕（36-6）

【鳳陽】

記蟬窟龍興兩寺〔石克士〕（31-11） *距歙縣縣城祇十五里

【雲南】

滇南名勝紀〔祖雨人〕（29-1）

滇越鐵路概況〔伯時〕（30-7）

滇黔苗話〔伯時〕（30-8）

滇黔歸語〔秦燮源〕（31-5）

普洱一瞥〔劉樸塵〕（31-9）

昆明山水誌略〔劉樸塵〕（31-11、12）

昆明大觀樓〔張韻芬〕（33-9） *寫真

雲南路南縣石林〔魯成〕（34-4） *寫真

雲南之行〔王正恆〕（35-12）

滇池紀遊〔童振藻〕（36-2）



滇西旅程日記〔沈軼劉〕(37-6)

【河南】

游孔子擊磬〔磬〕處與比干墓〔陳川至〕(32-8)

河南名勝(34-5) *寫真

【安陽】

彰德袁陵遊記〔周急〕(33-11) *袁世凱墓

【王喬洞(新安)】

王喬洞遊記〔蕭梅性〕(31-8)

【開封】

開封之旅館(32-5) *旅邸情報

【歸德(商邱)】

歸德戰後遊記(30-8)

【雞公山】

記雞公山〔王主和〕(33-10)

雞公山〔廷秋〕(34-7) *寫真

雞公山遊記〔廷秋〕(34-7)

仙霞竹徑・仙霞嶺雞公山〔莊摺之〕(34-8) *寫真

雞公山遊記〔徐世清〕(35-7)

雞公山〔徐世清〕(35-7) *寫真

【三門】

三門游記〔蕭梅性〕(33-6)

【嵩山】

嵩山遊記〔楊雲史〕(32-4)

中嶽遊記〔蕭梅性〕(34-1)

【鄭州】

鄭州旬日〔孫肖泉〕(31-10)

【百泉山(輝縣)】

百泉記遊〔林夙根〕(32-12) *蘇門山

百泉記畧〔張彭新〕(34-7)

百泉遊記〔謝椒分〕(35-7)

【洛陽】

記新都之行〔吳天放〕(32-6) *洛陽—西安

今日的洛陽——隴海路旅行的一段記略〔安之〕(32-7)

白馬寺游記〔蕭梅性〕(33-5)

【龍門】

明帝之夢〔M. Thynne、秦理齋譯〕(32-9) *英文もあり

洛陽龍門〔錢王倬〕(34-7)

龍門造像〔李長之〕(36-7)

【河北】

河北西陵前之石牌坊(中國之石刻四)(32-5)

河朔三大名蹟遊覽記〔去病〕(33-9)

【易縣】

游雷溪記〔藏園老人〕(37-4)

【山海關】

榆關記遊〔孫秀雯女士〕(30-4)

舉世注目之山海關車站・氣勢雄偉之山海關城堞・今古要隘之天下第一關・雪霽(32-2)

【上方山】

上方山紀〔銖庵〕（36-7）

【正定】

正定龍興寺考古記〔巨淵〕（33-12）

正定龍興寺考古圖景〔趙澄〕（33-12）

【定縣】

定縣實驗區〔去病〕（34-2）

古中山記（36-3）

【熱河】

陳少白遊熱河記〔曹亞伯〕（29-9）

【北戴河】

北戴河海濱旅行記——消夏名區之一〔毅園〕（27夏）

北戴河遊程——消夏名區之二〔吳碧筠〕（30-7）

北戴河〔趙道生〕（32-7） *寫真

北戴河〔侯祥麟〕（34-8） *寫真

西蓮峯下送殘春——北戴河旅行片段〔高梧軒〕（36-7）

北戴河海濱紀游〔蔣維喬〕（36-9）

北戴河〔姚定九〕（37-8） *寫真

【甘肅】

蘭州導遊〔蕭梅性〕（35-5）

蘭州景色〔錢菊林〕（36-4） *寫真、錢菊林「西蘭旅行隨記」（36-4）

閒話蘭州〔徐快公〕（36-10）

【廣東】

天南瑣語〔劉宣閣〕（31-4）

嶺南春色〔丁微塵〕（31-4）

白雲樓札記〔劉宣閣〕（31-7）

南天客話〔珍重閣〕（31-8、9）

萍踪瑣記〔謝恩祈〕（31-12）

瓊崖一瞥〔李欽文〕（32-3）

鼎湖山遊記〔何家瑚〕（32-4）

南歸雜憶〔陸丹林〕（32-5）

南海微波〔梁得所〕（32-10）

華南旅行記〔陳存仁〕（34-5、6）

華南旅行記書後〔趙哲士、周聖臧〕（34-9）

南國風光（34-6） *寫真

漱珠岡遊記〔馮植芳〕（34-8）

南國的懷憶〔鄒汝熾〕（34-12）

粵秀山上之新建設（36-1）

粵行十札〔銖庵〕（36-5）

粵遊鴻雪錄〔許穀人〕（37-8）

【海南島】

環遊海南島記〔田曙嵐〕（35-1~5）

海南島風光〔程肇民〕（37-7） *寫真

【惠州】

惠州之西湖〔崔其煒〕（30-11）

惠州西湖紀遊〔霍仁生〕（37-3）



【惠陽】

東坡故居游記〔葉庸菴〕(37-8)

【廣州】

黃花岡紀遊〔陸丹林〕(29-2)

記廣州名勝〔崔其燁〕(29-12)

荔枝灣小記〔蕭枕紅〕(34-9)

石牌新校巡禮〔馮植芳〕(35-2) * 中山大學

荔枝灣〔區作霖〕(35-6) * 寫真

荔枝灣追憶〔區作霖〕(35-7)

廣州之名勝〔屈武圻〕(35-11)

羊城雜記〔邵潭秋〕(36-11)

羊城續記〔邵潭秋〕(37-5)

【從化】

從化溫泉紀遊〔崔龍文〕(37-2)

從化溫泉〔崔龍文〕(37-2) * 寫真

從化溫泉紀遊〔徐錫齡〕(37-4)

【翠亨村】

翠亨村之遊〔李權時〕(37-1) * 我的旅行生活片段、孫文の故郷、「總理」の前を一格あける

【清遠】

清遠旅行記〔蘇非亞〕(37-1)

【丹霞山（仁化縣）】

丹霞山遊記〔盧德初〕(37-5)

丹霞山景〔盧德初〕(37-5) * 寫真

【中山港】

中山港漫遊記〔林漢民〕(30-10)

中山港〔黃英〕(34-11) * 寫真

【肇慶】

廣東肇慶鼎湖山之飛水潭〔凌竹銘〕(33-7、8) * 寫真

【潮陽】

說潮陽〔邵潭秋〕(36-10)

【羅浮山】

羅浮遊記〔鍾鍾山〕(30-7)

合掌崖瀑布・自荔枝門遠望羅浮〔余紹宋〕(35-9) * 繪

羅浮紀遊〔黃般若〕(36-6)

羅浮之勝〔黃般若〕(36-6) * 寫真

【貴州】

黔行紀略〔曹鑑庭〕(33-1~5、8、9)

【湖南】

桃花源探訪記〔張滌中〕(32-9)

遊湘省公路及南嶽記〔陳光甫〕(33-7) * 南嶽管理局規定轎夫挑夫工價表、湖南全省公路局各段營業里程表、湖南全省公路局各段客票價目表湖南全省公路局客車開到時刻表、粵漢鐵路行車時刻簡明表、粵漢鐵路由長沙東站至下列各站價目表

【益陽】

益陽遊記〔余楠秋〕(36-5)

【灰湯】

數千里內第一泉〔傅任敢〕(33-4)

【岳陽】

岳陽游記〔凌崇光〕（37-4）

【衡山】

南嶽遊記〔黎爾穀〕（32-3）

衡山紀遊〔邱鼎汾〕（34-6）

遊南嶽記〔汪振坤〕（36-8）

南嶽衡山〔趙南煌〕（37-3）

旅行衡山漫記〔趙南煌〕（37-4）

【谷山】

上谷山去——湘遊記勝之一〔傅任敢〕（33-8）

【湖北】

【宜昌】

三遊洞的文獻〔冷善遠〕（32-8）

獨遊三遊洞〔張延祥〕（34-12）

三游洞（34-12） *寫真

遊三遊洞〔吳天放〕（36-1）

【金剛山】

記金剛山太陽會之遊〔吳天放〕（35-7）

【武漢】

漢口之旅館（32-6） *旅邸情報

遊武漢大學〔戴華〕（32-7） *片段游程

珞珈山巡禮〔李長年〕（34-7）

漢皋話舊〔姜亦溫〕（35-7）

武漢〔姜亦溫〕（35-7） *寫真

武漢印象近記〔張常人〕（37-4）

【武當山】

武當山之遊〔賈士毅〕（36-1）

武當山遊記〔李達可〕（36-10）

武當山（36-10） *寫真

【木蘭山】

木蘭山遊記〔許叔和〕（36-3）

【隆中】

首過隆中〔張延祥〕（35-4）

隆中一日記〔沈味之〕（36-2）

隆中（36-2） *寫真

【江西】

贛行雜記〔沈公達〕（36-3）

贛行雜攝〔沈公達〕（36-3） *寫真

袁水探源〔張延祥〕（36-9）

【貴溪】

弋貴山水記〔曾世榮〕（36-1） *弋陽、貴溪

遊龜峯記〔孫浙生〕（36-2）

龜峰（36-2） *寫真

【九江】

九江之旅館（32-6） *旅邸情報

【小姑山（小孤山）】

長江中之小姑山〔袁松年〕（35-6） *繪



【信江】

信江旅行記〔饒照軒〕(36-12)
圭峯〔饒照軒〕(36-12) * 寫眞

【南昌】

南昌漫話〔劉萊生〕(33-12)
南昌生活〔徐同鄴〕(35-5)

【龍虎山（上饒）】

龍虎山紀遊〔蔣維喬〕(36-8)

【廬山】

廬山三日遊記——消夏名區之一〔輝垣〕(27夏)
匡廬識小錄〔無那〕(28夏)
廬山面目——丙寅舊作〔譚組庵〕(28夏)
廬山遊記〔周育涵〕(30-6)
牯嶺遊程——消夏名區之三〔譚漁父〕(30-7)
廬山真面目〔枕菊居士〕(31-6)
匡廬山南遊記〔眠雲山人〕(31-6)
牯嶺游程〔秦理齋〕(31-6)
冒雪登廬山記〔吳宗慈〕(31-6)
記黃家坡雙瀑〔晦牛〕(31-6)
廬山獅子口望鄱陽湖、廬山三疊泉霧景(31-6)
牯嶺心影〔鍾興正〕(31-7)
牯嶺〔枕菊居士〕(32-7) * 寫眞
匡廬小游〔周仲千〕(32-10) * 片段游程
陳散先生廬山近詩(32-11)
牯嶺西谷天橋瀑布〔葉爲耽〕(33-7) * 寫眞
廬山風雲錄〔丁惠康〕(33-10)
匡廬名勝〔丁惠康〕(33-10) * 寫眞
兩游廬山小記〔惲松巖〕(33-11)
廬山〔侯祥麟〕 * (34-8)
記廬山蓮蓬山〔張延祥〕(34-11)
牯嶺小休記〔許穀人〕(35-9)
遊東林寺記〔鐵僧〕(37-2)

【廣西】

廣西紀遊〔高鳳紀〕(31-7)
桂遊半月記〔五五旅行團〕(32-9)
廣西陽朔〔劉體志〕(34-1)

【雁山】

雁山記遊〔愈心敬〕(36-2) * 「病院」の寫眞を切り抜いたため冒頭闕
雁山記遊〔愈心敬〕(36-2) * 寫眞

【桂林】

桂江紀游〔陳澗玄〕(30-9)
桂林風景(31-11)
桂林山水(32-10) * 寫眞
桂林山水〔汪叔謙〕(32-11) * 寫眞
邕桂車行二日記〔愈心敬〕(34-1)
桂林山水紀〔愈心敬〕(34-2、5、10、35-10~12) * 目次と34-10本文タイトルは「記」
桂林山水〔愈心敬〕(34-5) * 寫眞

桂林山水〔邵雨湘〕（36-1） *寫真

桂林山水〔錢華〕（36-1）

桂林山水書所見〔惲蔭棠〕（36-3）

廣西桂林〔愈心敬〕（36-5） *寫真

桂林山水〔鄭劍平〕（37-2） *寫真

桂林山水〔凌鴻勛〕（37-5）

【陽朔】

陽朔之詩情畫意〔邵雨湘〕（36-8） *寫真

【江蘇】

吳游紀勝〔俞誠之〕（32-2） *詩

吳苑梁溪一瞬〔徐雲石〕（33-8）

滬揚航路觀光記〔李雲良〕（33-12）

旅行徐海隨筆〔顧濟之〕（34-11）

淮北鹽區遊記〔愚公〕（35-3）

淮北鹽區鳥瞰（35-3） *寫真

江南巡遊記〔顧濟之〕（35-6）

江北沿運七縣視察記〔顧濟之〕（35-10）

導淮工程一瞥〔顧濟之〕（35-10） *寫真

邵伯船閘記〔耿厚澤〕（35-12） *邵伯一稱甘棠、又名棠埭、亦曰棠湖、晉太傅謝安鎮揚時所築

【宜興】

陽羨山水紀勝〔蔣維喬〕（29-9）

陽羨遊記〔唐玉虬〕（32-4、5）

宜興勝洞紀遊〔汪叔梅〕（33-1）

遊宜興善卷庚桑兩洞記〔成竹〕（33-4）

夢裏桃溪笠屐痕〔徐雲石〕（33-5）

宜興二洞（35-2） *寫真

宜興兩洞紀游〔伍渭英〕（35-5）

陽羨名蹟記〔唐玉虬〕（36-8）

【金壇】

參觀金壇茅麓農場記〔包明叔〕（34-1）

【句容】

隆昌寺之玉佛〔吳琢之〕（32-8） *寶華山、寫真

【惠山】

惠山（27冬）

惠山訪古〔孫伯亮〕（35-5） *詩

【崑山】

顧德輝玉山名園・黃旖綽墓〔高梧軒〕（33-3） *寫真

葉譽虎東亭探荷記〔李肖白〕（33-10）

崑山紀游詩〔鈕慕頌〕（34-12）

青陽港中之日本蟲〔枕〕（35-2） *趣味

青陽港記游〔伯樂〕（36-3）

從崑山到青陽港〔閻重樓〕（37-1）

【十二圩（儀徵）】

十二圩考察記〔麻笑予〕（29-6）

【徐州】

雲龍山遊記〔蕭梅性〕（29-11）

彭城訪古記（30-5）



【常州】

蘭陵登塔紀〔張春帆〕(27冬)

同樂園記〔蔣維喬〕(33-9) * 通成紡織廠之附屬公園、池宗墨

余之故鄉〔高梧軒〕(34-12)

【常熟】

虞山游記〔漱六山房〕(28特)

常熟三日遊記〔徐養文〕(30-11)

虞山名勝〔閔希賢〕(34-8)

琴川秋色〔王勞生〕(35-10)

常熟之行〔清〕(35-11)

常熟小游〔邵飄飄〕(35-12)

常熟道即景〔沈信卿〕(36-1) * 詩

謁仲雍言子二墓〔沈信卿〕(36-1) * 詩

自劍門興福寺〔沈信卿〕(36-1) * 詩

琴遊小誌〔李權時〕(36-11) * 古昔以琴水名常熟

虞山紀游〔劉復中〕(37-1) * 我的旅行生活片段

記虞山半日遊〔馮柳堂〕(37-7)

【焦山】

焦山記游〔高梧軒〕(29-5)

八方風雨說三山——金、焦、北固的總探討〔易君左〕(32-11)

俞誠之先生遊金焦詩(32-11)

賺遊焦山〔邵潭秋〕(37-1) * 我的旅行生活片段

【蘇州】

蘇州遊程(27春)

蘇州風景(27春)

虎邱塔(27夏)

虎邱遊記〔一帆〕(27夏)

寒山寺遊記〔花侍〕(27冬)

蘇州游程〔何梅影〕(28特)

吳門游程〔陳彥〕(28秋)

蘇錫四日記〔秦燮源〕(30-3)

虎丘訪古記〔程志政〕(30-9)

吳山撮要〔朱玃〕(31-4)

蘇州紀遊〔邵祖平〕(31-5)

天池一勺〔劉鳳生〕(31-8)

甬直羅漢觀光記〔趙君豪〕(33-1)

蘇州金焦山遊記〔阿奂〕(33-7)

胥口波光〔七陽〕(34-6)

天平之春〔程志政〕(34-7)

天平山之石〔陸禎芝〕(34-11) * 寫真

姑蘇烟雨記〔王志欽〕(35-6)

天平山之楓林〔陸敬臨〕(35-10) * 寫真

光福遊記〔蔣維喬〕(35-12) * 本文タイトルは「光復」に誤る

【太湖】

太湖(27秋、冬)

洞庭西山遊記〔彭叔夜〕(29-6)

國立太湖公園〔陳植〕(31-1)

風帆沙鳥畫湖天——震澤揚帆記〔徐雲石〕(33-4)

太湖發現古城遺跡（34-10）

太湖〔王勞生〕（36-5）

記洞庭西山之勝〔李申穰〕（36-6）

記洞庭石公山〔吳似蘭〕（36-12）

洞庭石公山〔吳似蘭〕（36-12） *寫真

太湖晚生〔王勞生〕（37-1） *我的旅行生活片段

【丹陽】

丹陽訪古記〔葉祥法〕（35-5） *南朝陵墓

延陵訪碑記〔周厚坤〕（36-1）

丹陽游記〔葉在茲〕（37-2）

【鎮江】

鎮江焦山碧山庵西廡（28夏）

鎮江之見聞〔顧濟之〕（29-10）

鎮江之旅館（32-10） *旅邸情報

【南京】

南京水西門郊外朝景（28夏）

溫泉試浴記〔劉宣衡〕（28秋）

首都之游（棲霞山附）〔趙君豪〕（28冬）

中山陵（29-6）

中山陵墓展謁記〔錢芝生〕（29-6）

雨花臺之游〔劉鍾孚〕（29-11）

首都勝覽〔鍾興正〕（30-10）

南湯山・燕子磯・玄武湖・莫愁湖〔李尊庸〕（31-2）

新都舊話〔高梧〕（31-10）

白下三登掃葉樓〔俞誠之〕（32-5） *詩

玄武湖之秋（32-10） *寫真

南京之旅館（32-10） *旅邸情報

南京六十小時〔馬國亮〕（33-1）

牛首山之遊〔葉祥法〕（33-7）

鼓樓雲樹・玄武湖涼意〔潘公俠〕（33-9） *寫真

陶谷秋興〔劉宣閣〕（35-1）

首都三墓〔政〕（35-4） *南京

金陵牛首山訪古記〔羅香林〕（35-8）

牛首山訪古記〔羅香林〕（35-8） *寫真

記莫愁湖之游〔李恩渥〕（36-12）

白門十記〔張恨水〕（37-8）

到棲霞山去〔祖雨人〕（37-8）

【南通】

狼軍二山記游〔程志政〕（28特）

崇川攬勝記〔程志政〕（28冬）

通屬五縣視察記〔顧濟之〕（37-1）

【茅山】

茅山游記〔沈芥舟〕（35-5）

【無錫】

無錫遊程（27春）

無錫遊覽嚮導〔陳君璞〕（28特）

無錫太湖濱萬頃堂側（28夏）

週末旅行之無錫〔秦理齋〕（30-6）



無錫觀湖團記〔記者〕(30-8)
錫遊酬唱録(31-7)
無錫之旅館(32-10) *旅邸情報
自無錫龍頭渚遠望小箕山〔華衛中〕(33-7) *寫眞
峭寒裏の無錫〔赫森〕(35-2)
蠡園小駐記〔許穀人〕(36-11)
【揚州】
維揚游記〔漱六山房〕(29-3)
瘦西湖〔李長年〕(33-8)
綠楊城郭是揚州〔高梧軒〕(34-9)
綠楊城郭(34-9) *寫眞

【山西】

追述山西及内蒙古之遊〔曹亞伯〕(30-3)
平陸游記〔蕭梅性〕(30-3)
山西解縣之遊(32-3)
山西一瞥〔吳本讓〕(33-9)
塞外漫遊隨筆〔方山〕(34-11) *雲岡、大同など
太行紀遊絕句〔俞誠之〕(35-3) *詩

【雲岡】

雲岡石佛(36-7) *寫眞

【五台山】

五台山遊記〔吳少成〕(27秋)
五台山紀遊〔都錦生〕(35-12)

【恆山】

恆山遊記〔附雁門關遊記〕〔吳少成〕(27冬)
恆嶽遊記〔關穎人〕(36-1)

【晉祠】

晉祠天龍山遊記〔吳少成〕(28特)
遊晉祠攷録〔凌宴池〕(34-7)

【天龍山】

天龍山游記〔李慶芳〕(36-9)

【汾陽】

山西峪道河〔韋伯俊〕(37-3)

【山東】

魯北十日記〔的鐸〕(30-11)
青州紀遊〔天荒逸叟〕(32-8)
明水紀遊〔天荒逸叟〕(33-1)
膠東拾錦〔懷瑾〕(33-12) *34-5の60頁に「啓事」あり
魯游鴻爪〔周仲予〕(34-9)
齊魯紀遊〔伍受眞〕(35-10)
漫游齊魯雜詠〔繆鏞樓〕(35-12)
東魯八日遊記〔胡子巖〕(36-4、5)
萬德泰山曲阜滁州紀遊〔程志政〕(36-10)
從嶗山到泰山〔朱超然〕(36-10)

【威海衛】

威海衛一瞥〔漪漪〕(30-10)

威海衛遊記〔王正廷〕（32-10）

烟台・威海衛（35-2） *寫真

【曲阜】

孔陵謁聖記（譯）〔程志政〕（29-3） *密勒（James Arthur Muller）、Asia 雜誌28-2

山東孔廟前之石牌坊（中國之石刻一）（32-5）

【崑崙山（文登）】

遊崑崙山記〔徐祖善〕（32-11）

【成山（榮成縣）】

成山紀遊〔楊震嶽〕（34-8）

【濟南】

濟南稽舊〔趙叔雍〕（31-12）

濟南之旅館（32-8） *旅邸情報

濟南大明湖名泉（34-5） *寫真

濟南膠濟路車站新月台透視（36-3） *寫真

【泰山】

泰山（27秋）

泰岱一瞥〔沈壽宇〕（31-9）

步行泰山記〔陳嘉震〕（31-10）

泰山百丈崖瀑布・自泰山絕頂遠眺・泰山觀日出・泰山高頂之南天門（32-9） *寫真

泰山遊記〔呂吟聲〕（32-12）

泰安賓館（33-10） *旅邸情報

岱嶽游記〔汪季文〕（33-11）

泰山訪馮記〔丁君甸〕（35-6）

【青島】

青島游程〔高梧〕（28夏）

青島勝概〔膠濟鐵路管理局〕（29-8）

青島鱗爪〔丁惠康〕（31-7）

征塵片影〔率真〕（31-9）

青邱游屑〔葉恭綽〕（31-12）

嶗山紀遊（32-7）

青島〔劉雲秀〕（32-7） *寫真

青島之旅館（32-7） *旅邸情報

青島新民飯店概況（32-7） *旅邸情報

丹山賞花記〔蘇竹影〕（33-6）

海市蜃樓之奇觀〔蘇竹影〕（33-8）

青島鳥瞰〔李堯生〕・青島海水浴場〔李肇聰〕（33-9） *寫真

夏之樂園〔瑾妮〕（33-9）

記青島飛機場〔蘇竹影〕（33-12）

青島紀遊〔朱枕薪〕（34-2）

紀青島化裝溜冰會〔胡律天〕（34-4）

青島遊程〔竹影〕（34-5）

記青島海水浴場〔蘇竹影〕（34-8）

青島〔侯祥麟〕（34-8） *寫真

青島遊程（34-8）

留青詩記〔陳小蜚〕（34-11）

青島歸舟〔劉雲舫〕（35-10）

李村采風錄〔李雲良〕（36-8）

【靈巖寺】



靈巖風景 (36-1) * 寫真

【嶗山】

題潮音瀑〔林競〕(33-5) * 詩

嶗山觀瀑記〔蘇竹影〕(33-8)

勞山記遊〔蔣維喬〕(33-10)

勞山雜詩〔沈信卿〕(36-1)

【四川】

旅蜀道上〔張欽士〕(29-1)

巴蜀峽中 (30-6) * 雲陽張飛廟、蝦蟆灘、牛肝馬肺峽、金盞銀鐙峽

遊蜀記〔高鳳紀〕(30-11)

輕舟・峭壁・江岸山脈 (四川岷江) (31-5)

嘉陵江下遊遊覽記〔鍾文〕(31-9、11)

蜀中名勝 (32-3)

參觀四川小三峽社會事業日記〔揮震〕(33-3)

蜀遊萍踪〔陸詒〕(33-4、9)

岷江往返記〔高伯琛〕(34-11、12)

四川小三峽遊記〔羅廣源〕(35-3)

川黔漫遊錄〔張季勤〕(36-4、6) * 四川、貴州

到四川去〔劉令璧〕(36-11)

川游回憶〔余楠秋〕(37-1) * 我的旅行生活片段

四川風光〔倪綱賢〕(37-3) * 寫真

四川消夏小景〔倪綱賢〕(37-8) * 寫真

渝江隨筆〔南野老人〕(37-9)

【峨嵋山】

峨嵋山 (27秋)

峨眉山遊記〔大中〕(30-10)

四川峨嵋山、峨嵋山金頂、峨嵋山舍利塔峨嵋山 (31-3)

峨嵋游記〔少成〕(33-12)

峨眉山遊記〔李春昱〕(34-6)

四川峨眉山 (34-6) * 写真

峨眉積雪〔晉希天〕(35-2) * 寫真

峨眉踏雪記〔晉希天〕(35-2)

遊峨眉山記〔馬滌安〕(37-3)

【金佛山 (南川)】

金佛遊記〔劉雨若〕(33-2)

金佛風景〔劉雨若〕(33-2) * 寫真、四點

【劍門】

劍門涪江之遊〔楊訥庵〕(36-10)

【三峽】

巫山峽 (27夏)

三峽憶游〔趙幼文〕(32-6)

巫山過眼記〔揮蔭常〕(33-2)

入峽記〔張靜廬〕(34-4)

川江風景〔無罣碍室主〕(35-12) * 寫真

三峽道觀〔高伯琛〕(36-1)

江行歷險記〔陳亞統〕(37-2)

【青城山 (灌縣)】

青城山之遊〔趙幼文〕（30-9）

【成都】

成都剪影〔劉鬱櫻〕（34-12）

【白帝城】

白帝司徒巡禮〔倪綱賢〕（37-3）

【鄴都】

廿年前之鄴都遊記〔劉溥泉〕（31-2）

【上海】

上海霞飛路底（27秋）

上海南京路（27冬）

上海城隍廟〔包羅多〕（28春）

龍華嚮導〔趙君豪〕（28特）

上海法租界公園新荷（28夏）

上海之園林〔趙君豪〕（29-1~3）

上海之旅館〔陳曉雲〕（29-5）

崧園修禊記〔趙君豪〕（29-5）

上海市菊花展覽會記〔吳覺農〕（29-12）

上海較巴黎如何〔褚民誼〕（30-1）

上海的鳥瞰〔梁得所〕（30-1）

明日之上海〔趙君豪〕（30-1）

紐約與上海〔沈沛甘〕（30-1）

上海之交通〔譚伯英〕（30-1）

上海公園誌〔秦理齋〕（30-1、6）

邑廟導遊〔孫恩霖〕（30-1）

上海之旅館生活（30-1）

上海北站之兩小時〔秦理齋〕（30-1）

浦濱滄桑錄〔孫恩霖〕（30-1）

上海之陳跡〔曹亞伯〕（30-1）

上海之電影〔張韋燾〕（30-1）

上海人的消夏生活〔沈沛甘〕（30-7）

徐家匯巡禮〔孫恩霖〕（31-1）

高橋海濱游泳記——消夏零拾之一〔王啓熙〕（32-10） *片段游程

記水上旅行——滬閩間〔趙梅卿〕（32-11） *片段游程、閩行

東方巴黎之夜〔王啓熙〕（32-11）

上海賽會〔周映霞〕（34-7） *寫真

滬游雜詠〔鈕慕頤〕（34-7）

上海一日遊記〔歸國華僑〕（35-3） *轉載廿三年十二月廿日紐約商報

輕舸對話〔劉宣閣〕（35-7） *佘山

滬游雜詩〔鈕慕頤〕（35-8）

滬游鍾誌〔鈕慕頤〕（35-9）

半日龍華〔徐蔚南〕（36-1）

夏之海濱（36-8） *寫真

上海市高橋海濱浴場特輯（36-8） *仲夏午之遊〔孫沛甘〕、到海濱浴場〔余空我〕、消夏勝地〔朱曼華〕、海はm浴場〔夢白〕、

高橋海濱浴場〔黃影呆〕

吳淞炮台的史蹟〔思沛〕（37-9）

【佘山】

佘山記〔黃影呆〕（35-5）



江南名勝佘山導游〔張若谷〕(37-7)

【嘉定】

嘉定學潭 (28夏)

【金山】

金山遊記〔高梧軒〕(29-3)

【新疆】

西北萬里長征日誌〔吳紹璘〕(30-10~12)

西北旅行回溯〔嘯園〕(31-3)

新疆十詠〔唐玉虬〕(31-11)

新疆人民的生活〔褚民誼〕(32-1)

新疆偶見〔金鼎新〕(32-6) *海角天涯

燉煌畫壁〔陳萬里〕(33-8) *美術銅圖

【西藏】

西藏的一瞥(譯)〔程志政〕(29-6) *麥克唐納(David Macdonald)、Asia雜誌29-3・4

西藏宦遊之回憶〔斯東記述〕(30-6)

貢噶探險記〔美國洛克教授 Pro, Joseph F, Rock 原著、秦理齋譯〕(31-9、10)

【青海】

塔爾寺及其燈會〔穆建業〕(32-10)

青海藏族的婚姻〔穆建業〕(32-11)

西行日記〔舒永康〕(33-9~11)

【浙江】

浙東遊記〔陳萬里〕(29-10、11)

甌行雜記〔鍾志剛〕(29-12) *甌=永嘉

瓜山之遊〔莫存之〕(29-12)

會稽山水紀勝〔蔣維喬〕(30-3)

兩浙驅車記〔秦理齋〕(31-3)

三門灣遊記〔江森裕〕(31-9)

東浙紀遊〔周旋〕(31-11)

西溪紀游〔邵祖平〕(31-12)

蘭溪遊記〔江森裕〕(32-1)

白龍潭尋瀑記〔唐玉虬〕(32-6)

皋亭山紀遊〔邵祖平〕(32-6)

新登游青牛嶺記〔茆田〕(32-6) *片段游程

游米積山記〔茆田〕(32-6) *片段游程

象山港一瞥〔趙梅卿〕(32-12)

杭江鐵路沿綫探勝記〔嵇光華〕(33-2、3)

金玉遊踪〔華衛中〕(33-3) *金華—玉山

千里壯遊錄——重轟旅行隊滬杭甬普觀光記〔王啓熙〕(33-4)

臨安諸山遊記〔唐玉虬〕(33-4)

湖上四日游記〔胡石予〕(34-5)

(東南交通周覽會)第一線游覽日記〔趙叔雍〕(34-7、8)

金衢采風瑣述〔非衣〕(34-7)

金華蘭溪遊記〔李玉如〕(34-7)

浙東靈源鄉湧雪洞旁羊羣·浙東峽口橋〔莊摺之〕(34-8) *寫真

浙東遊程（34-11）

仙霞春色〔曾世榮〕·蘭溪風物〔吳中行〕（35-3） *寫真

浙東山水歷日記〔徐珊〕（35-4）

浙東之春（35-4） *寫真

浙省公路環遊記〔徐美烈〕（35-5、6）

春光燦爛〔徐美烈〕（35-5）

浙省公路之環遊〔徐美烈〕（35-5）

看山小記〔劉宣閣〕（35-6）

孤嶼遊記〔劉復中〕（35-9）

徽江山水（36-1） *寫真

旅行之我〔陳冷〕（36-1）

寧穿公路沿途名勝〔周雲亭〕（36-5） *寫真

台宕之遊〔江眉仲〕（36-10）

甯紹台十日旅行記〔訥庵〕（37-1）

天台雁蕩記遊〔何清隱〕（37-5、6）

靈岩〔何清隱〕（37-6） *寫真

浙東春遊記〔戴欲仁〕（37-6）

浙東紀行〔郭蘭馨〕（37-8）

山陰道上訪古續記〔陳萬里〕（37-9）

【鷹窠頂（海鹽）】

鷹窠頂記遊〔蔣維喬〕（30-2）

【温州】

温州風土記〔陳經〕（34-2）

永嘉攬勝〔柏林〕（36-12）

【嘉興】

南湖雜記——再會旅次之一〔王啓熙·趙志明〕（33-12）

閑話南湖烟雨樓〔石克士〕（34-1）

嘉興小游述〔邵潭秋〕（34-2）

嘉興拓碑記〔羅邕〕（36-12）

南湖小景〔蔣植之〕（37-1） *我的旅行生活片段

【海寧】

海寧觀潮記〔趙君豪〕（27秋）

海寧觀潮的三箇地段〔菊農〕（27秋）

江上潮聲〔豪〕（27秋）

海甯秋潮（杭屬勝景之一）〔莊鑄九〕（29-9）

八堡觀潮記〔蔣維喬〕（31-10）

浙江觀潮記〔唐玉虬〕（32-10）

【雁蕩山】

雁蕩遊記〔彭叔夜〕（30-6）

遊雁蕩漫記〔沈天白〕（31-11）

雁蕩寫生記〔龔劍華〕（32-2、3、5、6）

雁蕩與觀光業〔陳經〕（32-9）

雁蕩巡禮〔高事恆〕（32-11）

雁蕩質疑〔蔣叔南〕（32-12）

登上龍湫記〔蔣叔南〕（33-1）

顯勝門湖南潭散水巖視路記〔蔣叔南〕（34-3）

雁蕩遊記〔劉復中〕（34-5）

雁蕩山人旅行日記〔蔣叔南〕（34-8、9）



雁蕩山春遊團簡章・遊程時刻表 (36-4)

雁蕩風景〔徐君憲〕(36-5) *寫真

雁蕩紀遊〔陳謙夫〕(36-7)

【金華】

金華北山雙龍洞 (34-11) *寫真

蘭溪 (34-12) *寫真

金華蘭谿七里瀧遊覽團簡章・遊程表 (36-3)

雨霧濛濛遊北山〔李集之〕(36-4) *金華山

方岩紀遊〔蔣維喬〕(36-5)

北山紀遊〔蔣維喬〕(36-6)

浙贛路虛懷若谷 (36-7)

金蘭遊記〔繆鏞樓〕(36-7)

金華旅邸〔秦瘦鷗〕(37-1) *我的旅行生活片段

【杭州】

去年之游杭專車 (27春)

五百年前之西湖游記——馬可波羅之紀述 (十五年十二月八日時事新報青光)〔謹〕(27春)

西湖風景 (27春)

杭遊碎錦 (一)——蘇堤馳馬〔康達〕(27春)

杭遊碎錦 (二)——湖濱之月〔康達〕(27春)

杭州遊程 (27春)

西湖 (27秋、冬)

湖上名勝撮景 (28春)

杭遊專車往返記〔趙君豪〕(28春)

杭遊須知 (28特)

西湖名勝舉要〔吳靈園〕(28特)

通杭專車旨趣〔記者〕(28特)

杭州西溪小和山之麓 (28夏)

六月中的杭州〔火雪明〕(28夏)

西湖公園牌樓 (28夏)

西湖之東〔天行艸堂主人〕(28秋) *詩

西湖藝術化〔劉既漂〕(29-4)

遊杭專車往返誌 (29-5)

西湖博覽會全圖 (29-7)

西湖博覽會八館二所概況〔潘起鳳〕(29-7)

西湖博覽會中之中國旅行社〔記者〕(29-7)

(西湖博覽會) 衛生館參觀記〔健民〕(29-7)

(西湖博覽會) 革命紀念館記遊〔張寄涯〕(29-7)

(西湖博覽會) 記教育館〔思訓〕(29-7)

(西湖博覽會) 藝術館之遊〔樊迪民〕(29-7)

(西湖博覽會) 工業館記遊〔慧俠〕(29-7)

(西湖博覽會) 參觀農業館記〔楚原〕(29-7)

(西湖博覽會) 參攷陳列所記〔鳳子〕(29-7)

(西湖博覽會) 絲綢館一瞥〔心莊〕(29-7)

(西湖博覽會) 特別陳列所概況〔錢壯飛〕(29-7)

(西湖博覽會) 博物館參觀記〔周吉〕(29-7)

夜遊博覽會記〔莊鑄九〕(29-7)

湖上的三日〔周瘦鵑〕(29-7)

追記西湖遊覽團〔記者〕(30-2)

- 西湖遊程〔趙君豪〕(30-3)
今歲之游杭專車(30-4)
記杭州西泠飯店〔琅玕〕(30-9)
湖上雜記〔方志超〕(31-4)
本歲之游杭專車(31-4)
棲霞五洞記〔方志超〕(31-7)
西湖發游雜詠〔俞寶澄〕(32-4) * 詩
靈隱聽泉記〔徐睡麟〕(32-4)
西湖快游錄〔蕭梅性〕(32-4)
杭州之旅館(32-5) * 旅邸情報
湖上燈火記〔唐玉虬〕(32-9)
登玉皇山記〔方志超〕(32-11) * 片段游程
杭游雜感〔宋春舫〕(33-2)
春花秋月說西谿〔唐玉虬〕(33-5)
杭州靈隱瀑布〔蔡仁抱〕(33-7) * 寫真
游倫安玲瓏山紀勝〔朱劍芝〕(33-10)
旅行杭州〔趙君豪〕(33-4)
西湖晚景〔張印泉〕(34-6) * 寫真
雷峯塔倒西湖水乾(34-10)
杭州灣頭之名勝風景〔馮柳堂〕(36-1)
西湖之春(36-4) * 寫真
紫陽山的遊痕〔汪倜然〕(37-1) * 我的旅行生活片段
武林紀遊〔秋雁〕(37-4)
【四明山】
雪竇遊記——附溪口及大橋遊記〔李峻璜〕(30-8)
雪竇之秋〔程志政〕(31-11)
雪竇紀遊〔蔣維喬〕(32-4)
雪竇記遊〔鄭鴻彥〕(33-4)
雪竇紀遊〔怡生〕(35-9)
雪竇三隱潭紀遊〔際安〕(36-7)
四明山游程〔張愷〕(37-3)
雪竇紀游〔劉復中〕(37-6)
【舟山】
定海履痕〔葉在茲〕(37-9)
【諸暨】
遊諸暨五洩記〔方志超〕(31-11)
諸暨採風記〔唐玉虬〕(33-6)
諸暨苧蘿山及五洩紀遊〔蔣維喬〕(34-10)
【紹興】
越溪記游〔珍重閣〕(28夏)
首夏清和（紹興東湖）〔郎靜山〕(33-6) * 寫真
【嵊泗列島】
嵊泗列島之行〔邵飄飄〕(37-3)
【穿山】
穿山景色(35-4) * 寫真
【剡溪】
剡溪南明九峯丹厓速寫〔沈軼劉〕(36-2)
【苕溪（湖州吳興）】



茗溪春泛記〔趙叔雍〕(30-5)

【超山〔臨平〕】

超山觀梅記〔邵力更〕(30-3)

試組超山探梅團記〔記者〕(30-4)

超山探梅紀勝〔李恩煦〕(31-2)

超山探梅記〔蔣維喬〕(31-5)

超山觀宋梅〔金天翮〕(31-5) *詩

超山探梅〔唐玉虬〕(32-1)

臨平超山訪唐宋梅記〔邵祖平〕(34-1)

超山探梅記〔蔣錫瓚〕(36-2)

超山探梅記〔劉復中〕(37-4)

【天台山】

天臺記遊〔橋本關雪原著、秦儷范譯〕(32-5)

天台山紀遊〔吳琢之〕(32-10)

遊天台山記〔徐瑋〕(33-8~10)

寧台七日遊記〔繆鏞樓〕(35-7)

身入天台〔張慈蔭〕(37-7) *寫真

天台遊記〔胡行之〕(37-9)

【天童山】

天童山之松〔舒新城〕(30-7)

育王寺前〔舒新城〕(30-7)

天童育王兩山紀游〔蔣維喬〕(30-7)

記天童育王之遊〔吳天放〕(33-1)

【天目山】

天目蜜月旅行記〔罄光華〕(32-5)

天目山遊記〔邵潭秋〕(33-6)

天目山遊記〔錢文選〕(34-11)

天目山風景〔王鈞賢〕(35-8) *寫真

秋日登天目記〔葉作舟〕(35-12)

天目山中〔劉宜閣〕(36-11)

【寧波】

寧波印象〔鄭鍾琴〕(32-8)

【馬蹟山〔浙江武進〕】

馬蹟山紀游〔蔣維喬〕(34-1) *太湖七十二峯之一

【莫干山】

莫干山小紀——消夏名區之一〔趙君豪〕(27夏)

山居筭記〔汪英賓〕(27冬)

重遊莫干山記〔陳慧一〕(28秋)

莫干山遊程——消夏名區之一〔秦理齋〕(30-7)

莫干山消夏記〔趙君豪〕(31-7)

莫干山〔趙君豪〕(32-7) *寫真

莫干山紀游附湖上紀游〔胡石予〕(32-10)

劉烈卿先生莫干山近詩(32-11)

莫干山雜詩〔劉烈卿〕(33-5)

莫干山碧塢村瀑布〔丁惠康〕(33-7) *寫真

莫干山的薄暮〔孫恩霖〕(37-1) *我的旅行生活片段

【武康】

上栢紀遊——武康繼武陵源〔克士〕(32-9) *片段游程

【富春江】

山明水媚之七里瀧（28特）
富春江之春（28特）
富春江上〔周瘦鵬〕（28特）
嚴子陵釣臺記〔蔣維喬〕（29-3）
富春江之春〔舒新城〕（30-3）
富春江旅行團記〔記者〕（30-5）
富春江游記〔陸維屏〕（31-6）

【普陀】

普陀海濱（27夏）
普陀遊記——消夏名區之一〔戴欲仁〕（27夏）
普陀遊記〔劉荔生〕（28夏）
普陀紀游〔江森裕〕（31-11）
普陀禮遊概述〔邵潭秋〕（33-9）
普陀山瑣記〔陳丕顯〕（35-5）
佛國初旅〔孔另境〕（35-7）
普陀詩記〔繆鏞樓〕（36-10）

【平湖】

平蘆點滴〔祖雨人〕（32-7）

【茅山】

茅山春游回憶〔張春帆〕（28特）

【爛柯山（衢縣）】

爛柯山紀勝〔許穀人〕（37-5）

【臨溪（德清）】

臨溪勝覽（30-7）

【蠡山（德清）】

蠡山之遊〔莫存之〕（29-7）

【陝西】

秦中風景（潼關高據・雁塔晨鐘・周陵漢槐・咸陽古渡）〔閻重樓〕（32-12） *寫真
西北風光（交道鎮之農村及穴居狀況・壺口瀑布之側視・中部黃帝廟之老柏據誌載漢武帝征朔方還曾挂冠於此・盧施南門外之少陵川即杜甫祠・韓城太史公廟・華清池・三原城外之三眼橋・轎窩渡過洛水）（33-3） *寫真
秦游日錄〔傅增湘〕（33-5）
西北考督記〔卞文鑑〕（33-5）
陝南雜錄〔凌鴻勛〕（33-6）
南五臺遊記〔吳次舟〕（34-10）
陝行速寫〔閻重樓〕（36-9）
從西安到漢中〔李文一〕（36-9）

【華山】

華嶽紀遊〔凌鴻勛〕（31-12）
華嶽仙人掌・從華嶽東峯下仰望西峯・華嶽北峯・華嶽蒼龍嶺（31-12）
遊華嶽記〔曾子耀〕（32-9）
西嶽華山紀遊〔蔣維喬〕（32-11）
仙人掌痕錄〔徐雲石〕（33-1）
華嶽寫生〔夏劍丞〕（33-1） *繪、六幅
西嶽華山遊程（34-12） *12月號は99頁以下を闕く
登太華記〔傅增湘〕（35-2）
華嶽記遊〔汪叔梅〕（36-9）



華山寫景〔閻重樓〕(36-9) *寫真

【函谷關】

函谷關攷(33-7)

【昭陵】

昭陵浮雕〔李長之〕(36-7) *寫真

【西安】

西京春色(32-4)

長安遊記〔蕭梅性〕(32-7)

長安及終南山紀遊〔蔣維喬〕(33-4)

西蘭旅行隨紀〔錢菊林〕(36-4) *西安、蘭州

龍駒寨游記〔蕭梅性〕(36-8) *西安—漢口

【太白山】

太白探荒記〔徐雲石〕(32-11)

太白山紀遊歌〔于右任〕(34-10)

【臺灣】

臺灣半月記〔江庸〕(30-8)

【天津】

天津之旅館(32-8) *旅邸情報

【東北】

和龍聞見錄〔天涯遊子〕(28夏)

高麗墓辨真記〔周貴德〕(28冬)

東北履痕記〔趙君豪〕(29-7、9~12、30-2、5、6)

吉長綫旅行一得〔郭子嘉〕(30-10)

洮南紀畧〔伍榮先〕(30-11)

吉敦鐵路游記〔許溯伊〕(31-5)

扎蘭屯之音樂亭・扎蘭屯之湖畔、扎蘭屯之噴泉(31-9)

甯古塔冒險觀瀑記〔許同萊〕(31-10)

河心飲馬・鏡泊湖瀑布全景・鏡泊湖瀑頂奇觀・東京城外牧羊圖(31-10)

襪襪歸鶴愴遼東〔趙叔雍〕(31-11)

穆稜煤礦參觀記〔許同萊〕(32-1) *32-2補

游巴林山記〔許同萃〕(33-2)

夢裏關山〔武育幹〕(36-1) *東三省的白山黑水

東三省的旅行〔潘仰堯〕(37-1) *我的旅行生活片段

【吉林】

吉林乎——東北的錦繡河山之一〔哲鑫〕(32-9)

【綏遠】

二十年來之苦旅行〔猶人〕(30-9)

【千山(奉天遼陽)】

千山遊記〔程寄春〕(29-10)

千山探勝紀〔馮朱棣〕(30-7)

【大連】

大連採風錄〔楊渭北〕(30-12)

【哈爾濱】

從上海到哈爾濱〔屠哲隱〕(28春)

哈爾濱一瞥〔无用〕(29-2)

最近的哈爾濱〔Lilian Grosvenor Coville 原著、程枕月〕（33-5）

【奉天】

陪都名勝小紀（27秋）

奉天北陵（28夏）

【遼寧】

游遼甯耶馬溪紀畧〔馮朱棣〕（30-3）

葫蘆島築港開工典禮記〔左峴雲〕（30-8）

【內蒙古】

包頭（27冬）

青塚——漢明妃王昭君之墓〔方山〕（35-5）

到百靈廟去〔黃聿霖〕（35-6）

包頭風物〔趙叔雍〕（35-10）

【福建】

閩江攬勝〔王啓熙〕（31-4）

榕城舊夢〔王啓熙〕（31-8）

記青芝百洞山〔王啓熙〕（32-1）

戚公祠懷古〔王啓熙〕（32-7）

從洪橋到洪塘——閩江攬勝其二〔王啓熙〕（33-3）

閩行雜記〔徐快公〕（35-10）

【廈門】

閩厦歸來〔鄭希濤〕（30-9）

廈門遊記〔王啓熙〕（32-9）

廈門記遊〔徐安之〕（33-1）

鷺江名勝寫生紀遊錄〔袁松年〕（37-7）

【九日山（南安金雞）】

九日山遊記〔鄭廷雨〕（31-2）

【鼓山】

鼓山遊記〔王啓熙〕（31-7）

石鼓游屐——閩城覽勝之一〔趙志明〕（33-4）

鼓嶺紀遊〔陸頃波〕（36-6）

鼓嶺風光〔陸頃波〕（36-6） *寫真

【百洞山（青芝山）】

百洞山紀遊〔江秋惇〕（37-4）

【武夷山】

記武夷〔謝列九〕（36-12）

【福州】

別把端陽話福州——故鄉雜寫之一〔王啓熙〕（33-6）

榕城剪影〔黃厚生〕（35-8）

【龍岩】

龍岩視察記〔黃強〕（33-8）

【北京】

萬壽山（27夏）

北平紫禁城角（28夏）

北平鐘樓與鼓樓・北平天壇之皇穹宇・自城闕望萬里長城・昆明湖島中遠望（29-1）

清宮遊記〔吳少成〕（29-2、4）



一個旅行的片段過程〔警寶〕(30-2~6)

盤山遊記〔石步山人〕(30-5)

西北遊記〔褚民誼〕(30-5)

永寧紀游〔嘯園〕(30-6)

南口青龍橋之行〔王晶〕(30-11)

妙峰進香記〔汪定〕(30-12)

故都遊踪〔孫肖泉〕(31-1)

北平導游〔孫肖泉〕(31-5、6)

北平廟宇記〔李芳〕(31-5、8)

田盤記遊〔陸萬里〕(31-6)

馬鞍山登高記〔丁而漢〕(31-6)

北平七日遊程〔中國旅行社北平分社〕(31-9)

故都履痕〔張滌俗〕(32-2)

北平之旅館(32-4) *旅邸情報

北平黃寺石塔上之雕刻(中國之石刻二)(32-5)

長城南口明陵之遊〔陳孔步〕(32-9)

故都心影〔尤榮伯〕(32-10)

北平經濟游〔汪季文〕(32-11、12)

遊北平湯山溫泉記〔張士清〕(33-6)

北夢錄〔瞿銖庵〕(34-6~12、35-1、3~11)

故都〔許穀人〕(34-9) *寫真

北平遊程(34-9)

北游鴻爪(34-11) *寫真

故都紀遊詩〔莊栩庵〕(34-11)

五塔寺訪古記〔許穀人〕(35-1)

初秋游山記〔韓仲文〕(35-11) *西山

魔窟探幽錄〔江季文〕(35-11)

故都之冬〔曼印〕(35-12) *寫真

燕北懷舊錄〔唐玉虬〕(36-1)

雲水洞勝景〔胡士銓〕(36-12) *寫真

清水澗紀游〔瞿硎〕(37-6)

【頤和園】

故都北海·故都頤和園〔許穀人〕(34-9) *寫真

頤和園初春(36-3) *寫真

頤和園之春〔程肇民〕(37-5) *寫真

【圓明園】

北平圓明園殘留之刻石(中國之石刻三)(32-5)

【西山】

北平西山遊記〔褚民誼〕(29-12、30-2、3)

雪後遊西山〔小芳〕(31-3)

西山道暑追憶〔唐玉虬〕(32-8)

聽泉潭柘觀松戒壇記〔黃凱露〕(32-11)

西山古刹(36-4) *寫真

岫雲夕話(北平西山潭柘寺游記)〔銖庵〕(37-5)

【長城】

萬里長城(27夏)

八達嶺上看長城〔韓鴻藻〕(33-12)

八達嶺上掘百合〔傅任敢〕(37-9)

【張家口】

張家口遊記〔方山〕（33-11）

今日之張家口〔吳人〕（36-12）

【房山】

房山縣名勝紀程〔胡士銓〕（36-12）

房山臥遊〔劉飛〕（37-7） *寫真

【北海】

北海泛舟記——給戀人的一封信〔秦豐川〕（28秋）

東湖西湖南湖和北海〔程志政〕（36-1）

【香港】

香港印象記〔梁得所〕（29-4）

香港之旅館（32-9） *旅邸情報

香港風景〔鄭炳亮、周映霞〕（34-3） *寫真

香港遊程（34-10）

天南游踪〔柏寒〕（35-3）

香島拾影〔邵雨湘〕（36-8） *寫真

【國內各地】

北游心眼〔趙高梧〕（28特）

漢口之行——滬寧津浦隴海漢平四路之近況〔伍榮先〕（28冬）

滬鄭往返誌〔張夢民〕（29-4）

夏假漫遊記〔列御風〕（29-9）

南歸足跡〔吳紹璘〕（30-4） *新疆迪化—西比利亞—東三省—上海

隴海路上一點常識〔武道中〕（30-11、12）

平生語盡江湖味〔趙叔雍〕（31-1~3）

甯杭公路上之勝景〔程寄春〕（31-2）

十年來之南北遊踪〔陳斟玄〕（31-4）

從軍記〔晏生〕（31-5、6） *漢口—漯河—鄭州—徐州—南京—江西

南行省墓記〔楊令弗〕（31-7）

哀漢江巡日記〔趙梅卿〕（31-7）

五嶽紀勝〔澹然〕（31-8）

初夏旅行記〔滄海客〕（31-8）

舊都四日記〔汪季文〕（31-8）

七月汗漫之游〔梁張愛漁〕（31-9、10）

雨行雜記〔鄭衷澄〕（31-12）

南航散紀〔趙梅卿〕（32-2、3）

春車連陌騁新衢——京杭國道游觀記〔趙君豪〕（32-7、8）

津浦綫漫遊笥記〔高鳳紀〕（32-8）

滬杭公路試車記〔汪英賓〕（32-12）

南行記〔區作霖〕（32-12）

杭江鐵路旅行日記〔陳湘濤〕（33-4）

中國五大避暑區〔李葆溶〕（33-7） *莫干山、青島、廬山牯嶺、普陀、北戴河

鄂湘粵交通考察記〔李景陶·胡時淵〕（33-8）

紅葉導遊〔徐京〕（33-11）

秋游記〔葉秋原〕（34-1）

杭徽公路旅行記〔唐玉虬〕（34-1）

從上海到雲南府〔張韻芬女士〕（34-1）



杭徽道中〔高梧軒〕(34-3)
杭徽道中〔金輅〕(34-9) *寫真
杭江路走馬看花記〔秦瘦鷗〕(34-3)
隴海路視察記〔夏堅白〕(34-3~6)
西遊小記〔張恨水〕(34-9~12、35-1~7)
北游紀事詩〔王瑞蘭〕(34-9)
楊秀瓊北遊印象記〔蔣槐青〕(34-9)
滬杭公路馳車記〔蔣學楨〕(34-10)
江浙漫遊記〔霍仁生〕(34-10)
南天紀游〔茅於恭〕(34-11、12)
南服遊踪〔吳中一〕(35-1)
江浙紀遊絕句〔俞誠之〕(35-4) *詩
消夏勝地誌〔黃影朶〕(35-8) *莫干山、普陀、芝罘、青島、牯嶺、威海衛
華中華北環游記〔程志政〕(35-8)
平綏沿線導游志畧〔趙叔雍〕(35-8~10)
漫遊小記〔林散之〕(35-11、12、36-2、3、7)
南游十記〔趙君豪〕(36-4、5)
粵桂紀遊〔邵雨湘〕(36-9~11)
粵漢鐵路(36-10) *寫真
蘇皖腳踏車旅行誌〔顧曾允〕(37-1)
冬日的平綏〔茅於恭〕(37-1)
粵漢路旅行記〔李啓愚〕(37-2)
西遊記〔胡懷天〕(37-2)
西巡清話〔趙叔雍〕(37-3) *洛陽—潼關—太原
漫遊日錄〔袁敦梓〕(37-5)
北遊旅程〔趙君豪〕(37-6)
北游旅程〔趙君豪〕(37-6) *寫真
由西安沿公路至重慶〔鄭健峯譯〕(37-6) *譯字林西報“Sian-Chunking by Highway”
京滬公路週覽團隨征記〔胡士銓〕(37-6~8)
京滬綫名勝(37-7)
京滬綫名勝(37-7) *寫真
滬杭甬綫名勝(37-7)
滬杭甬綫名勝(37-7) *寫真
蘇嘉綫名勝(37-7)
津浦綫名勝(37-7)
津浦綫名勝(37-7) *寫真
膠濟綫名勝(37-7)
膠濟綫名勝(37-7) *寫真
隴海綫名勝(37-7)
隴海綫名勝(37-7) *寫真
北甯綫名勝(37-7)
北甯綫名勝(37-7) *寫真
平綏綫名勝(37-7)
平綏綫名勝(37-7) *寫真
平漢綫名勝(37-7)
平漢綫名勝(37-7) *寫真
正太綫名勝(37-7)
市太綫名勝(37-7) *寫真

粵漢綫名勝（37-7）

粵漢綫名勝（37-7） * 寫真

廣九綫名勝（37-7）

廣九綫名勝（37-7） * 寫真

南潯綫名勝（37-7）

南潯綫名勝（37-7） * 寫真

浙贛綫名勝（37-7）

浙贛綫名勝（37-7） * 寫真

湘桂之遊〔邵祖平〕（37-8）

京滇途中〔褚民誼〕（37-9） * 寫真

京滇週覽記——褚民誼先生講述〔趙君豪〕（37-9） * 旅行講座

【黄河】

黄河沿岸漫遊錄〔高鳳紀〕（31-10）

【長江】

西行瑣語〔劉宣閣〕（30-8）

南京漢口間特別快輪建議〔張延祥〕（34-1）

【アフリカ】

非洲遊記〔美國 Martin Johnson 著、周新譯〕（31-8、9、11）

南非攬勝記〔Melville Chater 原著、程志政譯〕（32-1~3）

獅人〔W. S. Chadwick 原著、周愛華譯〕（32-12） : The Lion-Man, Indoor(Outdoor?) Life 1932-10、中非洲の Black Magic 的故事

阿比西尼亞巡禮〔L. B. Roberts 原著、程志政譯〕（35-11） * アビシニア

【エジプト】

開羅遊覽之一封書〔陳光甫〕（29-7）

【アメリカ】

黄石公園（27夏）

紀黄石公園〔莊鑄九〕（27夏）

華府印象〔葉秋原〕（28特）

芝城遊觀錄〔張少微〕（28冬）

世界第五隧道——美國大北鐵路公司之新建設〔秦理齋〕（29-3）

夏塗掇拾〔張少微〕（29-4）

秋節紀遊〔張少微〕（29-8）

霍萊塢談屑〔韋燾〕（29-9）

大北之特別快車〔秦理齋〕（29-9）

別矣奧斯魁路撤〔張少微〕（29-12） * Oskaloosa

霍萊塢之遊〔孟壽椿〕（30-2~6）

美國之鐵路航空聯運線〔燮源〕（30-2）

中央黨部同志渡美記（30-5）

費爾德自然史博物館〔張少微〕（30-6） * Field Museum of Natural History, Chicago

遠東赴美客火車特價（30-6） * 廣告

紐約心影〔法國・保羅穆杭蘭原著、孫恩霖譯〕（30-9）

車中雜記〔張少微〕（30-12）

大來公司之新輪〔明水〕（31-3）

大北鐵路與冰川公園〔秦理齋〕（31-4） * Glacier National Park（格萊西爾公園）

美京華盛頓新博物院、美京華盛頓蔭道、美京華盛頓白宮、美京華盛頓國會（31-4）

樂士安極立斯導遊〔沛甘〕（31-5） * ロサンゼルス



- 世界馳名之美國尼亞加拉瀑布、太平洋之落日、美國加省之金門腕灣、美國佛羅里達省之櫻岸 (31-7)
- 美國宴會及習尚談 (American Dinners and American Manners) [伍廷芳原著、許憲基譯] (31-8) *1914年
Harper's Magazine
- 美都追撫 [美國地理學會會長 Dr. Gilbert Grosvenor 原著、秦理齋譯] (32-4~6)
- 冰川公園風景・西雅圖附近普介桑風景・華盛頓 (萬籟琪) 地方之蘋果園 (32-6)
- 芝加哥博覽會述概 [程志政] (33-6)
- 飛 [Gilbert Grosvenor 作、凌岱譯] (33-7、10)
- 記胡佛總統輪 [黃廷芳] (33-11)
- 怪島歷險記 [醫學博士艾佩蘭女士著、樹勛・征鴻合譯] (34-6) *赫德拉斯 (Cape Hatteras、哈特勒斯角、ハタラス
岬)
- 美國北岸鐵道之新設備 [鈍訥] (34-8)
- 尼加拉瀑布 (34-10) *寫真
- 尼加拉瀑布觀光記 [南山尼爾霍桑原著、仲良譯] (34-10) *ナサニエル・ホーソン
- 遊美瑣紀 [黃廈千] (35-2)
- 華盛頓半日記 [本多市郎原著、亭亭譯] (35-3)
- 紐約一瞥 [張少微] (35-4)
- 摩天樓之壽命僅有五十年 [程志政] (35-5) *趣味
- 好萊塢之新紀錄 [程志政] (35-6) *趣味
- 紐約週末遊覽旅客 [沛甘] (35-10)
- 山頂之美總統巨像、美飛船中國飛剪號之雄姿 [琅玕] (36-1) *寫真
- 記蓋氏養獅園 [黃廈千] (36-4) *Gay's Lion Farm、ロサンゼルス
- 邁進中之美國鐵路 [程志政] (37-1)
- 美洲大陸橫斷記 [本多市郎原著、亭亭譯] (37-1、2)

【アンドラ】

- 安道爾——歐洲封建之遺蹟 [吳獻書・繆廷輔譯] (34-3)

【イギリス】

- 安文河畔 [Washington Irving 原著・陳心純譯] (29-9) *Avon
- 英遊漫談 [戈公震] (30-2)
- 英國古旅舍訪問記 [HAROLD Donaldson Eberlein 原著、程志政譯] (31-7)
- 英京采風錄 [H. D. Eberlein 原著、程志政譯] (32-9)
- 倫敦的輪廓畫 [本多市郎原著、亭亭譯] (35-1)
- 倫敦之霧 [志政] (35-4) *趣味
- 倫敦重遊記 [召予] (35-12)
- 英倫春訊 [M. O. Williams 原著、程志政譯] (36-3)
- 波光嵐翠——英國額水湖 [茅於恭] (36-9) *寫真
- 英國額水湖遊記 [茅於恭] (36-9) *Ullswater
- 英島踏車記 [鄭天杰] (37-2)
- 莎士比亞之故鄉 [華盛頓歐文原著、蔣學楨譯] (37-4)
- 突飛猛進的倫敦 [FREDERICK SIMPICH 原著、王昌社譯] (37-6~8)

【イタリア】

- 古羅馬旅行記 [黃震遐] (28春)
- 羅馬 Chiesa di S. Pietre 教堂內景 (28春)
- 羅馬 Chiesa di S. Paolo fuori le mura 教堂內景 (28春)
- 記羅馬哇的光之遊 (Vatican) [劉既漂] (29-4)
- 遊蒂佳羅宮 (Li Palazzo Ducale) [劉既漂] (29-4) *萬毅思 (Venise)

中国旅行雑誌（井波陵一編）



意大利紀行〔鶴見祐輔原著、陳心純譯〕（33-11、12）

意大利法西斯蒂體育場・意大利羅梅議政場（34-5） *寫真

羅馬給我們的印象〔扛日〕（34-5）

彭貝城〔履坦〕（35-12） *ボンベイ

今日之意大利〔呂迺瑛〕（36-11）

意大利籌備空前偉大之博覽會（37-1）

【イラン】

波斯古都出土記〔Charles Breasted 原著、秦理齋譯〕（34-1、2）

波斯行脚記〔織田寅之助著、陳心純譯〕（34-2、3）

【インド】

印度導遊（譯）〔程小星〕（29-6、9）

印度導遊〔程志政〕（32-7） *片段游程

喜馬拉雅山遊記〔顧昂若〕（33-7）

大戈爾安樂居拜訪記〔Alan Campbell 作、靄華譯〕（33-12）

加爾各達英女皇維多利亞紀念堂〔朱鶴翔〕（35-1） *寫真

【インドネシア】

爪哇導遊〔枕月〕（32-5） *片段游程

爪哇魔法の一瞥〔美國 Hendrick Deleeuw、周鈍若譯〕（32-10）

南遊漫記〔錢冲甫〕（33-5、8、9、12）

【ヴェトナム】

越南游蹤〔丁微塵〕（31-3）

越南民俗拾零〔巨淵〕（34-2）

法屬印支汽車探勝記〔Maynard Owen Williams 著、楊安伯譯〕（36-1、2） *2の「牧童跨牛背而歸增益香江之甯靜」
寫真を切り抜く

康海名勝〔吳士奇〕（36-3） *寫真

【オーストラリア】

澳洲人的游息〔于絮〕（33-2） *闕

【オランダ】

荷蘭消夏記〔George Alden Sanford 原著・秦理齋譯〕（29-10）

荷蘭景象（35-12） *寫真

【カナダ】

奇峯歷險記〔葉勁風〕（30-9） *羅根、Logon

加拿大旅行事業〔沛甘〕（30-12）

人間樂園哲瑟佩〔高特雷原著、凌雲譯〕（31-3）

上加拿大採風錄〔Frederick Simpich 原著、秦理齋譯〕（32-11、12）

【キューバ】

光怪陸離之古巴〔伊立克加腦凡著、樹勛・征鴻合譯〕（34-2）

【シンガポール】

柔佛新山遊記〔鄭國英〕（30-8） *Johere Bahru



海峽殖民地雜誌〔孔伯毅〕(31-2)
星加坡導游〔程志政〕(32-5) * 片段游程

【スイス】

瑞士名勝 (27秋)
亞爾伯山 (Les Alpes francaises) 風景〔褚民誼〕(29-8) * 聖格里多夫湖 (Saint-Christophe)、冀尚納山谷 (Vallée de la Guisane)、叢山 (Le Grand Dru)、來孟湖中之象牙角 (Pointe d' Yvore sur le lac Léman)
亞爾伯山風景 (29-12) * 意野兒河岸 (Bprds de l'Isère à Grenoble)、聖格里多夫湖 (Le Plan du Lae, route de Saint-Christophe)、安納亞湖 (Lac d'Anneey)、夏朶該拉 (Chateau-Queyras)
日內瓦採風記〔秦理齋譯〕(30-4)
萊蒙湖一週記〔阮毅成〕(30-5) * Lac Lèmaon
瑞士亞爾帕山 Oetzaler Alpen 之雪景・瑞士安古丁 Engodin 滿山之奇蹟 (34-2) * 寫真
瑞士一瞥〔鶴見祐輔原著、陳心純譯〕(35-1)
瑞士記遊〔卜僉之〕(35-11)
記瑞士黛瑚司山谷〔丁惠康〕(36-1) * ダボス
達伏斯〔劍峯〕(36-5) * ダボス
日內瓦一瞥〔章淵若〕(37-1) * 我的旅行生活片段
瑞西之雪、達瑚斯、山居小景 (37-1) * 寫真
記瑞士琉森湖〔馮朱棣〕(37-3) * Luzern

【スペイン】

瑪德利戶外生活記〔H. C. Adams 原著、孫恩霖譯〕(31-12)
山寺巡禮〔John Long 原著、秦理齋譯〕(33-8) * 巴塞洛那 Barcelona
西班牙一瞥〔和田三造著、陳心純譯〕(34-12)
動亂中之西班牙〔呂迺瑛〕(36-12)

【タイ】

暹羅雜記〔孔伯毅〕(30-9)
暹羅遊記〔周霄鶴〕(35-3)

【太平洋諸島】

南洋速寫〔川端龍子原著、陳心純譯〕(35-5)
火山島紀行〔美國 Thomas A. Jaggar 原作、顧肯夫譯〕(36-5) * 尼烏孚島 (Niuafooo)、東加羣島 (Tonga Is.) 中的一個

【チリ】

開普好恩航船記〔A. J. Villiers 原著、沛甘譯〕(31-6、7) * CAPE HORN、冒頭 2 頁、途中 2 頁闕 (日文研より補う)

【朝鮮】

朝鮮巡禮記〔Mabel Craft Deering 著、獻書・廷輔譯〕(34-4)
海金剛〔林訥齋〕(36-9) * 寫真
朝鮮金剛山紀行〔林訥齋〕(36-9)
朝鮮風景〔北尾鐔之助作、陳心純譯〕(37-4、5)

【ドイツ】

德國萊城博覽會啓事 (29-7)
佛雷堡探勝記〔烏佛別克女士原著、征鴻・曾衍同譯〕(33-11)
紀德國拿海姆溫泉〔Bad Nauheim 著、丁惠康譯〕(35-12)

中国旅行雑誌（井波陵一編）

德國人之旅行熱（國際遊覽團遊阿爾卑斯山、遊樂會舉行之小艇旅行）（36-10） * 寫真

【南極】

南極探險記〔Richard Evelyn Byrd 原著、程志政譯〕（31-1~4）

【日本】

本年之赴日觀櫻團（27春）

富士山（27夏）

從上海到東京的途中〔倪貽德〕（27冬）

觀光日本導言〔記者〕（28特）

日本之櫻花與溫泉〔盱衡生〕（28春）

東京藝術生活〔倪貽德〕（28特）

日本日光中禪寺湖畔（28夏）

日本今秋之博覽會（京都・名古屋）〔華聲〕（28秋）

扶桑春色〔鮑振青〕（29-3）

述日本巨舶淺間丸〔祖雨人〕（29-12）

春遊時節之日本〔秦理齋〕（30-3）

東遊紀程〔黃天朋〕（30-3）

房州小駐記〔黃天鵬〕（30-4）

記日郵船秩父丸〔趙君豪〕（30-6）

參觀照國丸誌感〔燮源〕（30-7）

長崎與溫泉岳〔燮源〕（30-9）

日光山遊記〔陳澗玄〕（31-1）

扶桑一月記〔蔡莫懷珠〕（31-2）

扶桑暑話〔明水〕（31-7）

日本內海、日本木曾川、日本山中湖、日本木曾川上之犬山城（31-8）

東游鱗爪〔黃寄萍〕（31-8、11、12）

東遊感言〔黃小魯〕（31-8）

遊日雜碎〔張水淇〕（31-10）

日光遊記〔繆鍾秀〕（32-7）

日光遊記〔王沿津〕（34-3）

日光紀遊〔李桐光〕（34-11）

東鄰的路政與交通〔王之珍〕（34-12）

京都散步〔北尾鐔之助原著、陳心純譯〕（35-2）

寶塚紀遊〔王沿津〕（35-3） * 著者は下鴨北園町在住

京都風景線〔北尾鐔之助原著、陳心純譯〕（35-3、10）

島國之春〔王沿津〕（35-4）

扶桑春色〔王軼陶、竹森生〕（36-6） * 寫真

扶桑春游記〔劉怡厂〕（36-6、7）

東游撮景〔蔣學棟〕（36-11） * 寫真

東游紀程〔蔣學棟〕（36-11、37-1）

銀湖清晚、寒林踏雪〔蔣學棟〕（36-12） * 寫真

天橋立遊記〔王沿津〕（37-2）

東茗小品〔余大雄〕（37-5~8）

【紐西蘭】

新西蘭試車記〔秦理齋〕（30-12）



【ハンガリー】

匈京勝境〔馮朱棣〕(37-9)

【フィリピン】

菲律賓遊覽記〔吳承洛〕(30-4)

馬尼刺導游〔碧筠〕(32-5) * 片段導游

蘇魯羣島的土著婚姻〔前美國駐英屬北婆羅洲領事 George M. Henson 作、錢振海譯〕(34-8) * Solu Archipelago、スル

斐律賓嘉年華會記〔蔣維喬〕(35-2) * 民國六年舊作

北山寒瀑・椰林競渡 (35-4) * 寫真

北山寒游記〔柳亞子〕(35-4)

【フランス】

巴黎花絮 (Underworld of Paris by Harry J. Greenwall・崔其煒譯述) (28春、秋、29-4、10)

碧綠海岸 (Côte d'azur)〔褚民誼〕(29-1、2)

過爾斯島 (La Corse)〔褚民誼〕(29-3)

過爾斯島山景 (29-3)

襁孟地之風景 (29-3) * ノルマンディー

伯勒達尼省鄉村之狀況 (29-3) * Bretagne

巴黎之中國飯店〔浣南〕(29-4)

巴黎之市場〔崔其煒〕(29-5)

法國戰場旅行記 (譯)〔盛夢琴〕(29-5) * 海倫女士

羅納河流域 (La Vallée du Rhône) (29-5) * ロース河

潑羅文池 (29-6) * La Provence

粉墨巴黎〔浣南〕(29-8)

巴黎半月記〔鶴見祐輔著、陳心純譯〕(34-6)

巴黎的橫剖面〔堀口大學原著、陳心純譯〕(34-7)

法國之遊〔羅琛〕(34-8)

法國史前遺址探訪記〔裴文中〕(36-6) * 國外考古旅行記之一

初到巴黎的一夕〔阮毅成〕(37-1) * 我的旅行生活片段

【ベルギー】

比利時冬日的回憶〔周峻〕(36-1)

比國昂洞記遊〔馮朱棣〕(37-1) * 昂村 Han-sur-Lesse

【北歐】

北歐四國及漢堡荷比之旅〔本多市郎原著、亭亭譯〕(37-3)

芬蘭的風物〔呂迺暎〕(37-4)

【マレーシア】

馬來半島遊記〔春法〕(33-5)

檳榔嶼旅痕〔周斐子〕(35-8)

【南アメリカ】

述千里達 (TRINIDAD)〔李俊〕(29-11)

南美飛航記〔Frederick Simpich 原著、趙君豪〕(31-4、5)

南美飛航記〔孫恩霖〕(32-10~12) * 上の續き

【モンゴル】

大戈壁旅行記〔美國 Walter Granger 著、周鈍若譯〕（32-1）
塞外風光〔逸千〕（33-11） *寫真

【ロシア】

西伯利亞途中〔孟君平〕（28春）
由柏林來北平〔梅貽賢〕（28秋）
蘇俄新築之土西鐵路〔燮源〕（30-10）
鳥瞰下之西伯利亞〔秦燮源〕（31-1）
自故都至英京〔立達〕（31-5） *西伯利亞
象牙記〔Bassett Digby 原著、朱茉莉〕（31-6）
經過西伯利亞〔韓懋孫〕（31-8）
旅居蘇聯記〔吳潤〕（31-9）
莫斯科一瞥〔王逢壬〕（32-7） *片段游程
蘇俄見聞記〔張水淇〕（33-1、2、4）
梅蘭芳游俄記〔翟關亮〕（35-6）
列寧格勒與莫斯科〔楊安伯譯〕（35-11）
俄羅斯風物記〔昇曙夢、陳心純譯〕（36-7、8）

【世界各地】

瀛寰新游記〔朱成厚〕（28春～秋）
歐亞遠航中之佳話（轉載時報）〔小可〕（28夏）
西歐漫遊錄〔褚民誼〕（29-1～10） *32-9に「歐游追憶錄」出版の廣告、限定一千部
西行日記（從哈爾濱到巴黎）〔陳芳塵〕（29-6、7）
環球飛行記〔褚民誼譯〕（29-11） *齊伯林飛艇
歐游紀程——經西伯利、莫斯科、華沙、柏林、日內瓦〔陳萬里〕（30-7、8）
歐土導遊〔秦理齋〕（30-10、31-2）
西歐漫遊錄〔褚民誼〕（31-4）
歐洲日本招引遊客情況〔張水淇〕（31-4）
歐游述舊〔趙叔雍〕（31-5～7）
亞細亞學術考察團〔Robert de Peauplan 原著、周聞韶〕（31-6） *法國 L'Illustration 週刊
歐美旅行記〔凌石惠芳〕（31-10～12）
歐游拾雋〔Lois Leurenz 原著、朱茉莉譯〕（31-11）
南北蹄蹤〔A. F. Tschiffoly 原著、陳卓臣譯〕（31-12）
瀛寰交通新訊〔孫沛甘〕（32-1）
歐游漫話〔文洵〕（32-2～5）
獵人筆記〔美國 Mary Carmichael 著、朱茉莉譯〕（32-4、6、12）
自上海比京〔謝起鵬〕（32-5）
亞陸通車記〔美國 Maynard Owen Williams 原著、秦理齋譯〕（33-1～3）
歐游追憶錄（第二集）〔褚民誼〕（33-3、4、6、7、10）
世界聖地巡禮記〔木村日紀儲、陳公明譯〕（34-3～6）
旅歐日記〔唐慶詒・俞慶棠同記〕（34-4、5）
歐洲的兩個桃源〔銖庵〕（34-4）
從上海到馬賽〔歐陽愷麗〕（34-8）
十幼童放洋記〔倪錫英、向亮伯〕（34-11）
歐遊賞雪記〔繆召予〕（35-2）
海航記〔履坦〕（35-4） *上海～カイロ、意國郵船 Conte Verde
選舉襍記〔沈也厂〕（35-6～8）



歐亞濤痕〔丁惠康〕(35-6)

歐亞濤痕〔丁惠康〕(35-6) *寫真

溪〔王珏〕(35-6) *寫真

南洋巡遊記〔黃寄萍〕(35-7、8) *フィリピン、インドネシア

歐遊散記〔Sir Phillip Gibb 著、周新〕(35-9~12、36-1~3、5~8、10)

歐洲行脚〔褚民誼〕(35-11) *寫真

向着歐洲〔本多市朗原著、亭亭譯〕(35-11)

藍的地中海〔張若谷〕(36-1)

地中海秋巡記〔林葆格〕(36-1~3)

卓別麟世界漫遊記〔却利卓別麟著、汪倜然譯〕 *Charles Chaplin、(一) 英倫重遊 (36-1)、(二) 德奧小駐 (36-2)、
(三) 威尼斯與巴黎 (36-3)、(四) 法南見聞 (36-5)、(五) 漫遊見聞 (36-6)、(六) 熱帶巡遊 (36-8)、(七) 巴里幽異 (36-10)

萬里雲程瞬息間〔沙勝越國王妃、姚杞譯〕(36-7) *南洋婆羅洲英屬沙勝越、サラワク?、シンガポール→ロンドン

歐美旅行談片〔孫沛甘〕(36-9)

歐游偶見〔丁惠康〕(37-1) *我的旅行生活片段

揭開了夏季歐洲旅行的序幕〔孫仲長〕(37-7)

【未詳】

峭壁行雲 (27春)

堞樓喧暮 (27春)

三塔臨流 (27春)

冰河聽瀑 (27春)

龍華古塔 (27春)

鞠有黃華・秋月・秋雨・秋水・秋樹 (27秋)

歲朝清供・暗香浮動 (27冬)

寒林積雪 (27冬)

海角艤舟・江水夕陽 (28春)

春花灼灼・鵝潭春水 (28特)

空庭月色・漁罾暮靄・秋水揚帆・紅蓼花疎 (28秋)

秋曉・秋帆・秋江・秋潮 (28秋)

板橋畫本・風急天高・寒湖積雪・渡頭歸暮 (28冬)

垂楊〔舒新城〕(30-3)

白馬海濱〔趙澄〕(33-8)

甘浦特之暮〔趙澄〕(33-8)

臨岩山〔郎靜山〕(34-2)

蔣先生之故鄉〔蔣德敬〕(37-2)

【鐵路時刻表】

京漢綫 (27、28春)

京漢鐵路漢口玉帶門彰德府間行車時刻表 (28夏)

京滬滬杭甬鐵路客票價目表 (32-11)

京滬滬杭甬鐵路行車時刻表 (32-8~12、33-1~7)

京滬滬杭甬鐵路二三等遊覽來回票價目表 (33-11)

京滬杭甬鐵路簡明行車時刻表 (30-7~12、31、32-1、2)

京滬綫 (32-7)

京綏綫 (27、28春)

京奉綫 (27、28春)

京奉鐵路行車時刻表 (28夏)

滬杭綫行車時刻表（32-5）
滬杭甬綫（27、28春）
滬杭甬綫滬杭段（32-7）
滬杭甬綫行車時刻表（33-12）
滬杭甬鐵路行車時刻表（28夏、秋、29-5）
滬杭甬鐵路 S.H.N.R. 行車時刻表（29-6）
滬杭甬鐵路暫行時刻表（33-4）
滬寧綫（27、28春）
滬寧鐵路行車時刻表（28夏、秋、29-5）
滬寧鐵路 S.N.R. 行車時刻表（29-6）
杭江鐵路時刻表（33-12、34-4）
膠濟綫（27、28春）
膠濟鐵路行車時刻表（28夏、秋）
膠濟路幹綫・博山支綫（34-6）
膠濟路時刻簡表（32-1）
上海莫干山間聯運時刻及價目表（28夏、秋）
上海—北平間聯運時刻表（29-9）
徐州—鄭州間簡明時刻表（29-9）
津浦綫（27、28春）
津浦鐵路特別快車時刻表（29-5）
津浦鐵路浦口兗州間行車時刻表（28夏）
津浦路幹綫・兗州府至濟寧州支綫・臨城至棗莊支綫（34-6）
津浦路簡明時刻表（33-11）
正太綫（27、28春）
正太鐵路行車時刻票價表（33-8）
濟南—青島間簡明時刻表（29-9）
浙贛鐵路行車時刻表（36-3）
浙贛鐵路杭玉段行車時刻表・金蘭支綫（34-8）
浙江省杭江鐵路客票價目表（32-11、34-3）
浙江省杭江鐵路行車時刻表（31-12、32-4、6、11）
中華國有鐵路正太線行車時刻表（34-9）
中華國有鐵路聯運簡明時刻表（31-11、32-9、33-2）
中華國有鐵路聯運時刻表（28秋、29-2）
中東鐵路全綫行車時刻並里數表（中華民國二十年八月一日起訂定實行）（31-10）
天津至浦口（上下）行車（32-3）
東省鐵路行車時刻表（28夏、秋）
道清綫（27、28春）
南滿鐵路行車時刻表（28夏、秋）
平漢路時刻簡表（32-1）
平滬聯運特別快車行車時刻表（29-5、6）
平浦聯運通車行將改訂日期時刻（29-11）
平奉鐵路行車時刻表（28秋）
北平—漢口間簡明時刻表（29-9）
北平—遼寧（奉天）間行車時刻表（29-9）
聯運時刻表（27、28春）
隴海及汴洛綫（27、28春）
隴海鐵路行車時刻表（28夏、秋、31-12、33-10、34-8）
隴海路新訂時刻簡表（32-4、7）

【鐵路・國內】

- 貨物分等表 *行李運價、鑛 (37-4)、鑛、農 (37-5)、農、森 (37-6)、森 (37-8)
- 京漢鐵路消息 (27春)
- 京漢鐵路漢口大智門站至下列各站特別快車價目表 (28夏)
- 京滬滬杭甬鐵路頭二三等特快遊覽來回票價目表 (34-2)
- 京滬滬杭甬鐵路頭二三等普通遊覽來回票價目表 (34-2)
- 京滬滬杭甬兩路三等客票速算表 (37-8)
- 京滬滬杭甬鐵路聯運遊覽來回票價目表 (37-7)
- 京滬鐵路公里表 (34-12)
- 京滬路距離里數單程票價及來回票價表 (34-1、4、35-7、11、12、36-1)
- 京杭聯運客票價目表 (32-6)
- 京綏路消息 (27春)
- 京奉鐵路尋常客車價目表 (28春、夏)
- 滬杭甬綫客票價目表 (34-11)
- 滬杭甬鐵路各聯站與浙贛鐵路各聯站聯運普通客票價目表 (35-11)
- 滬杭甬鐵路公里表 (34-11)
- 滬杭甬鐵路消息 (27春)
- 滬杭甬鐵路尋常客車價目表 (27秋、冬、28春~秋)
- 滬杭甬鐵路特別快車票價目表 (27秋、冬、28春~秋)
- 滬杭甬路距離里數單程票價及來回票價表 (35-12、36-1)
- 滬杭甬路上海南站至各站距離里數單程票價及來回票價表 (34-3、5)
- 滬寧鐵路消息 (27春)
- 滬甯鐵路尋常客票價目表 (27秋、冬、28春~秋)
- 滬甯鐵路特別快車票價目表 (27秋、冬、28春~秋)
- 滬平聯運通車價目表 (34-1)
- 滬平聯運通車票價及里程表 (36-3)
- 膠濟鐵路尋常客車價目表 (27冬、28春~秋)
- 國內聯運規章摘要 (32-9)
- 國內聯運頭二等來回遊覽票 (32-2)
- 國內聯運頭二等來回遊覽票價目表 (32-5)
- 國內聯運票價表 *首都鐵路輪渡、平漢鐵路 (36-5)、平漢鐵路、粵漢鐵路、隴海鐵路、平綏鐵路、道清鐵路、正太鐵路 (36-6)、北甯鐵路、津浦鐵路、京滬鐵路、滬杭甬鐵路、膠濟鐵路 (36-7)、平漢鐵路、莫干山聯運普通客票價目、滬杭甬鐵路、江南鐵路、浙贛鐵路、膠濟鐵路、京滬鐵路 (36-8)、莫干山聯運普通客票價目、粵漢鐵路、平漢鐵路 (36-9)、平漢鐵路、隴海鐵路 (36-10)、隴海鐵路、平漢鐵路、正太鐵路、北甯鐵路、平綏鐵路 (36-11)、粵漢鐵路、津浦鐵路 (36-12)、津浦鐵路、膠濟鐵路 (37-1)、京滬鐵路、滬杭甬鐵路、江南鐵路、浙贛鐵路 (37-2)、特別快車附加費、團體票票價、牀位費、普通來回票價、周遊來回票價、國內周遊票、周遊票價表、江南鐵路 (37-3)
- 國民政府建築鐵路之計畫 (27春)
- 上海至下列各站特別快車票價表 (29-9)
- 上海北平間聯運價目表 (28秋)
- 津浦鐵路消息 (27春)
- 津浦鐵路浦口站至下列各站特別快車價目表 (28夏)
- 津浦路價公里目表 (32-7)
- 津浦路公里價目表 (32-8)
- 中華國有鐵路國內旅客聯絡運輸公里里程單程票價及來回遊覽票價表 (35-1~6、8~10、36-4)
- 中國旅行社經售下列各鐵路客票 (27冬、28夏、秋)
- 鐵路名稱號別 *平漢鐵路 (37-8)
- 東三省各鐵路消息 (27春)
- 南海鐵路行車時刻及公里表・快車客票價目表 (33-6)

南滿鐵路尋常客車價目表（28春～秋）
莫干山聯運客票價目表（33-9）
萬國臥車公司價目表（32-1、34-7）
平漢鐵路三等客票價速算表（36-2、3） *民國二十五年一月一日起實行
平漢路里數價目表（32-8）
平奉鐵路尋常客車價目表（28秋）
北平（北京）杭州聯運特別快車票價表（29-2）
游覽來回票價目表（34-10） *杭州—南京
聯運特別快車票價表說明（28秋）
聯運旅客注意（36-4）
隴海鐵路尋常客車價目表（28夏、秋）

【鐵路・海外】

BASING FARE FROM SAN FRANCISCO TO POINTS（27夏）

【公路】

江蘇省建設廳省句路長途汽車管理處客車價目表・客車行駛時刻表（33-1）
江南汽車股份有限公司（京杭路蘇段各站客票價目表）（31-12）
山西省公路太原↔大同各站票價里數表（34-9）
上南長途汽車股份有限公司客票價目表・行車時刻表（32-12）
省句路長途汽車價目表（32-6） *句容—鎮江
浙江省公路局杭長路行車時刻表（32-7）
陝西汽車運輸客貨價目一覽表（32-2）

【航空路】

歐亞航空公司客票價目表・時刻表・公里表（32-10）
歐亞航空綫時刻表（32-5）
西南航空公司（SOUTHWESTERN AVIATION COPORATION）（34-10） *廣龍線飛航時刻表（CANTON-LUNGCHOW
LINE TIME TABLE）、客票價目表（EARE TABLE）、行李逾重收費表（Rate por Pound for Excess Baggage）
中國航空公司（滬漢綫・漢重綫・京平綫飛航時刻表）（32-3）
中國航空公司（飛航時刻表・客票價目表・行李逾重收費表）（33-3）
中國航空公司游覽飛行價目表（32-10）

【航路】

怡和輪船公司官房統艙新訂價目表（33-10）
怡和輪船公司長江下游航線（官、房、統、艙價目）（32-7）
怡和輪船公司長江上游航線（官、房、統、艙價目）（32-7）
國內各地航業消息（27春）
招商局長江二等船價目表（34-5、7）
上海開往歐洲馬賽倫敦船期表（27、28春～秋）
上海至維多利城 VICTORIA 船期船價表（29-1、2）
上海至英國倫敦 London 船價表（27秋）
上海至英屬溫哥華 Vancouver 船價表（27秋）
上海至溫哥華 Vancouver 船期船價表（29-4～6）
上海至英屬新加坡 Singapore 船價表（27秋）
上海至新加坡 SINGAPORE 船期船價表（29-1、2、4～6）
上海至歐洲船期表（33-4～6、8）
上海至歐美日各埠船價表（27冬、28春～秋）



上海至荷屬巴達維亞 Bataira 船價表 (27秋)
上海至華北華南各埠船價表 (27冬、28春~秋)
上海至長江五大埠船價表 (27冬、28春~秋)
上海至德國漢堡 Hamburg 船價表 (27秋)
上海至漢堡 HAMBURG 船期船價表 (29-1)
上海至日本神戶 Kobe 船價表 (27秋)
上海至巴達維亞 BATAVIA 船期船價表 (29-6)
上海開往美國船期表 (27、28春~秋)
上海至美國舊金山 San Francisco 船價表 (27秋)
上海至美國舊金山 SAN FRANCISCO 船期船價表 (29-1~6)
上海至美國西雅圖 Seattle 船價表 (27秋)
上海至美國西雅圖 SEATTLE 船期船價表 (29-1~6)
上海至美國檀香山 Honolulu 船價表 (27秋)
上海至法國馬賽 Marseilles 船價表 (27秋)
上海至 (北) 美洲船期表 (33-4~6、8)
上海香港間各公司船期表·船價一覽表 (31-11)
(上海至香港) 各公司船期表 (32-1)
上海至香港船期表·香港至上海船期表 (33-9、34-3)
上海至馬賽 MARSEILLES 船期船價表 (29-1、2、4~6)
上海至倫敦 LONDON 船期船價表 (29-1~6)
中國旅行社經售下列各公司輪船客票 (27秋、冬、28特、28夏、秋)
太古怡和兩公司長江下游航線中等大菜間價目表 (32-1)
太湖輪船公司長江下游航線特別官艙 (中餐) 價目表 (31-12)
赴歐輪船船期表 (32-1)
赴美輪船船期表 (32-1)
香港——海防間輪船名稱價目表 (30-7)

【交通碎錦】

北平吉林直達通車、京遼直達通車、膠濟鐵路改訂行車時刻、密爾雅瓦基鐵路新減票價 (31-1)
歐亞通車增加放價、首都建築鐵路輪渡、國有各路之新進展 (31-2)
本社經售意國郵船公司客票、大來公司添開遠東紐約班、歐亞航空之逐鹿 (31-3)
滬漢航空線展至宜昌、兩廣民用航空事業之發展、京滬路添設橋頭鐵車站、京遼平浦兩通車合併開行 (31-4)
中國航空公司開駛滬宜直達線、法國郵船公司新輪開航、滬漢航空票增價 (31-5)
京平航空線開航、國有各路客票加價、中東路歐亞聯運車更改時刻、歐亞聯運客票增價、大連汽船會社輪船停泊煙台、新疆交通近訊 (31-6)
歐亞航空開航、中日線夏季特價、杭江鐵路江尖段通車 (31-7)
歐亞飛機被擊、田曙嵐之壯游、外輪難開普陀、梅蘭芳已北歸、平浦之快通車、淞滬車新時刻、市渡輪開夜班 (31-8)
林白夫婦遊華、漢飛行家到滬、京滬路之水災、歐亞飛機事件、滬渝航空開辦、京遼車之敏捷、旅客行李驗關

【旅行備攷】

赴歐船期表 (一·二·三月)、赴美船期表 (一·二·三月) (31-1)
中國航空公司客票價目表、中國航空公司飛航時刻表、京滬鐵路行車時刻表、滬杭甬鐵路 (滬杭段) 行車時刻表、滬杭甬鐵路 (寧波段) 行車時刻表、赴美輪船價目表、赴歐輪船價目表 (31-2)
京滬鐵路各大站間客票價目表、滬杭甬鐵路各大站間客票價目表、赴歐船期表 (四·五·六月)、赴美船期表 (四·五·六月) (31-3)
京滬鐵路各大站間新訂價目表、滬杭甬路各大站間新訂價目表、津浦路列車·京平遼通車暨聯運時刻表 (31-4)
津浦路各大站間價目表、京平遼通車聯票價目表、京滬鐵路新訂行車時刻表、滬杭甬路 (滬杭段) 新訂行車時刻表

（31-5）

北寧鐵路各大站間客票價目表、京滬滬杭車與京平遼通車聯票價目表、漢口至長江下游五大埠輪船價目表、赴歐輪船船期表（七・八・九月）、赴美輪船船期表（七・八・九月）（31-6）

隴海鐵路各大站間客票價目表、隴海鐵路各大站間行車時刻表、上海往南北各大埠輪船價目表、上海莫干山間聯運客票價目表、上海莫干山間聯運時刻表（31-7）

浙江省公路局杭紹路蕭紹段行車時刻表、浙江省公路局蕭紹段各站鵲票價目表、浙江省公路局杭長路行車時刻表、浙江省公路局杭長路客票包車暨行李價目（31-8）

浙江省公路局杭平路暫定行車時刻表、浙江省公路局杭平客票價目表、浙江省杭江鐵路行車時刻表、浙江省公路局杭昌路客票行李包車價目暨里程表（31-9）

赴美輪船船期表（十一・十二月）、中國航空公司京平綫客票價目表・行李逾重收費表・京平綫飛航時刻表（31-11）

【消夏通訊】

牯嶺・青島・普陀〔決決〕（31-9）

【留学】

贈別遊美學生〔莊鑄九、許兆豐〕（27夏）

留美零感〔葉秋原〕（27秋）

赴美學生致本社許兆豐君函（28春）

贈赴美同學一言〔葉秋原〕（28夏）

贈別遊美學生〔許兆豐〕（28夏）

記本年赴美之留學生（28秋） *34名、級長は蘇宗固

歐洲讀書一得〔褚民誼〕（29-8）

各國駐華使領事署表・駐滬各國領事署地址錄（29-8）

去年本社經辦留學生放洋手續備極完美左圖為男女學生安抵美國上岸後之攝影（29-8）

西禮摘要（29-8）

清華本屆赴美學生之攝影（29-8）

全德大學調查票（29-8）

德國大學情形（29-8）

德國單科大學調查票（29-8）

德國著名專門學校調查票（29-8）

美國斯丹福大學之入學願書（29-8）

美國大學生活〔葉為耽〕（29-8）

赴德遊學之手續（29-8）

本屆清華同學選擇學科旨趣〔蘇宗固〕（29-8）

本社辦理留學生放洋手續之回憶〔許兆豐〕（29-8）

本年清華學生選擇學科與所入學校之調查（29-8）

臨別贈言〔羅志希〕（29-8）

赴美留學諸君注意！〔中國旅行社〕（30-5、6） *「專船」の廣告

本社辦理留學手續消息（30-6）

東遊一得〔東海〕（30-8）

普渡大學概況〔普校中國學生會〕（30-9） *Purdue University, West Lafayette, Indiana

米蘇里大學一瞥〔張少微〕（30-11）

留美學生致本社之一封書（30-11）

留學諸君公鑒（33-7）

留美學生注意（中國旅行社）（35-7、8）

【小說】

湊巧的時候〔過程〕（34-8,9）

*

旅館之秘密〔亞諾班尼原著、瞿強立譯〕(35) *Arnold Bennett

*

別離的征人〔嚴夢〕(32-6)

*

巴黎之婦人〔崔其煒譯〕(28冬)

巴黎之偵探〔崔其煒譯〕(29-11,12)

*

四大天王〔丹麥·赫爾曼·彭格著、斯嚶譯〕(32-8~10)

*

哥薩克〔托爾斯泰著、周新譯〕(34-1~6)

*

願花長好〔周瘦鵬〕(27春)

冬夜訴心〔德國名家·蘇德曼氏原著、周瘦鵬譯〕(27秋)

旅行者言〔法國名家·莫泊桑氏原著、周瘦鵬譯〕(27秋)

碎心〔意大利名家·薛維尼尼氏著、周瘦鵬譯〕(28春)

馬葛兒〔美國名家·哈德氏原著、周瘦鵬譯〕(28冬)

情海潮音錄〔法國名家·勒白朗氏原著(即亞森羅蘋作者)、周瘦鵬譯〕(29) *原書名: The Tremendous Event, By M. Leblanc

可歌可泣 (THE SINGING FOOL)〔美國·鐸爾氏作、周瘦鵬譯〕(30-2~4、6~12) *Hubert Dail

八千里路馬背上〔英國費爾登氏 A. M. Felton 作、周瘦鵬譯〕(33-12)

同舟〔德國歐士克福 G. Hirschfeld 原著、周瘦鵬譯〕(34-1)

死樹〔英國名家巴萊潘恩 Barry Pain 著、周瘦鵬譯〕(34-3)

南飛情鳥〔美國威爾遜氏 J. F. Wilson 原著、周瘦鵬譯〕(34-5)

遲暮〔Lion Feuchtwanger 著、周瘦鵬譯〕(34-8)

海〔土耳其名家賈自格維薩原著、周瘦鵬譯〕(34-9) *A. Karkavitsas

威尼斯的一夜〔F. Britten Austin 著、周瘦鵬譯〕(34-10) *One Night in Venice

情盲〔英國 J. D. Beresford 著、周瘦鵬譯〕(35-4) *Love's Blindness

馬來情蠱〔英國 Somerset Maugham 著、周瘦鵬譯〕(35-9)

遠征〔德國 J. Wassermann 原著、周瘦鵬譯〕(36-12)

*

綠陰青子〔春醪〕(37-4)

*

夫人之病〔徐卓呆〕(28冬)

*

東南西北〔G. A. Kay 原著、黎音譯〕(32-10)

*

世界之末日 (The Day The World Ended)〔原著者 Sax Rohmer 英國薩克斯洛茂爾、秦瘦鵬〕(31-6~12、32-1~3)

第十次航程 (Trip No. Ten by Frank Condon)〔秦瘦鵬〕(32-7)

殘燭遺痕〔英國 Edgar Wallace 著、秦瘦鵬〕(33-4~12、34-1) *世界偵探名著、The Clue of the Twist Candles

萬事通〔Edgar Wallace、秦瘦鵬譯〕(36) *世界偵探名著

萬事通補遺 (37-3)

幽屋血案〔Edgar Wallace、秦瘦鵬譯〕(37-1~6) *世界偵探名著、The Lone House Mystery

不義之財〔Edgar Wallace、秦瘦鵬譯〕(37-7) *短篇偵探小說、The Sooper Speaking

天網恢恢〔Edgar Wallace、秦瘦鵬譯〕(37-8) *世界偵探名著、The Man At The Carlton

*

理想小說：鴨蛋英雄〔漱六山房主人〕(27)

社會小說：黑海銀星〔漱六山房〕(28)

中国旅行雑誌（井波陵一編）

革命外史〔李涵秋遺著、漱六山房評注〕（30-4～12）

＊

孩子們的母親〔卓呆〕（29-10）

＊

似水流年〔張恨水〕（31-1～12、32） ＊34-8に、「書中敘述長篇故事、趣味深長、當由天一公司攝製影片、其價值不言可喻」
という。

賽金花參與的一個茶會（32-6）

秘密谷〔張恨水〕（33、34）

平滬通車〔張恨水〕（35）

如此江山〔張恨水〕（36、37-1～8）

＊

言情短篇：旅行團之海軍〔張春帆〕（27秋）

＊

遊侶失蹤記——福爾摩斯在西湖偵探案之一〔趙君豪〕（27春）

＊

一笑相逢〔趙叔雍〕（32-4）

汝南女〔趙叔雍〕（36-1） ＊約智齋擬唐人說部

＊

默特赫斯喀島〔俄國諾維考夫・潑里伊著、陳心純譯〕（34-12） ＊長篇小說『對馬』的第二章

＊

霍桑探案：旅邸之夜〔程小青〕（27春）

霍桑探案：浪漫的餘韻〔程小青〕（27夏、秋）

霍桑探案：我的功勞〔程小青〕（27冬）

霍桑探案：錯誤的頭腦〔程小青〕（28春）

無名朋友的愛〔趙君豪〕（28特）

賞錢〔程小青〕（28夏）

幕後〔程小青〕（28秋）

舞女生涯〔程小青〕（29-1～4）

膽力的測驗〔程小青〕（29-5）

心戰〔程小青〕（29-6）

新時代的俠客〔程小青〕（29-7）

神秘的酒〔程小青〕（29-12）

可怕的喜劇〔程小青〕（30-5）

＊

黃金影〔英國名小說家・米德氏原著、劉鳳生譯〕（31-1～5）

【小品】

冬游誌勝〔王憲煦〕（27冬）

蜜月吳中〔江紅蕉〕（27秋）

旅途中的懷惶〔江紅蕉〕（27冬）

舊地重臨〔趙君豪〕（27夏）

蘭殞記〔趙君豪〕（28秋）

兩度廬山〔周瘦鵬〕（27夏）

呻吟〔余空我〕（32-5）

【劇・電影】

侯喜瑞飾曹操（29-2）〔闕〕

說京劇所以獨盛之故〔吳我尊〕（29-2）〔闕〕

梅蘭芳・程艷秋・荀慧生・尚小雲 (29-2) [闕]
 王意曼 (明星影片公司基本演員) (29-9)
 過去的新劇和現在電影 [潘毅華] (29-9)
 阮玲玉 (明星影片公司基本演員) (29-9)
 胡蝶 (明星影片公司基本演員) (29-9)
 譚雪蓉 (明星影片公司基本演員) (29-9)
 梅蘭芳渡美記 [高梧軒] (30-2)
 梅蘭芳遊美概況 [沛甘] (30-4)

【詩】

將赴新都忽憶舊感各紀以詩 [天行艸堂主人] (28夏)
 南遊雜私 [江庸] (29-1)
 春遊曲 [李叔同] (29-3) * 「西天春色 (王一之君自巴黎寄贈)」
 湖上雜詩 [李釋戡] (31-4) * 山色湖光 [郎靜山]
 上元後五日偕高子踐四游梁溪梅園龍頭渚 [俞寶澄]、發遊用原韻答寶翁 [高踐四] (31-4) * 春江水暖 [德國攝影傑作]
 金松岑先生近詩 (32-11)
 栩庵詩鈔 [莊栩庵] (33-3、5、6、11、34-5、35-9)
 遐庵詞 [葉恭綽] (33-7)
 摸魚兒 [黃靜微] (33-7)
 金伯屏先生近詩 (33-11)
 和庸庵慰襄孫喪子原韻 [莊栩庵] (34-4)

【漫畫】

遊京都 [黃文農] (27秋、冬、28)
 跋文農畫四絕 [章天行] (27冬)
 阿大兄遊滬記 [季小波] (37-3~8)

【書畫・寫真】

紅樓夢名畫 (29-5)
 宋蘇軾畫竹墨寶、明王覺斯真蹟、明石濤上人墨寶、明文徵明枯木竹石 (29-11)
 明倪元璐真蹟・清羅兩峯梅竹石歲寒三友圖・清王耕煙松竹真蹟・明石濤上人墨寶 (32-1)
 春曉 [J. H. de Carvalho] (32-4)
 荷 [嵇光華]、劉石菴處簾 [蘇竹影] (32-7) * 寫真
 惲壽平之雙松奇石圖 (32-10) * 蘇竹影藏
 瓊林 [吳中行] (33-2) * 美術銅圖
 Farmerette [陳昂德]、牡丹 [郎靜山]、如聞其聲 [向慧庵]、筏 [葉淺予]、便風…… [翟培慶]、北平玉泉寺 [陳萬里] (33-4) * 芝博會中國攝影出品傑作
 一鞭殘照 [吳中行]、聖潔之夜 [翟培慶] (33-5) * 芝博會中國攝影出品傑作
 葉遐庵先生之詞與墨寶・顧阿瑛手植之天竺種並蒂蓮今夏盛開 (33-11) * 寫真
 影 [傅平常]、紅葉石館主畫菊 [奚季耕] (33-12) * 寫真
 冰天雪地 [丁惠康] (34-1) * 寫真
 雪湖印象之一 [陳萬里]、歸漁 [梁道明] (34-3) * 寫真
 側鬢西冷看山色…… (34-4) * 繪、倪墨耕摹任渭長畫姚梅帕詩意
 春 (34-4) * 寫真
 孔雀 [黃仲長] (34-6) * 繪
 顧鶴逸山水 (34-7) * 繪、カラー
 高崑畫山水 (34-10) * 繪、カラー



款乃一聲山水綠〔邵禹襄〕、中國之橋樑（34-11） *寫真

樹色連青靄人家在白雲（34-12） *繪、カラー

中國之塔（34-12） *寫真

疏影橫斜〔邵雨湘〕、玉雪紛披・湖山雪霽〔鄭鏡人〕、雪夜婦人〔莊摺之〕（35-1） *美術圖景

墨蘭〔畢蓮洲〕（35-3） *繪

浮雕攝（35-4）

烟波浩森・濤聲琴韻〔王學通〕、春之黃昏（35-5） *寫真

閭甘園先生山水（35-6） *繪

葉遐庵先生書簃、狄平子先生近作（35-7） *寫真

屐痕處處（35-9） *寫真

優游〔劉帆影〕（35-10） *寫真

東籬寄傲〔陸敬臨〕（35-11） *菊花の寫真

年來數畝山田熟……〔石濤〕（35-11） *繪

路轉峯回、雙雙倩影〔郭錫祺〕（35-12）

暗香浮動（36-1） *寫真

玉闌瓊樹、氷川歸客〔王勞生〕（36-1） *寫真

雛〔郭錫祺〕（36-3） *寫真

陽春煙景〔郭錫祺〕（36-4） *寫真

春郊旅行良伴〔吳雨蒼〕（36-4） *繪

雲樹〔王勞生〕（36-5） *寫真

送迎〔黃般若〕、雲樹〔郭錫祺〕（36-6） *寫真

窗外雨潺潺〔王勞生〕、石樑飛瀑〔郭錫祺〕（36-7） *寫真

荷〔王勞生〕、怒吼〔郭錫祺〕（36-9） *寫真

深林擁古塔、幽篁隱遠舟〔王勞生〕（36-11） *寫真

王烟客山水（37-1） *王時敏、繪

歸騎〔丁惠康〕（37-1） *寫真

山水〔沈宗敬〕（37-2） *繪

鶴羣〔丁惠康〕（37-2） *寫真

山水〔林琴南〕（37-3） *繪

德京柏林夜景〔黛〕、萍蹤偶撮〔束昌年〕（37-3） *寫真

仕女〔王小某〕（37-4） *繪

松〔倪綱賢〕、江南春色〔王勞生〕、獸苑畫影〔丁惠康〕、錦繡河山春光處處〔郭錫祺〕（37-4） *寫真

山水〔奚鐵生〕（37-5） *繪

貓兒松石〔徐悲鴻、馬萬里〕、桃李芳園〔秦寶〕（37-6） *繪

萍蹤雜撮〔丁惠康〕（37-6）

柳蔭小憩〔王勞生〕（37-7） *寫真

山水〔董邦達〕（37-7） *繪

山水〔李育〕（37-8） *繪

湘江晚景〔琅玕〕（37-8） *寫真

【彫刻】

飲〔比国・墨尼埃氏作〕（29-10）

昇（聖母像）〔法国・勃落旦而氏作〕（29-10）

人首〔Ivan Mestrovic〕（29-10）

陳英士銅像馬頭〔江小鶴氏作〕（29-10）

【廣告】

CALDBECK, MACGREGOR & Co., LTD. (35-9)



China A. B. C. Underwear & Weaving Co. (27秋)
JEENA & CO., (35-3) *AN INDIAN TOUR
N. Y K. LINE (27春)
The New Olympian (28, 29-1, 2)
Through America via The Seattle Gateway (27)
亞洲銀行 (34-12, 35, 36, 37-1, 2, 4, 6, 8, 9)
亞商公司 (28特)
亞浦耳 (33-5~12, 34-1~7)
愛的香粉 (34-6, 7)
安康洋行 (35-9)
安樂園酒家 (27冬)
安利洋行 (31-5, 7~12) *Arnhold & Company Limited, 吞坦隔板 (TEN-TEST, Insulating Building Board)
依爾福洋行 (34-3, 4, 7, 9, 11, 12, 35-1, 4~6, 9, 10, 36-1) *ILFORD, 仙樂 SELOCHROME
怡和洋行輪船部 (27夏、28冬、29-2, 6, 30-1, 4, 7, 10, 31, 32, 33-1~4, 6~12, 34-1~11, 35, 36-1~6, 9)
*Jardine, Matheson & Co., Jardine, Matheson & Co., Ltd.
韋廉士醫生藥局 (27夏、秋、28特、28秋、冬、29-1, 3, 30-8~12, 31, 32, 33, 34, 35, 36) *Fulford & Co., Ltd., G. T.
of Canada; Dr. Williams' Medicine Co.
偉大洋行 (31-7, 8, 10) *電動計算機 (Rheinmetall)
意國郵船公司 (33-3~12, 34, 35, 36, 37-1, 2, 5)
緯成公司 (29-1)
醫藥評論 (褚民誼博士主編) (32-12, 33-1, 3~11, 34-2~12)
永安有限公司 (30-5)
永華汽車公司 (29-3)
永利化學工業 (34-12, 35-1~5)
永備牌 (EVEREADY) (30-3~12, 31-1) *電筒・電池
益華公司 (29-3~8)
粵南酒樓 (29-7)
煙台張裕公司 (30-5~10)
王亨利西服號 (HENRY THE TAILOR) (30-3, 5, 7, 9, 11, 31-1)
王順泰西服公司 (27冬、28春~秋、29-1)
鶯古路信託銀行 (Anglo-California Trust Company) (31-1)
卡德自來水筆 (CARTER PEN) (30-11, 31-3)
柯達公司 (Kodak) (29-1, 4, 7, 9, 30-1, 3, 7, 31-3, 4, 7, 8, 10, 12, 32-3, 6, 10, 12, 33-2~12, 34, 35, 36-1~11, 37-2)
科發大藥房 (31-3~12, 32-1, 2, 34-2, 3, 5, 8, 11)
家庭工業社 (34-2~12, 35, 36-1, 4, 6, 7)
華安合群股份有限公司 (30-3, 12, 31-1) *旅行保壽
華嘉洋行 (30-3~8)
華商煙公司 (28特)
華生電器製造廠 (27夏、35-5, 6)
華成煙公司 (30-5~10, 31-5~12, 32, 33, 34, 35, 36, 37-2~8)
華發大藥行 (37-5, 6, 8) *散拿吐瑾
華富運輸行 (37-2)
華豐印刷鑄字所 (28特)
海關華員聯合會 (28春、冬、29-1)
冠生園 (29-3, 7, 9, 11)
雁蕩旅館 (37-4)
吉時洋行 (31-4~12, 32-2, 3) *KLIM (Powdered Whole Milk), The Borden Company

九華綢緞商店（29-3）

久大精鹽公司（34-12、35-1~5）

協順印刷所（28特）

金城銀行（29-1~3、5、7、9、10、12、30-1、3、5、7、9、11、31-1、3、5、7、9、11、32、33-2、4、6、8、10、12）

京滬滬杭甬鐵路管理局（33-12、34-1~6、8~12、35-2~12、36）

京滬鐵路管理局事務處（29-11、12、30-1~4）

桂格麥片公司（29-7~12、30-1、3、5、7、9、11、31-2~11、32-5~12、33-4~12、34、35-1~3、8~12）

*The Quaker Oats Company

惠龍飯店（27秋）

謙信洋行（30-3）

五洲大藥房（五洲藥房）（28夏、秋、冬、29-1、2、4~12、30、31、32、33、34、35-2~12、36、37-1）

湖濱旅館（29-3）

滬寧鐵路管理局事務處（29-5~10）

孔士洋行（KUNST & ALBERS）（32-2~7）

功德林（28特、29-3）

亨大龍井茶莊（30-8~10）

交通銀行（29、30、31、32、33-1、3、5、7、9、11、34-1、3、5、7、9、11、35-1、3、5、6、8、10、36-1、4、7、11、37-1、4、7）

光華火油公司（33-9~12、34-1~8） *THE KWANG WHA PETROLEUM COMPANY LTD.

光祿牌香烟（34-1、4） *Gresham Cigarettes

杭州飯店中西旅館（32-7~9）

紅葉石館主書畫潤例（33-7）

香亞公司（29-7、9、11）

絞盤牌香烟（28、29-1~4、30-1、3、7、10、31-1、4、7、10、32-1、3、34-7、10、35-1）

國營招商局（35-9、36-9、11、37-2、4）

國華銀行（29、30、31-1~11、32、33、34、35、36、37-2~9）

國際週報（29-2~6）

沙利文（27特、29-3） *Sullivan

渣華郵船公司（31-4~12、32、33、34、35、36-1~3） *JAVA-CHINA-JAPAN LINE

萊根香旅館（33-7） *GRAND VIEW HOTEL（CHOY GAN HEUG HOTEL）、莫干山

蔡司伊康（Zeiss Ikon）（30-9）

三星棉織廠（31-3、4）

三妹牌香烟（30-6~12、31-1、2）

三友實業社（27秋）

四合一（37-1） *洗面粉

四行儲蓄會（29-1、2、5、8、11、30-1、4、7、10、31-1、4、7、10、32-1、3、7、9、33-1、2、7、10） *中南、鹽業、金城、大陸

四川商店（31-3~8）

時事新報（36-1）

實用科學社（36-5）

上海銀行（29-12、30-1、8、31-3、8、9、11、12、32-1~4、6~8、10、12、33-1~10、12、34、35-1、3~8、36-7~10、12、37-1~9）

上海銀行旅行部之國幣支票（27）

上海商業儲蓄銀行（28秋、29-1~11、30-2~6、9~12、31-1、2、4~10、32-5、9、11、33-11、34-5、11、35-2、3、9~12、36-1~6、11）

上海足安電機織襪廠（29-1、3、5）

上海綢業銀行（33-9）

上海電話公司（31-3~12、32、33）



上海農商銀行 (29-1~5)
上海紡織印染公司 (33-11、12、34-1、2)
上海每日新聞 (31-4~10)
小呂宋老美女雪茄煙廠 (27冬)
承興紙號 (29-5)
昌興輪船公司 (CANADIAN PACIFIC) (29、30-1~4、6~12、31、32、33、34-1~6、8~12、35、36、37-1、2、4、6~9)
邵芝巖筆墨莊 (28特、29-3)
商辦廣東銀行 (34-3)
商務印書館 (30-9、33-6~8、36-1)
商務 (圖書) 印刷所 (32-10~12、33-1~9)
勝德織造廠 (30-4~9、31)
勝利唱機公司 (Victor Records) (30-3~12)
申泰西式木器號 (37-5)
申報 (36-1)
信誼化學製藥廠 (32-11、12、33-1~10、36)
晨報·新夜報·小晨報 (36-1)
真張小泉老雙井剪廠 (28特、29-3)
新亞大酒店 (35-5~12、36、37-1~7、9)
新華商業儲蓄銀行 (29-1~5、30-2~12、31-1)
新華信託儲蓄銀行 (31-2~12、32、33-1、34-2~12、35、36-1)
新藝照相館 (29-8)
新新有限公司 (34-5~7) *The Sun Sun Co., Ltd.
須羅靈 (36-6) *SIROLIN、結核預防
生活書店 (35-8)
西華父子眼鏡公司 (28特、28秋)
西湖醫院 (32-7~10)
西湖一朵花 (28特)
西湖聚英旅館 (28特、29-3)
西湖博覽會 (29-4~6、8)
西湖飯店 (28特、29-3)
西湖佛國照相館 (29-3)
西湖療養院 (29-5)
西門子電機廠 (31-1~6) *31-5より西門子洋行 (SIEMENS CHINA CO.)
青島畫報 (35、36、37-1~5、7)
清泰第二旅館 (33-10、34-3、4) *西湖
聖太飛鐵路公司 (29-9~12、30、31-1~5、7、8、35-5~12、36、37-3~5、7、9) *Santa Fe
精美食品公司 (28春)
浙贛鐵路 (35-3、4)
浙江興業銀行 (28春、29-1、2、5、8、11、30-2、5、8、11、31-2、5、8、11、32-1、3、5、8、10、12、33-1、3、5、8、10、12、34-1、3~12、35、36-1、3、5、7、9、11、37-1、3、5、9)
浙江實業銀行 (27冬、29-1~3、5~12、30、31-1~11、32、33、34、35、36、37-2~9)
浙杭西湖瀛洲旅館 (FAIRY LAM D HOTEL) (29-3)
雪園 (30-5、7、9)
仙樂軟片 (36-7~11) *SELO FILM
全國銀行年鑑 (34-8) *一九三四年全國銀行年鑑
先施公司 (The Sincere Co., Ltd) (30-3~6、8~12、31-1~3、5、8、9、11、32-1、8、9、11)
棕欖公司 (29-3、31-4)
大華建築公司 (35-9)

大華水電公司（35-9）
大華保險股份有限公司（30-3、5、7、9、11、31-1）
大華藥房（30-2、3）
大經綢緞顧繡局（DAI CHING SILK CO.）（28特）
大成龍井茶莊（28特）
大前門香烟（37-7）
大晚報（36-2）
大北鐵路公司（Great Northern）（27、28、29、30、31、32、33、34 [12闕]、36、37-1~9）
大來輪船公司（27、28、29、30、31、32、33、34、35-1~10） *Dollar Co., The Robert
大陸銀行（29-1、2、30-3、6、9、11、31-4、6、9~12、32-1~9、12、33、34、35、36、37-2~9）
大連汽船株式會社（29-1、4、7、10、30-1、4、7、10、31-1、4、7、10）
太古洋行（31-2~12、32、33、34-1）
泰山磚瓦股份有限公司（TAI SHAN BRICK & TILE CO., LTD）（29-1、4、7）
泰昌車行（33-6~11）
檀香山游覽局（29-3、5）
檀香山游歷局（Hawaii Tourist Bureau）（29-4）
千代洋行（CHIYO YOKO, PHOTO SUPPLEIS）（27秋、28冬、29-2~12、30、31-1、2）
中央信託有限公司（29-5、7、9、12、30-1、4、6、8、10、12、31-2、4、6、8、10、12、32-2、4、7、9、11、33-1、3、5、6、8、10、12、34-2、4）
中央儲蓄會（37-6）
中華協記皮鞋公司（28夏）
中華工業廠（30-3~5）
中華國貨捲煙維持會（35-9、10）
中華國有鐵路滬杭甬綫事務處（28特、29-3、5~9）
中華書局（29-10、31-5、7、9、11、32-1、7、9、11、33-5、34-4~6、8~12、35-2~6、8~12、36）
中華照相館（27冬、28春、夏、29-1~3、5、7、9、11、30-1、3、7、9、11、31-1、3、5、7、9、11、32-1）
中華煤球股份公司（29-1）
中國化學工業社（35-12、36-1~3、5）
中國匯業銀行（29-1）
中國銀行（28冬、29、30、31、32-1~3、5~9、11、12、33、34-1~6、8~12、35、36、37-1、8）
中國航空公司（CHINA NATIONAL AVIATION CORPORATION）（32-2、35-9）
中國國貨銀行（30-2~12、31-1）
中國國貨公司（33-11）
中國實業銀行（33-2~12、34、35、36-1）
中國精益眼鏡公司（28夏）
中國通商銀行虹口分行（28春）
中國天厨味精公司（30-5~10）
中國電氣股份有限公司（35-9）
中國內衣公司（28夏、秋、冬、29-1、3、6、9、12、30-3、6、9、12、33-6）
中國百用油公司（32-10~12、33-1~3）
中國旅行社（29、30-1~9、31-4~6、8~12、32-1~3、5~7、9、10、33-1、4、7、9~11、34-1~3、6~12、35、36-1~10、12、37-2、6、7）
中南銀行（28春、夏、29-1、2、5、8、11、30-1、4、8、11、31-1、4、8、11、32、33-1~7、9~12、34、35、36、37-2~9）
中孚銀行（33-2~12、34、35、36、37-1~9）
中法儲蓄會（30-4、30-7、9、12、31-3、6、9、12、32-1、4、7、11、33-1、4、7、11、34-1、5、8、10）
鑄豐搪瓷公司（30-4、6、8、12）
通易信託股份有限公司（27秋、28春）
天濟醫室（30-3~12、31、32、33、34、35-1~9）



天然飯店 (28特、29-3)
都錦生絲織廠 (28、29、32-1~3、8~12、33-1~4、34-4~12、35、36-1~8)
同興號 (35-9)
同昌車行 (30-4~9、32-12、33-1~9)
東亞銀行 (29-1~3、5~12、30、31-1、2、4~11、32-1~9、33-2~4)
東萊銀行 (27冬、29-1~3、5、8、11、30-2、5、8、11、31-2、5、8、11、32-1、5、8、11、33-1、5、8、11、34-1、5、8、11、35-1、5、6、11、36-1、5、8、11、37-1、5、8)
童遜瑗會計事務所 (37-7)
鄧脫摩飯店 (30-3~12、31-1、2)
德亨洋行 (31-3)
德國萊城博覽會 (29-1)
德國萊布齊展覽會 (1932年春季) (32-2)
南京毛織廠 (35-9)
南太平洋鐵路公司 (35-2~12、36、37-4、7、8) *Southern Pacific
南洋汽車五金行 (NANYANG MOTOR SUPPLY CO.) (29-3、5、6)
二我軒照相館 (28特、29-3)
日華旅行社 (37-2、3) *日華旅行社春季旅行通告 (第六回: 日本商工視察團徵集團員、第七回: 日本觀櫻視察團兼遊覽朝鮮華北)
日本郵船公司 (29-1、2、4、6、8、10、30-2、4、6、8、10、12、31-2、4、6、8、10、35-8、10、12、36-2、4、6、8、10、12)
拜耳 (BAYER) (30-3、4) *阿司匹靈藥餅 (Aspirin)
莫干山大旅館 (32-7~9)
莫干山肺病療養院 (29-3)
莫愁製藥公司 (30-9~12、31-1~6、9~12、32-1~8、35-5~8、10~12、36-1~4)
萬國儲蓄會 (28春、秋、29-4、10、30-4、10、31-4、34-3、9)
萬方地毯公司 (35-9) *PAGODA RUG COMPANY
萬隆火腿南肉老棧 (28特)
美女牌冰結連公司 (35-5~11)
美和洋行 (30-7、8)
百昌行 (32-10、12、33-2、4、6、8、11、34-1、36-1、37-1、2、4、8) *面友 Face Friend、黑人牙膏
百樂門大飯店 (35-2~5、7) *Paramount
父子牙醫局 (28特、28秋)
福倫達鏡箱 (31-3~12、32-1、2) *先靈洋行 (Scherings, Ltd.)
炳耀工程司 (35-9)
碧梧軒 (29-3)
璧光公司 (35-9) *FAR EASTERN HOTEL SUPPLY Co.
方志月刊 (34-1)
法國郵船公司 (29-1、2、5、8、11、30-1、4、7、10、31-1、3、5、7、9、11、32-1、3、5、7、9、11、33-1、3、5、7、9、11、34-1、3、5、7、9、11、35-1、3、5、6、9、11、36-1、3、5、7、9、11、37-1、3、5、7、9)
卜內門洋碱有限公司 (36-11、12、37-1、3)
北極公司 (35-9)
北太平洋鐵路公司 (Northern Pacific Railway) (27冬、28夏~冬、29、30、31、32、33、34、35、36、37-3、9)
北德輪船公司 (NORDDEUTSCHER LLOYD, BREMEN) (33-5、6、8、9、11、34-1、3、5、7、9、11)
北寧鐵路廣告 (32-7~9)
香港國民銀行 (34-3~8)
香港皮鞋公司 (30-4~12、31-1~3)
瑪賽克鋪地瓷磚 (29-4)
滿海洋行 (28春、秋、冬、29-1)

密而瓦基鐵路公司（29-9～12、30、31、32、33、34、35-1、3～12、36、37-4、6、9） *Milwaukee Road

密勒氏評論報（The China Weekly Review）（29-1、31-11、12、32-1～10）

民生實業公司（36、37-2、4、6、8）

名古屋博覽會（28秋）

明華商業儲蓄銀行（29-2～12、30-4～12、31-1～3）

毛全泰木器廠（35-2～12、36-1）

藥特靈（Yatren）（30-7、8）

友寧太平洋鐵路（Union Pacific System）（30-2～12、31-1～5、7～12、32-1、3、4、6～12、33-1～3） *31-4より友聯太平洋鐵路

有力克香煙（Eureka）（30-3～5）

郵政儲金匯業總局（34-3～12、35-1～3）

洛士利洋行（28秋、29-1）

蘭勃脫白脫勒公司（32-7、10、33-1、4、7、35-4、7、10、36-1、4、7、11、37-4） *Lambert & Butler's

利華肥皂有限公司（32-5～8） *力士香皂（LUX TOILET SOAP）

梁新記兄弟牙刷公司（36-9～12）

鈴木味四素公司（味の素）（28特、29-6～12）

禮和洋行光學部（29-1～3、5～12）

老介福・老九綸・大綸・大盛（28春）

老晉隆洋行有限公司（29-2、4、6、8、10、12、30-1、3、5、7、9、11、31-1、3、5、7、9、11、32）

勒吐精（Lactogen）（28秋）

矮克發洋行（Agfa）（28春、秋、29、30、31、32-2～11、33-6～12、34-4～12）

【その他】

廣告價目（27春）

定價表（27、28特、28春、夏、冬、29、30、31、32、33、34 [12闕]、35、36、37-1～9）

投稿簡章（29-7～12、30、31、32、33、34 [12闕]、35-1～8、11、12、36、37-1～9）

人文科学研究所は、昨年の11月で創立80周年を迎え、開所記念パーティを催した。その年数は、前身である東方文化学院京都研究所が開設された1929年から数えたものである。共同研究を基軸にした研究スタイルや運営方針は、戦前からずっと受け継いできているので、決して水増しではない。開所記念パーティの講演会も1930年から継続的にずっと行われてきたものである。

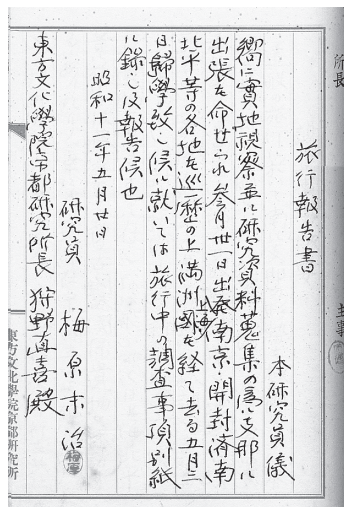
研究所の建物内には、東方文化学院、東方文化研究所の時代から蓄積してきた研究資料が数多く残っている。北白川の建物（分館と呼ばれているが、もともところちがが本館だった！）については、1996-97年に大規模な改修工事を行った。その際に、一時的に荷物を移動させる必要があったので、研究室や地下室に置いてあった資料は整理し、箱詰め作業を行った。しかし、北側の敷地内にある収蔵庫や東一条の本館、西館に保管されたものは、そのまま手つかずであった。

ところが、一昨年に東一条から本部構内の旧工学部7号館に移転をしないといけなくなった。東一条の敷地が桂坂キャンパスの建設用地の代替え地として売却対象となったのだ。大幅なりニューアル工事で完成した新館には、センター関係者を除く北白川の住人も移り住むことになり、収蔵庫にあった和書、洋書も新館図書室に移管することにした。そこで、全面的な引っ越しとなり、開かずの部屋や地下倉庫もすべて大掃除して、積年のゴミを始末する大整理を行った。その作業中に、一級品のお宝がいくつも発見されたのは言うまでもない。

研究所のお宝探しには、若手研究者が中心になって「人文研探検」（班長：菊地暁、岩城卓二）という共同研究班まで組織され

人文研アーカイブス (19) 『研究視察旅行報告書』 (稿本)

東方文化学院京都研究所編
武田時昌



た。かつての「ヨーロッパ探検」（京都大学ヨーロッパ学術調査隊）における脱オリエンタリズム的な精神に倣って、人文研の「知の蓄積」にアプローチを試みたものである。このような研究プロジェクトが成立するところに、人文学の創造性や奥深さがある。

建物は学問や文化を象徴するとはよく言ったものだ。人文研を訪問した方々は、誰でも実感することである。にもかかわらず、飛び地であるという理由だけで立ち退きを要求するとは、まったく呆れた話である。文化的継承に無頓着な大学執行部には単なる我楽多にしか見えないだろうが、残された遺産は真の学問探究の真髄を伝えるものである。

資料の一部は、所報「人文」の創立80周年特別号に資料編として復刻した。また、中国調査旅行の際に撮影した16 mm フィルムの自主制作映画は、京都大学総合博物館で開催された「映像と写真で見る東洋学」において一般公開し（2009年10月28日～11月1日）、開所記念パーティの会場でも放映した。

16 mm フィルムは、分館の収蔵庫にあったもので、戦前の中国社会を映し出した貴重な映像資料であるが^{*1}、劣化が進んで危機的状況にあった。マイクロフィルムやガラス乾板も同様に著しい劣化の症状が確認された。新館への強制連行は、ホルムアルデヒド発生という忌まわしい毒ガス事件によってさらに不幸な出来事になるが、倉庫の片隅にずっと放置されていた貴重な資料を瀕死の際から救い出せたことだけが幸いなことであった。

2

ところで、復刻した資料のなかに、「第一回北平旅行概況報告」がある。これは、昭和9（1934）年8月24日から10月2日にかけて、塚本善隆（1898—1980）、能田忠亮（1901—1989）、小川（貝塚）茂樹（1904—1987）、長廣敏雄（1905—1990）、森鹿三（1906—1980）の五氏が、華北を視察旅行したのちに作成した出張報告書である。発見されたフィルムの一つである「北支遊記」は、その旅行中に長廣敏雄が撮影したものであった。

その旅行報告書は、「研究視察旅行報告書」という表題が付けられた冊子の一部分である。地下倉庫に保管されてあった戦前の事務書類であるが、数年にわたる旅行報告書を束ねて紐綴じしたものであり、冒頭に目次を作成していることから、完結したファイルであることがわかる。

目次には、次のようにある。

- 一、昭和九年九月……森鹿三、塚本善隆、能田忠亮、長廣敏雄、小川茂樹
- 二、昭和十年九月……三國谷宏
- 三、昭和十一年三月……水野清一、長廣敏雄
- 四、昭和十一年三月……梅原末治、内藤乾吉
- 五、昭和十一年八月……小川茂樹
- 六、昭和十一年八月……塚本善隆
- 七、昭和十二年三月……渡邊幸三

*1 安岡孝一「人文研所蔵16 mm フィルムとそのデジタル化」（「東洋学へのコンピュータ利用」第21回研究セミナー、3-8頁、2010年3月、又 <http://kanji.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~yasuoka/publications/2010-03-19.pdf>）参照。



八、昭和十三年八月……高倉正三

九、昭和十三年八月……能田忠亮

十、昭和十四年八月……長尾雅人

一一、昭和十四年九月……倉田淳之介

十一の報告書は、いずれも中国旅行から帰国した時に所長宛に提出した出張報告書である。表紙の右欄外に所長と主事の確認印あるいはサインがあるものが半分くらいで、長尾雅人の報告書には書記の押印もある。

背表紙には、表紙と同じく「研究視察旅行報告書」の題字があり、表紙には編者として「東方文化学院京都研究所」と記す。研究所が東方文化研究所に改組されたのは、昭和13年4月1日であるから、冊子を製作したのは改称後であるが、旧称をまだ用いていたようだ。

改組直後の8月に二人が出張しているが、能田忠亮の報告書は東方文化研究所の原稿用紙に記すが、高倉正三は「東方文化学院京都研究所」の原稿用紙を使用している。昭和11年の梅原末治、昭和11年の小川茂樹、塚本善隆の報告書は、少し小さいB5版の原稿用紙（朱線）である。枚数は、報告書によってまちまちである。長尾雅人の報告書に至っては、200字詰原稿用紙で95頁もあり、長編の論文といってもいいくらいの分量である。

3

これらの報告書が冊子にまとめられるに至る理由は、昭和九年から研究所が実地調査の必要性から所員を中国に派遣するプロジェクトを推進したからである。報告書によって年度別に整理すると、昭和9年度、10年度は5名、11年度は3名、13年度、14年度は各2名である。

12年度が空白であるのは、日支事変（日中戦争）が勃発したからだ。その経緯は、藪内清の「遊支日記」（「東方学報」京都第9冊、346-358頁、1938年10月）に略述されている。それによれば、12年度も能田忠亮、吉川孝次郎、森三樹三郎、藪内清をメンバーとして、恒例となった中国見学旅行の計画があった。北京から南下し、江蘇、安徽、浙江を一巡りする予定だったらしい。しかし、いざ出発という7月に盧溝橋事件が生起し、やむなく中止となった。

吉川孝次郎は、昭和3年から6年まで北京に留学しているが、前年の11年夏の旅行団のメンバーにも加わる予定であり、水曜談話会の7月例会（7月15日）で「浙東の学術に就いて」と題する研究発表を行っている。しかし、この時にも病気その他のアクシデントで参加を取り止めた。昭和12年の折には、直後に陸軍及び外務省の委嘱を受けて中国に出かける機会が得られた。そこで他の三人だけで再び旅行を計画したらしいが、うまく都合がつかなかった。

ただし、藪内清は、昭和13年2月になって、傅芸子（昭和7年3月より中国語の講師として招聘）が帰国することになったので、同伴して初めて中国に渡った（2月14日から3月28日まで）。その中国旅行を日記風にまとめた報告書が「遊支日記」である。この日記とは別に帰国してすぐに出張報告書を提出したはずである。しかし、本冊子に含まれてい

ないところから見れば、中国研究視察旅行とは別枠での渡航だったと思われる。

昭和13年度から再開したが、人数が減っている。その理由には、中国との関係が悪化したことがあるかもしれない。しかし、昭和13年6月には、外務省在支特別研究員として、森鹿三が1年間、佐藤匡玄が2年間の留学し、翌年の秋には大島利一、日比野丈夫、高倉正三が2年間の留学に出かけている。また、雲岡石窟調査を開始したのは、その年の春であり、戦火の中にあって終戦前年の昭和19年に至るまで続行している。したがって、所員の中国旅行が頓挫したわけではなく、試行的な視察を終えて現地調査や留学の必要性を痛感し、さらに本格化させたと言うべきである。

4

規模の縮小に関しては、現地において旅行をサポートした重要人物が逝去したことを指摘すべきかもしれない。その人物とは、上海にあった自然科学研究所長の新城新藏である。

藪内日記では、「既に上海自然科学研究所長の新城博士に御願ひして護照（引用者注：旅券）も入手していたが、…」(「遊支日記」346頁)とあり、中止となった旅行の現地での手配を行っている。他の報告書でも、新城新藏の名前がしばしば登場する。

昭和11年春の梅原末治、内藤乾吉両氏の旅行は、新城新藏、中尾萬三が洛陽、西安の史蹟を巡って北平に至る調査に随伴したものである。ただし、旅程の変更で、洛陽、西安には行かずに、上海から南京、蘇州、開封、済南の各地を訪れた。開封から泰安に立ち寄って、泰山に登り、曲阜に詣でる予定だったが、徐州で見学中に新城新藏の体調がおかしくなり、済南で2日間滞在したとある。梅原末治は旅行報告論文に、新城新藏の調査団に随従したお蔭で、「見学の上に多大の便宜を得た」と注記している^{*2}。また、同年夏の小川、塚本の旅行団も、上海では「新城博士の好意により」(塚本善隆報告書)、自然科学史研究所の所員宿舎に寄宿している。

対支文化事業によって設立された自然科学史研究所は、「大阪毎日新聞」昭和12年3月3日の記事に、

日本からやって来た学者を支那学界へ紹介したり、研究の便宜を周旋したりするの、支那学者を日本学界へ紹介するの、この研究所がもっている役割の一つで今日まで日支両学者にどれだけ便利を与えているか知れない。

と紹介されている^{*3}。この言葉は決して誇張ではない。報告書の証言は、所長自らが率先して中国旅行者の水先案内人を務めていたことを明らかにしている。

新城新藏は、東方文化学院設立当初からの評議員であったが、昭和4年より4年間、京大総長に就任した後、昭和10年2月12日に上海の自然科学史研究所の所長に着任した。ところが、昭和13年8月1日に、南京にて急逝した。「大阪朝日新聞」昭和16年3月28日の記事に、次のようにある。

京都帝大総長を経て昭和十年二月から上海自然科学研究所長の職にあった博士は事変

*2 梅原末治「河南安陽発見の遺物—主として新発見の古墓出土品に就いて—」(「東方学報」京都第7冊、1936年11月)5頁。

*3 二つの新聞記事は、神戸大学経済経営研究所が作成した「新聞記事文庫(新聞切抜文庫)」を参照した(神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ、<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/index.html>)。



勃発によって学術資料の散逸することを誰よりも憂慮し東奔西走各地の実情を調査、老躯を提げて学徒を指導した。特に標本類蒐集収容には自らこの整理に当り陥落直後の南京に赴き運搬用のトラックの不便はもとより官舎、食糧にもこと欠くの中に奮闘中ついに病魔に冒され、南京仁会病院で六十六歳を一期として戦時下の学徒の興亜使命に斃れたのであった。

サブタイトルには、「文化施設の返還 故新城博士ら血の滲む労苦」となっている。事変後の学者四散、図書流逸の惨状は、1年後に視察旅行を行った倉田淳之介の報告書にも詳しいレポートがある。倉田は、末尾に「文献移動の一面より見れば、智識階級の枯渇を知り得」と嘆く。新城新藏は、自然科学史研究所の所長として行政的手腕に欠けていると批判されることもあったが、そうした学術的貢献の裏返しであり、困難な時代にあって日中両国の学術交流の促進に尽力したことは、特筆すべきことである。

5

中国視察旅行を終えた者は、水曜談話会で帰国報告の研究発表をし、研究成果を論文にまとめて「東洋学報」に掲載することになっていた。読み物としては、研究論文よりも報告書のほうが臨場感があってずっと面白い。旅行するに際しての研究目的、問題意識や見学、調査が果たせなかった想いなど、論文では表出することのない真情が吐露されている。

三國谷宏の場合は、ドラマティックで感動的だ。帰国して1年後に京城帝国大学図書館所蔵の旧奎章閣文庫にあった李氏朝鮮末期の外交文書について小論を「東洋学報」に発表するが^{*4}、報告書によれば出発に際して大きなアクシデントがあった。すなわち、昭和10年9月25日に京都を出て下関に到着し、釜山に渡る連絡船に乗ろうとした間際に、京都の下宿から「父病む」との連絡が入ったとある。そこで、急遽郷里の八代に帰り、1週間の看病の後、10月2日に再出発した。そして、慶州、京城、平壤、奉天、新京、哈爾濱等を経て、北京に至った。11月10日には、病床の父から「近く退院す。其方何時帰るか」との電報が来たので、快方に向かっていると安堵し、天津から旅順、大連に立ち寄って帰国する予定であった。ところが、14日2時すぎに「父危篤帰れ」の急報があり、直ちに帰国の途に就き、11月17日午後1時半に帰郷したところ、すでに永眠せし後だったと記す。論文には何の言及もないが、字裏行間には亡父への万感の想いが込められているにちがいない。

報告書には、旅行中に会見した人物として顧頡剛、傅斯年、董作賓、周作人等々の著名な学者、文人の名前が續々と登場する。外国人研究者に自由な図書閲覧は許されていない状況でも、その人々の助力を得て善本を見ることのできたそうだと。他事でも様々な便宜を計ってもらえて、望外の喜びであったと随所に語る。

蔵書家として名高い故宮博物院図書館館長、傅增湘の居宅（石老娘胡同にあり、「藏園」と呼ぶ）を訪れ、直に貴重書を閲覧させてもらった人物も少なくない^{*5}。高倉正三の場

*4 「東亜外交史々料としての旧奎章閣所蔵文書—特に馬山浦事件について—」（「東洋学報」京都第7冊、135-159頁、1936年12月）。

*5 傅增湘に関しては、東京大学東洋文化研究所附属東洋学研究情報センター、アジアデジタル展示館の「傅增湘先生逝世六十周年記念展」参照（http://ricas.ioc.u-tokyo.ac.jp/asia_sp/asia01.html）。

合には、訪書の成果として「紅豆齋鈔本尚書大伝五卷」（恵棟が書写させ、翁方綱が校勘を施したテキスト）に関する論文をまとめ、「北京遊記抄」という副題で発表している*⁶。報告書によれば、高倉は当初に最も興味を持っていたのは、『雙鑑樓善本書目』に記載された宋版『樂府詩集』（「北宋刊は固り誤りであらうが」と注記する）であった。ところが、交民巷の書庫にしまわれていたので、見るができなかったと記す（中国国家図書館現蔵。最近、人民文学出版社から完全影印本が出た）。そこで、『百衲本北堂書鈔』『鈔本唐書藝文志注』『明鈔本北堂書鈔』等を見せてもらったと言う。実のところ、『尚書大伝』紅豆齋鈔本は、傳増湘宅ではなく、世話役を務めた平岡武夫の手許に借り出されていた。東方文化学院嘱託員だった平岡は、昭和11年春から大阪の上野財団の助成金で北京に留学していた。親切な先輩の計らいなのか偶然なのかかわからないが、それを借覧し、4日かけずに全書の校讎を行ったそう。論文で盧氏雅雨堂本との文字の異同を詳細に報告しているのは、そうした裏話があったのだ。

高倉正三が立てた旅行の目的には、研究資料蒐集を第一とするほか、中国語の研究があった。そこで、文献調査とともに、観劇を行った。そのきっかけは、「吉川（幸次郎）主任の助言に従って」とある。北京の放送局（中央広播電台）内にあった国劇学会が主催する崑曲研究会や北京における最古の俳優養成機関である富連成において、中国演劇の舞台を初めて見物した。「今迄レコード及び伝奇を通して」しか知らなかった高倉が最も関心を抱いたのは、役者の発する中国語であつたらしく、報告書でも音韻学的な考察を繰り広げている。

なお、高倉正三は、帰国して1年後に、未開拓であつた呉語（蘇州語）の研究を目的として今度は蘇州に留学し、昭和16年3月13日に蘇州病院にて病死した。享年28歳の若さで

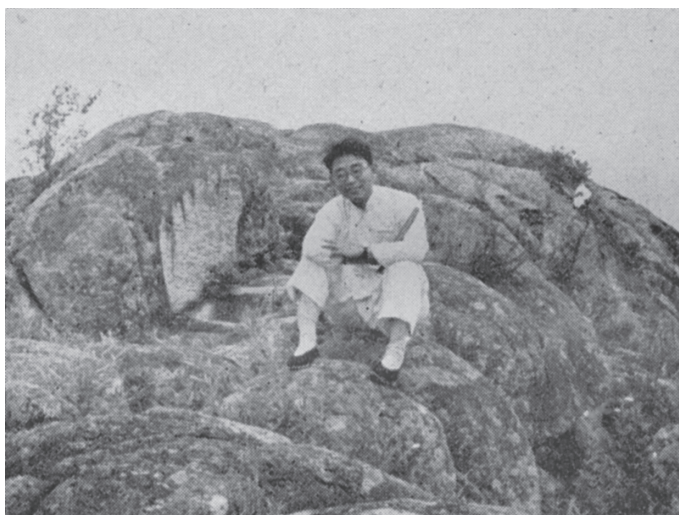


写真1 高倉正三『蘇州日記』より

*⁶ 高倉正三「紅豆齋鈔本尚書大伝五卷—北京遊記抄—」（『東方学報』京都第10冊、通巻318-322頁、1940年1月）。



あった（写真1）。留学中の研究ノート2冊が遺作となったが、吉川幸次郎によって整理され、『蘇州日記』と題して弘文堂書房から公刊された（昭和18年1月刊）^{*7}。本書は、報告書の続編ということになる。吉川跋文の言葉をそのまま借用すると、「死の直前まで、学を廃しない」著者が、「民国三十年の支那の自然と人事につき、詳細な記録を残し」たものであり、「人生記録としても、人を動かすものをもっているように思われる」。

高倉がかねてより知っていた「伝奇」とは、唐宋の伝奇小説ではなく、明清に盛行した戯曲のほうである。近年には、そこで用いられた崑曲が世界無形遺産に登録され、日本でも歌舞伎の坂東玉三郎がその代表作「牡丹亭」に挑戦したことで話題になった。杜麗娘役の玉三郎が見事にマスターした中国語が蘇州語に他ならない。東洋のヴェネチア、蘇州に関心を寄せる方には、お勧めの一冊である。

6

「司書」という肩書きで視察旅行に出かけた人物には、いま紹介した高倉正三とともに渡邊幸三、倉田淳之助がいる。渡邊幸三の訪問先は、大連図書館、北平大学図書館、北平図書館、故宮博物院、木斎図書館、山東省立図書館等であり、帰り際に上海の中国科学社、商務印書館に立ち寄っている。倉田淳之介は、東亜同文書院で購入したてで未整理の常熟楊氏旧蔵書2万冊を閲覧させてもらっている。そして、旧浙江省立孤山図書館をはじめ、蘇州、崑山、無錫等の各地の図書館を視察し、上海の英国租界内や蘇州にある書店も散策した。

彼らの視察目的は、中国の学術図書館の概況を調査し、研究所における図書館機能を発展させるところにあった。彼らのもたらした最新情報は、漢籍の研究拠点にふさわしい図書の基盤作りに有益であったにちがいない。その理念は、現センターまで受け継がれているのである。

他の旅行者も、研究の蔵書を充実させるために図書蒐集を行ったのではないと思われる。というのは、昭和9年の能田忠亮報告書では、「見学し得たる善本秘冊」と題して、古書街の隆福寺にある修綆堂で明刊『崇禎曆書』『天学初函』および『天学会通』『天歩真原』の原刻本を見つけたことを報告し、

何れも京都研究所に購入し得べきものにして、正に崇禎曆書・天学初函は京都研究所蔵書の一異彩たり。

と述べているからだ。自分用だけではなく研究所の分まで購入して持ち帰ったとは明言していないが、それと思しき線装本が現在、書庫に入っている。現在、センターには二十万冊余りの漢籍を収蔵しているが、そのなかには所員が中国で直接に購入してきたものが数多く含まれているにちがいない。

なお、能田忠亮は、2度目の旅行で南京、上海を訪れた時に、改暦を行う必要性を痛感し、編暦課設置の趣意書を提出した。帰国後の10月に民国暦（新東亜暦）編纂事業が立ち上がり、10月9日に藪内清が上海に出張するに至っている。さらに、昭和15年8月27日か

^{*7} 『中国文学語学資料集成』第1篇第3巻（波多野太郎編・解題、不二出版、1988年4月）にも復刻版が収録されている（87-176頁）。

ら9月29日の1か月間、能田は上海、南京に出張した。そこで、編暦委員会に出席するとともに、「東亜新秩序ノ建設ハ先ヅ改暦カラ」という小論を起稿し、9月8日には金陵文芸会の要請によって、南京丸ビル会館にて「東亜新秩序与暦法改正」というテーマで講演を行っている*⁸。科学史研究室には新暦編纂事業に関する資料を保管しているが*⁹、報告書には最初に起案した趣意書の大略を掲載している。それを読むと、「両国の永遠の平和を確立し、共存共栄の実を挙ぐべく」、学術的な立場から日中親善を眼目として合理的な暦法を頒布しようとしたことがわかる。



写真2 藪内清博士関連資料（科学史研究室所蔵）

この能田資料に関して、同志社大学理工学研究所で行われている仏教天文学研究会の席上で話題提供したら、是非ともデータベース化してほしいと要請され、テキスト入力することにした。余談であるが、その研究会で宮島一彦氏が渾天儀、須弥山儀、水時計等の写真をスクリーンに映し出した。北京の観象台、景福宮、鼓楼にある器物である。偶然の一致であるが、私も昨年末と今年八月に北京に出張した折に同じ場所で同じような写真を撮っている。帰宅してからふと思いついて、能田、藪内両報告書を調べてみると、やはり同じようなルートを見学しており、科学史研究室には当時に撮影した同じアングルの写真も残っている（写真2）。そこで、中国科学史を志す者の歩む道という北京観光コースが浮かんで、思わずにんまりした。

戦前の学者や文人が書いた中国旅行記の類は、数え上げたら切りがないくらいある。東洋文庫近代中国研究室が蒐集し、解題を施したものだけでも、170冊に達している*¹⁰。今日でも楽しめる読み物ばかりであるが、この旅行報告書は学術論文という「附録」があるという点で異彩を放っている。図書として未登録であるが、複製版が閲覧できるようにしたいと考えている。（センター教授）

補記：東方文化学院時代の諸先生方には、歴史上の人物として敬称はあえて省略した。また、原書の表記は仮名書きになっているものもあるが、読者の便宜のために、平仮名を用いた新字体表記に改めた。

*⁸ この情報は、能田忠亮が執筆した天文暦算研究室の「昭和15年度研究経過報告」（草稿）によるものである。

*⁹ 東郷俊宏「科学史研究室蔵の能田・藪内関連資料」（『漢字と情報』第7号、6頁）参照。

*¹⁰ 東洋文庫近代中国研究委員会編『明治以降の日本人の中国旅行記（解題）』（財団法人東洋文庫刊、1980年3月）。

センター研究年報2010
特集 中国旅行雑誌（井波陵一編）

発行日 2010年10月31日

発行所 京都大学人文科学研究所附属
東アジア人文情報学研究センター

〒606-8265 京都市左京区北白川東小倉町47

電話 075-753-6997 FAX 075-753-6999

<http://www.kita.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>

印刷所 共同印刷工業株式会社

